

A d v a n c e C A D

CADAM インタフェース ユーザーズマニュアル

Advance CAD software version 22

Advance CAD オプショナルソフトウェア
CADAM インタフェース ユーザーズ マニュアル

Advance CAD software version 22

2025 年 1 月 15 日 第1版

Copyright © 1986-2025 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
〒105-6950 東京都港区虎ノ門 4-1-1 神谷町トラストタワー

本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
本書の内容に関しては将来予告無しに変更することがあります。
本書は将来の開発による変更を前提としています。本書は現時点でできる限り正確に記述するよう心がけました。しかし弊社は提供した資料に基づくいかなる損害の責任も負いません。また将来の開発により生ずる変更によるいかなる損害についても責任を負いません。

MS, MS-DOS, Windows、Windows NT、Windows 2000、Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows 10、Windows 11、Visual C++ および Microsoft は Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

SolidWorks および SolidWorks のロゴは SolidWorks 社の登録商標です。

FlexNet Publisher は Revenera Software 社の登録商標です。

libtiff の著作権は以下のとおりです。

Copyright (c) 1988-1996 Sam Leffler

Copyright (c) 1991-1996 Silicon Graphics, Inc.

各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

はじめに

本書は Advance CAD システム CADAM インタフェースオプションソフトウェアの使用方法について記述します。

● 技術的なお問い合わせ先

Advance CAD の技術的なご質問は下記で受付けております。
Advance CAD ソフトウェア保守契約に加入されているお客様に限らせていただきます。

----- Advance CAD サポートサービス -----

E-mail : acad_support@ctc-g.co.jp

----- 受付時間 : 平日 9:00 ～ 17:30 -----



目次

第 1 章	CADAM インタフェース	1
1.1	Micro CADAM とのインターフェース	2
1.2	MC-W とのインターフェース	4
1.3	Regular CADAM とのインターフェース	6
1.4	CADAM ソフトウェアバージョン	8
1.5	Advance CAD 側の変換コマンド	9
1.6	CADAM 側の変換プログラム	10
1.7	概念の対応	11
1.8	MCADAM 読込みでセッションファイルを切り替えない	14
第 2 章	Advance CAD のコマンド	15
2.1	準備	15
2.2	コマンド	15
2.2.1	CADAM DB 読込み	16
2.2.1.1	CADAM DB 読込み Micro	16
2.2.1.2	CADAM DB 読込み MC-W	19
2.2.1.3	CADAM DB 読込み Regular_I	23
2.2.1.4	CADAM DB 読込み Regular_F	26
2.2.2	副座標処理コマンド	29
2.2.3	CADAM DB 書き込み	30
2.2.3.1	CADAM DB 書き込み Micro	30
2.2.3.2	CADAM DB 読込み MC-W	33
2.2.3.3	CADAM DB 書き込み Regular_I	35
2.2.3.4	CADAM DB 書き込み Regular_F	38
第 3 章	Regular CADAM とのデータ変換	43
3.1	インストール	43
3.2	Regular CADAM ヘデータを変換する	43
3.3	準備	44
3.3.1	プログラム DBCOPY のコンパイル、リンク	44
3.3.2	コンパイル、リンクの例	45
3.4	操作方法	45
3.4.1	使用データセット	45
3.4.2	実行例	45
AppendixA	変換データ一覧表	47
A.1	CADAM へ変換できるデータ一覧表	47
A.2	CADAM から変換できるデータ一覧	48
A.3	Micro CADAM へ正確に変換できない項目一覧表	50
A.4	Regular CADAM へ正確に変換できない項目一覧表	54
A.5	Micro CADAM から 正確に変換できない項目一覧表	58
A.6	Regular CADAM から正確に変換できない項目一覧表	60

AppendixB	ビュー・ディテール・シンボルの変換	63
B.1	CADAM から Advance CAD への変換	63
B.1.1	ビューの処理	63
B.1.2	ディテールの処理	63
B.1.3	シンボル処理	64
B.2	Advance CAD から CADAM への変換	66
B.2.1	ピクチャの処理	66
B.2.2	シンボルの処理	67
AppendixC	CADAM からの変換テーブルファイル	69
C.1	線種・線幅変換テーブルファイル	69
C.2	寸法線矢印変換テーブルファイル	72
C.3	シンボル変換テーブルファイル	74
C.4	図面名変換テーブルファイル	75
C.5	変換パラメータファイル	77
C.6	コード変換テーブルファイル	81
C.7	Micro CADAM から 外字コード変換テーブルファイル	86
C.8	Regular CADAM(IBM) からの外字コード変換テーブルファイル	87
C.9	Regular CADAM(FACOM) からの外字コード変換テーブルファイル	88
C.10	Regular CADAM からのトレランス文字変換テーブルファイル	88
C.11	CADAM からのピクチャ割り当てテーブルファイル	89
C.12	漢字コード変換表	89
AppendixD	CADAM への変換テーブルファイル	111
D.1	線種・線幅変換ファイル	111
D.2	寸法線矢印変換テーブルファイル	112
D.3	シンボル変換テーブルファイル	113
D.4	モデル名変換テーブルファイル	114
D.5	コード変換テーブルファイル	115
D.6	モデル・タイトル／スペックの属性変換テーブルファイル	119
D.7	CADAM DB への書き込み変換パラメータファイル	120

第 1 章 CADAM インタフェース

Advance CAD では、Advance CAD と Regular CADAM および Micro CADAM 間の双方向のデータ変換機能を用意しています。

本書では、CADAM 社 CADAM システムの図面ファイルを Advance CAD システムで読み込む方法と、Advance CAD システムのモデルを CADAM システムで読み込む方法について記述します。

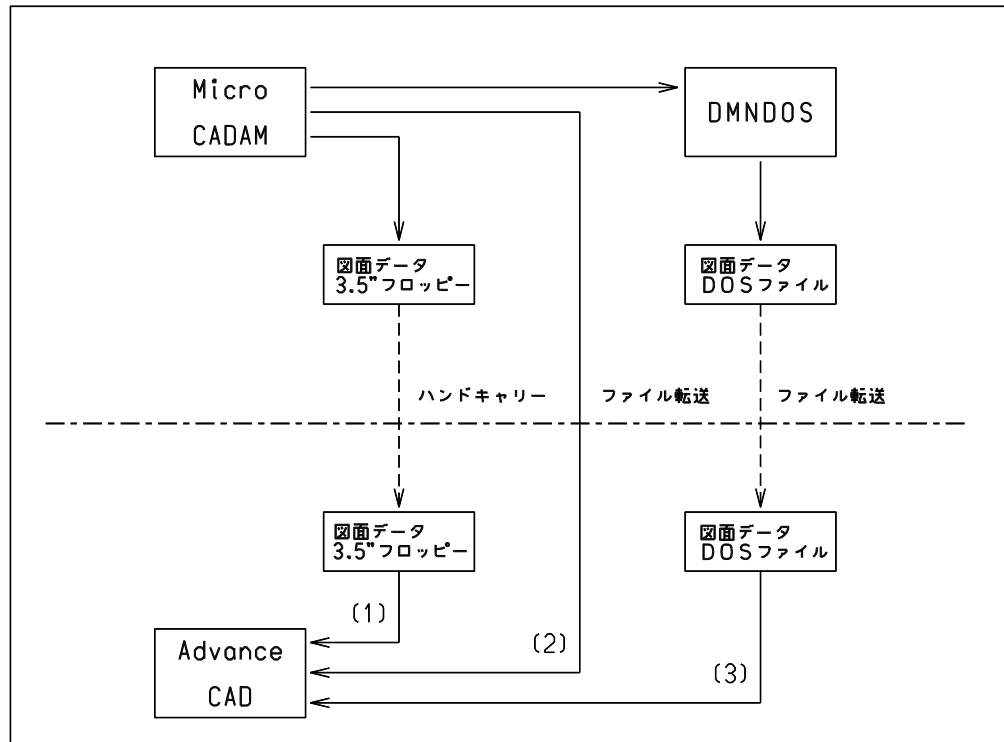
最初に、データ交換の手順を簡単に説明します。

手順にあられる DBCOPY はデータ交換用プログラムです。

詳しくは、本章の『1.6 CADAM 側の変換プログラム』を参照してください。

1.1 Micro CADAM とのインターフェース

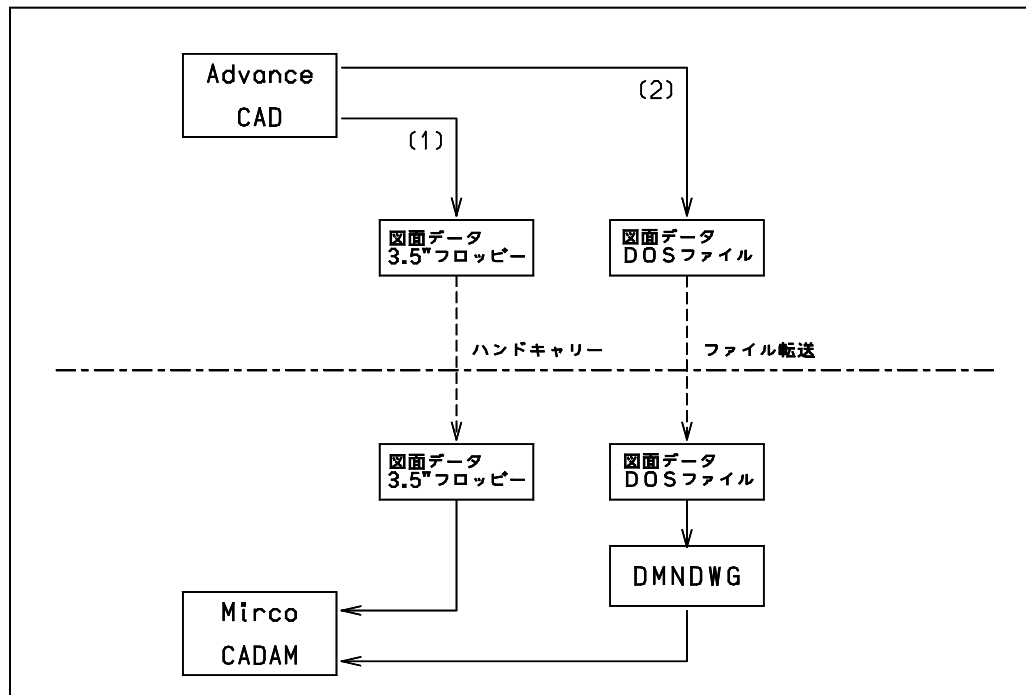
● Micro CADAM から Advance CAD への変換



- (1) : CADAM DB 読込み フロッピーで変換します。
 (2) : CADAM DB 読込み DB ファイルで変換します。
 (3) : CADAM DB 読込み DOS ファイルで変換します。
 DMNDOS : 図面データを OS のコマンドで扱えるように DOS ファイル化するプログラムで、Micro CADAM のユーティリティです。
 このプログラムで作成される DOS ファイルは、MC-W とのデータ交換にも使用できます。

注). ファイル転送できない場合は、共有の媒体でデータを受け渡ししてください。

● Advance CAD から Micro CADAM への変換

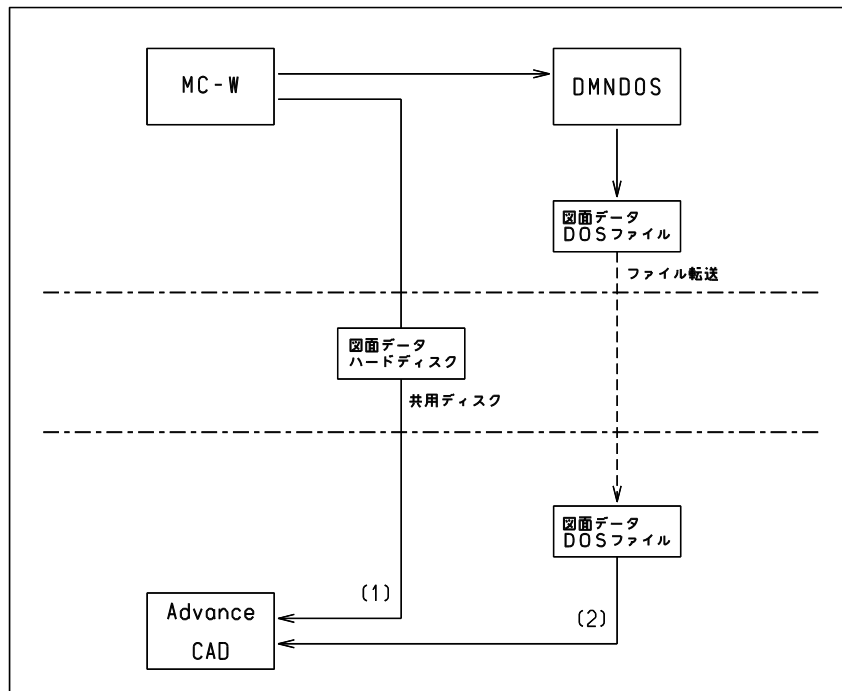


- (1) : CADAM DB 書込み フロッピーで変換します。
 (2) : CADAM DB 書込み DOS ファイルで変換します。
 DMNDWG : DOS ファイルを図面データに変換するプログラムで、Micro CADAM のユーティリティです。
 このプログラムで使用する DOS ファイルは、MC-W とのデータ交換にも使用できます。

注). ファイル転送できない場合は、共有の媒体でデータを受け渡ししてください。

1.2 MC-W とのインターフェース

● MC-W から Advance CAD への変換



- (1) : CADAM DB 読み込み MC-W で変換します。
MC-W と Advance CAD がディスクを共有で利用できる場合にこのコマンドが使用できます。
- (2) : CADAM DB 読み込み DOS ファイルで変換します。
補足) Micro CADAM とのインターフェースのためにつぎのコマンドを用意しています。
CADAM 読み込み。
CADAM DB 読み込み フロッピー。
- DMNDOS : 図面データを OS のコマンドで扱えるように DOS ファイル化するプログラムで、MC-W のユーティリティです。このプログラムで作成される DOS ファイルは、Micro CADAM とのデータ交換にも使用できます。

注 1) MCADAMX.SYS

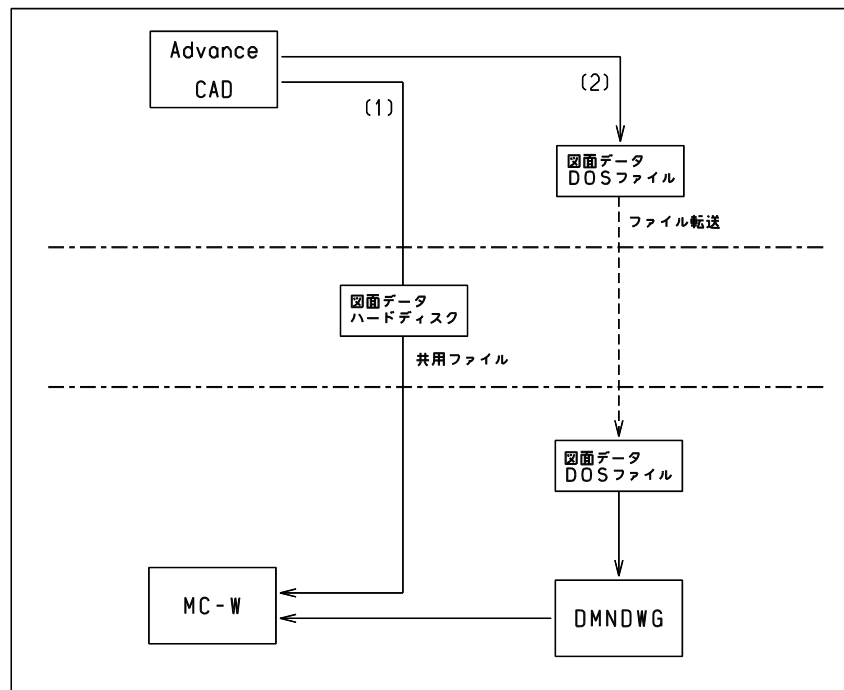
注記の処理を Regular CADAM にあわせるようにしてください。

RCSSR=1, 2, 3, 4, 7, 8, 9

この指定がない場合、注記の描画位置が異なります。

注 2) ファイル転送できない場合は、共有の媒体でデータを受け渡ししてください。

● Advance CAD から MC-W への変換



- (1) : CADAM DB 書込み MC-W で変換します。
MC-W と Advance CAD がディスクを共有で使用できる場合にこのコマンドが使用できます。
- (2) : CADAM DB 書込み DOS ファイルで変換します。
補足) Micro CADAM とのインターフェースのためにつぎのコマンドを用意しています。
- CADAM 書込み。
CADAM DB 書込み フロッピー。
- DMNDWG : DOS ファイルを図面データに変換するプログラムで、MC-W のユーティリティです。このプログラムで使用する DOS ファイルは、Micro CADAM とのデータ交換にも使用できます。

注 1) MCADAMX.SYS

注記の処理を Regular CADAM にあわせるようにしてください。

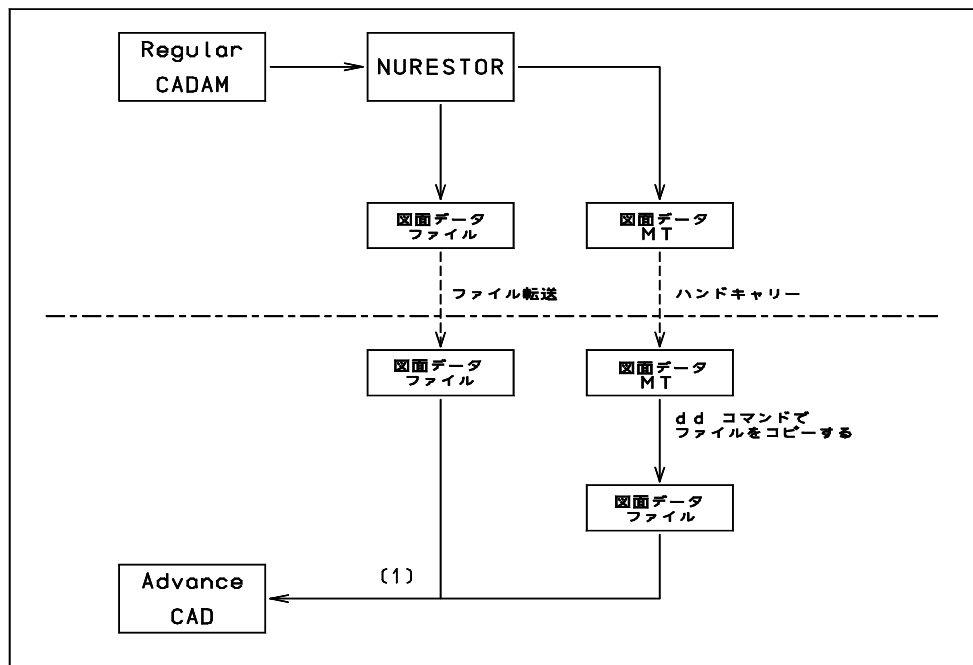
RCSSR=1, 2, 3, 4, 7, 8, 9

この指定がない場合、注記の描画位置が異なります。

注 2) ファイル転送できない場合は、共有の媒体でデータを受け渡ししてください。

1.3 Regular CADAM とのインタフェース

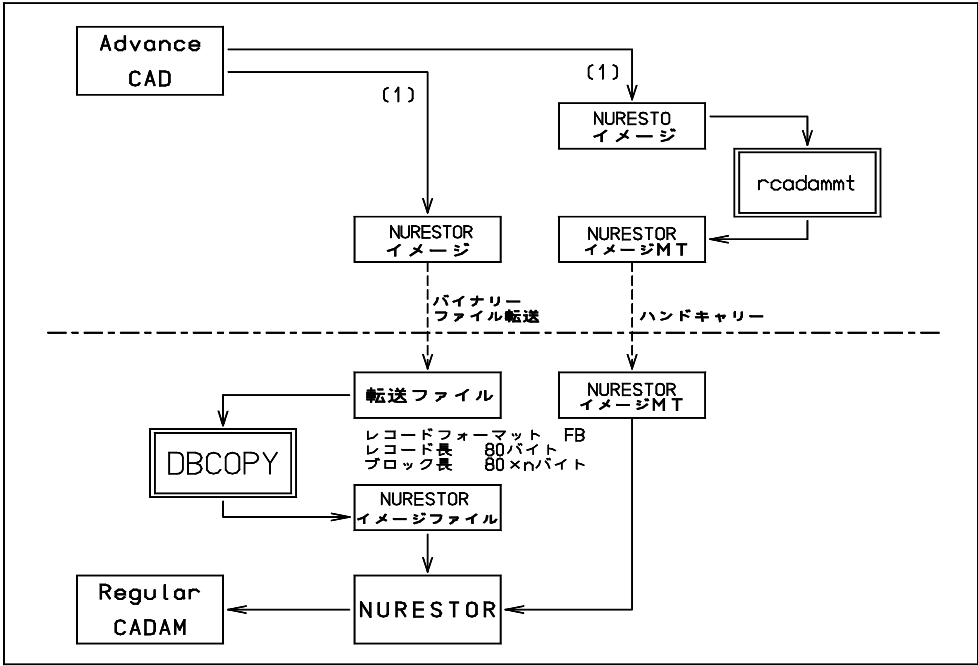
● Regular CADAM から Advance CAD への変換



- (1) : CADAM DB 読み込みで変換します。
 NURESTOR : 図面データのバックアップをとるためのプログラムで、Regular CADAM のユーティリティです。

注). ファイル転送できない場合は、共有の媒体でデータを受け渡ししてください。

● Advance CAD から Regular CADAM への変換



(1) : CADAM DB 書込みで変換します。

rcadammt : NURESTOR イメージファイルを磁気テープにコピーするプログラムです。(CTC が提供します。)

DBCOPY : データ変換プログラムです。CTC が提供します。

NURESTOR : 図面データのバックアップをとるためのプログラムで、Regular CADAM のユーティリティです。

注 1) NURESTOR イメージは、Regular CADAM Rel 20.x のフォーマットで作成します。

注2) ファイル転送できない場合は、共有の媒体でデータを受け渡ししてください。

1.4 CADAM ソフトウェアバージョン

データ交換できる CADAM のバージョンは以下のとおりです。

CADAM バージョン	直接変換		備考
	単精度	倍精度	
Micro CADAM (MS/DOS 版)			
Ver 1.4x, 1.5x	○	—	
V1.6x, 1.7x	○	—	
V1.8x	○	—	
Micro CADAM (OS/2 版)			
Ver 2.0x	○	—	
Ver 2.1x	○	○	
Ver 2.2x	○	○	
MC-W			
Ver 2.2x	○	○	
Ver 3.1x	—	○	
MC Helix			
V4R1, V4R2	—	○	
V5R1, V5R2		○	
Regular CADAM			
Rel 19.x	○	—	DB 書込は不可
Rel 20.x, 21.x	○	×	

1.5 Advance CAD 側の変換コマンド

Advance CAD には CADAM とのインターフェースのために次の 2 つのコマンドが用意されています。これらのコマンドは CADAM インターフェース購入のお客様のみ使用できます。

CADAMDB 読み込み

Regular CADAM の NURESTOR で作成されたデータ及び Micro CADAM のドローイングデータを読み込むコマンドです。

(Regular CADAM Rel. 21.x 倍精度データは変換不可。)

CADAMDB 書き込み

Regular CADAM の NURESTOR イメージ及び Micro CADAM のドローイングデータを作成するコマンドです。

(Regular CADAM の NURESTOR イメージは Rel. 20.x 対応です。)

1.6 CADAM 側の変換プログラム

以下のプログラムは、Regular CADAM インタフェース購入のお客様にのみ提供いたします。
変換プログラムはソースコードレベルで提供しています。実行モジュール作成のため、コンパイル／リンクしてください。詳細は、Regular CADAM 第 3 章をご覧ください。

Regular CADAM の場合

- (1) **プログラム DBCOPY**
Advance CAD で作成した NURESTOR イメージをホスト計算機にファイル転送したときホスト側で転送されたファイルを NURESTOR イメージに変換します。
- (2) **プログラム提供媒体**
オープンリール 磁気テープ 1600BPI Non_Label
フロッピーディスク 2HD DOS フォーマット

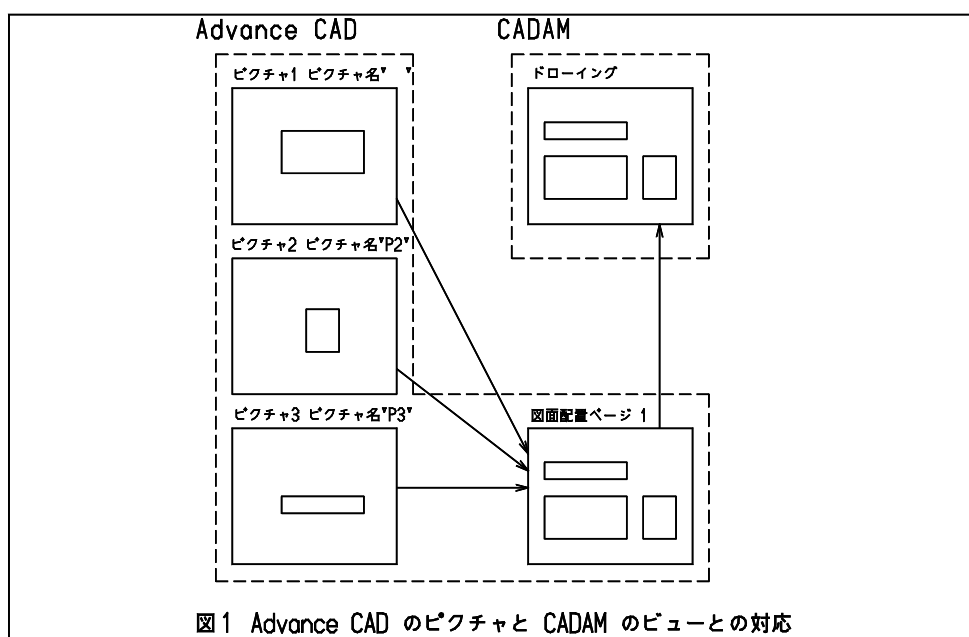
1.7 概念の対応

Advance CAD のモデルと CADAM のドローイングデータとの間にはシステム設計上の相異があります。以下に、おもな概念の対応を説明します。

● Advance CAD のピクチャ

Advance CAD のピクチャは、CADAM のビューに変換します。

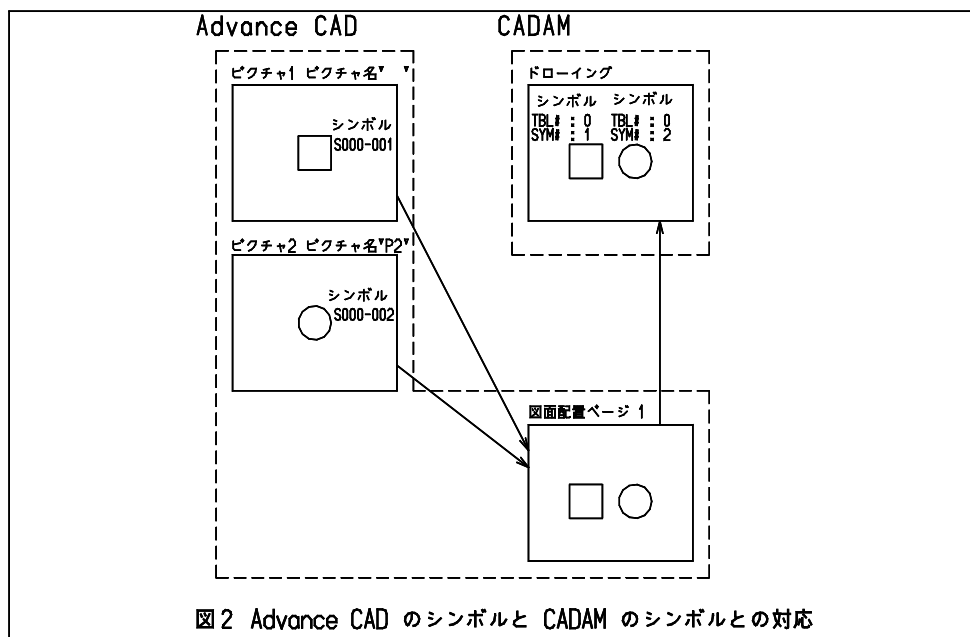
ビュー名には、ピクチャ名の先頭の 2 文字を割り当てます。



● Advance CAD のシンボル

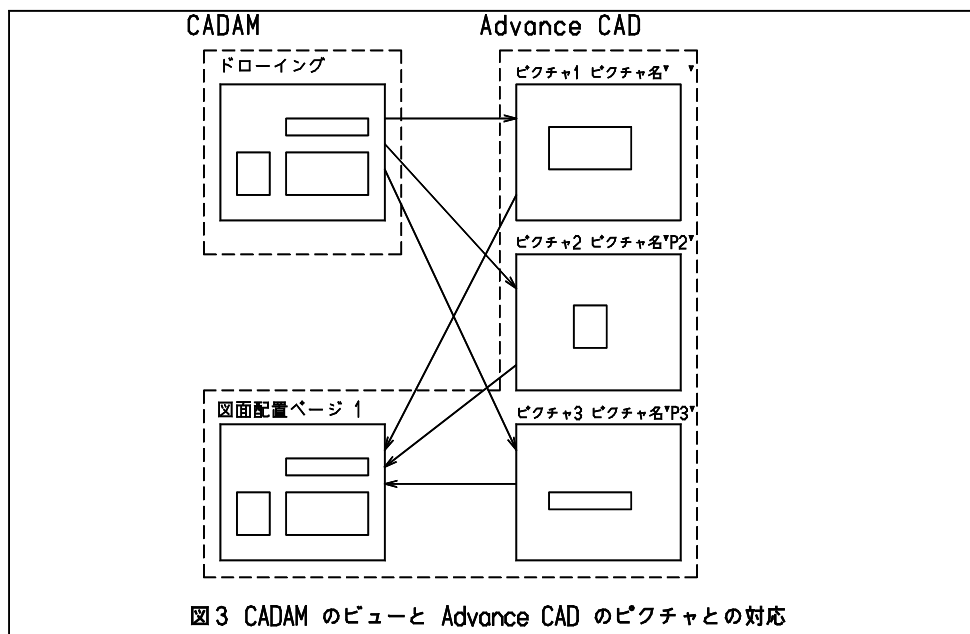
名前が Sttt-sss(ttt: テーブル番号, sss: シンボル番号) で作成されている Advance CAD のシンボルは、CADAM のシンボルに変換します。図形要素に展開して変換することもできます。

その他の名前で作成されたシンボルは、図形要素に展開して変換します。



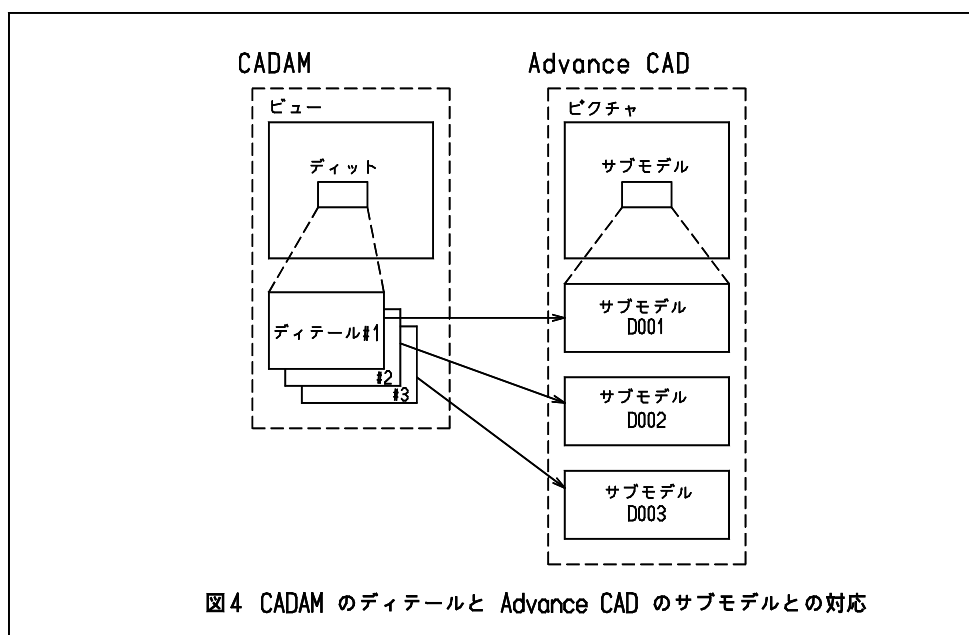
● CADAM のビュー

CADAM のビューは、Advance CAD のピクチャに変換します。
ピクチャ名には、ビュー名の先頭の 2 文字を割り当てます。



● CADAM のディテール (子図)

CADAM のディテールは、Advance CAD のサブモデルに変換します。

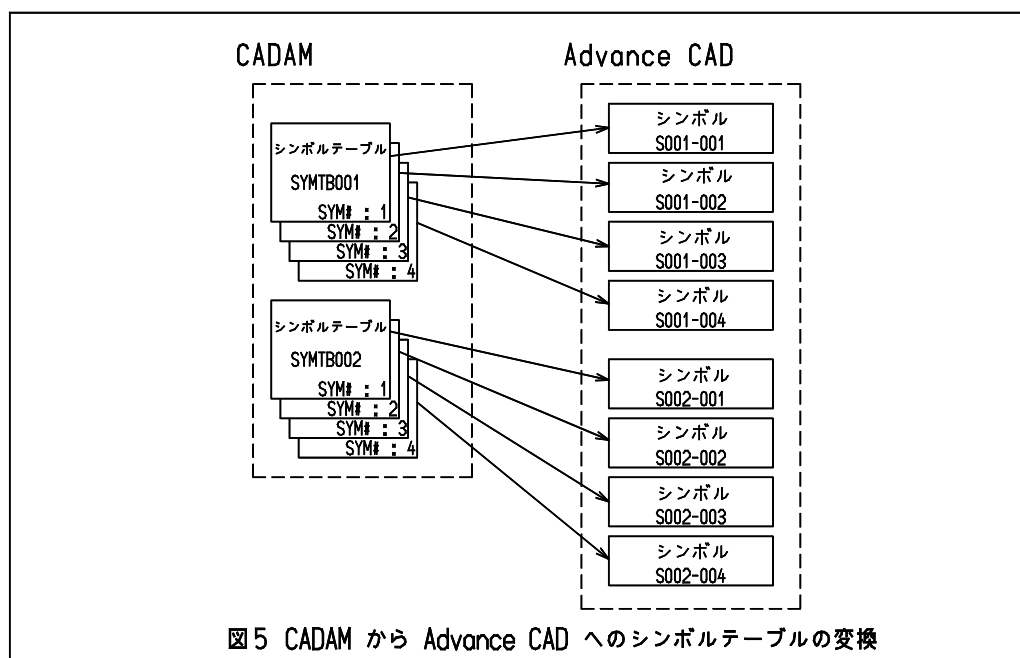


● CADAM のシンボルテーブル

CADAM のシンボルを Advance CAD のシンボルに変換する場合は、CADAM のシンボルテーブルをあらかじめ変換しておく必要があります。

名前が SYMTBxxx のドローイングデータを変換すれば、シンボルテーブルを変換できます。

シンボルを図形要素に展開して変換することもできます。ただし、Regular CADAM の NURESTOR で作成したデータは、図形要素へは展開できません。



1.8 MCADAM 読込みでセッションファイルを切り替えない

V19.08, 20.01 からは、DXF 読込みでセッションファイルが切り換らないようになりました。

第 2 章 Advance CAD のコマンド

2.1 準備

Advance CAD のデフォルト設定ファイル ACAD.SET に以下の設定があることを確認して下さい。
もしなければ、ファイル ACAD.SET に次のキーワードを追加してください。

```
#CADAM:DB_M#  "/usr/acad/files/"      !.DBX! Micro CADAM Drawing File
#CADAM:DB_R#  "/usr/acad/files/"      !.DBX! Regular CADAM Drawing File
#CADAM:TABLE# "/usr/acad/maint/"      !.COD! Conversion Parameter Table File
#CADAM:WORK#   "/usr/acad/work/"      !.WRK! Work File
#CADAM:DITTO#  "/usr/acad/files/ditto/" !.MDL! CADAM Detail File
#CADAM:DOS#    "/usr/acad/files/"      !.DOS! Micro CADAM DOS File
#CADAM:SYMBOL# "/usr/acad/files/symbol/" !.SYM! Micro CADAM Symbol File
#CADAM:SYMTBL# "/usr/acad/files/symbol/" !.SYM! CADAM Symbol File
#FLOPPY#       "/dev/fd0c"            Floppy Disk Device Name
```

```
#CADAM:DB_M#  : Micro CADAM の図面ファイルを格納するディレクトリ名とファイル拡張子を指定する。
#CADAM:DB_R#  : Regular CADAM の図面ファイルを格納するディレクトリ名とファイル拡張子を指定する。
#CADAM:TABLE# : データ変換で使用する各種テーブルファイルを格納するディレクトリ名とファイル拡張子を指定する。各種テーブルファイルについては、Appendix C, D を参照してください。
#CADAM:WORK#   : 変換時に使用する作業ファイルを格納するディレクトリ名とファイル拡張子を指定する。このキーワードは省略可能。省略した場合は起動ディレクトリを使用する。
#CADAM:DITTO#  : CADAM のディテールを変換したサブモデルを格納するディレクトリ名とファイル拡張子を指定する。このキーワードは省略可能。省略した場合は、キーワード #MODEL# を使用する。
#CADAM:DOS#    : Micro CADAM / MC-W の DOS ファイルを格納するディレクトリ名とファイル拡張子を指定する。
#CADAM:SYMBOL# : Micro CADAM の図面データ内にあるユーザ定義シンボルを変換したシンボルを一時的に格納するディレクトリ名とファイル拡張子を指定する。このキーワードは省略可能。省略した場合は、キーワード #SYMBOL# を使用する。
#CADAM:SYMTBL# : DB 読み込みでシンボル処理を『既存』(Regular は常にこの状態)を選択したとき、ユーザ定義・フォントシンボルが格納されているディレクトリ名とファイル拡張子を指定する。このキーワードは省略可能。省略した場合は、キーワード #SYMBOL# を使用する。
#FLOPPY#       : フロッピーディスクの装置名を指定する。
                このキーワードの設定については、以下を参照してください。
```

2.2 コマンド

● コマンド一覧

メニュー表示	コマンド	機能
CADAMDB 読み込み		
Micro	CADAMDB/READM	Micro CADAM DB 読み込み
MC-W	CADAMDB/READX	MC-W DB 読み込み
Regular_I	CADAMDB/READI	Regular CADAM DB 読み込み (ホスト計算機が IBM)

メニュー表示	コマンド	機能
Regular_F	CADAMDB/READF	Regular CADAM DB 読み込み (ホスト計算機が FACOM)
CADAMDB 書込		
Micro	CADAMDB/WRITEM	Micro CADAM DB 書き込み
MC-W	CADAMDB/WRITEX	MC-W DB 書き込み
Regular_I	CADAMDB/WRITEI	Regular CADAM DB 書き込み (ホスト計算機が IBM)
Regular_F	CADAMDB/WRITEF	Regular CADAM DB 書き込み (ホスト計算機が FACOM)
疑似操作		
副座標	CADAM/ORIGIN	CADAM の副座標処理を疑似的に実行する

2.2.1 CADAM DB 読み込み

2.2.1.1 CADAM DB 読み込み Micro

- Micro CADAM の図面データファイルを Advance CAD へ読み込む

新規モード	NEW
追加モード	ADD
オーバーレイ	OVERLAY
入力ビュー	RDVIEW
格納先 P I C	WRPIC
ディテール名	DETAIL
サブモデル名	SUBMDLNAM
シンボル処理	
図面ファイル	
DB ファイル	FILNAME
DOS ファイル	DOSFILE
フロッピー	FLOPPY
グループ名	GRPNAME
ユーザ名	USRNAME
図面名	DRAWLIST
全図面	ALL
終了	EJECT

シンボル処理メニュー

シンボル処理	
展開	SEXP
シンボル	SNORM
既存	USESVM
作成	MAKSYM

前頁

【構文】

CADAMDB/READM mediaword	$\left[\begin{array}{c} \text{NEW} \\ \text{ADD} \\ \text{OVERLAY} \end{array} \right]$	detlword	$\left[\begin{array}{c} \text{ERRONN} \\ \text{ERROFF} \end{array} \right]$	symword <CE> EJECT
-------------------------	--	----------	--	--------------------

- ? mediaword は入力形態を参照。
- ? detlword は変換モデルデータの選択を参照。
- ? symword はシンボル処理を参照。

変換データの入力形態をつぎのいずれかで指示する。

mediaword : 入力方法のファイル形態を選択する。

【mediaword 部分の構文】

$\left[\begin{array}{c} \text{FILNAME file} \\ \text{DOSFILE file} \left\{ \begin{array}{c} \text{d} \\ \text{s} \end{array} \right\} \\ \text{FLOPPY GRPNAME} \left\{ \begin{array}{c} \text{group} \\ \text{d} \end{array} \right\} \text{USRNAME} \left\{ \begin{array}{c} \text{user} \\ \text{d} \end{array} \right\} \text{DRAWLIST} \left\{ \begin{array}{c} \text{d} \\ \text{s} \\ \text{ALL} \end{array} \right\} \end{array} \right]$

変換するファイルをつぎのいずれかで指示する。

- FILNAME file : 変換する DB ファイル名を入力する。
- DOSFILE file : 変換する DOS ファイル名を入力する。
 - d : 変換する DOS ファイル名をピックする。
 - s : 変換する DOS ファイル名を番号で指定する。
- FLOPPY : フロッピーの図面データを入力する。

フロッピーで図面データを入力するときに名称を指示する。

- GRPNAME group : グループ名を入力する。
 - d : グループ名をピックする。
- USRNAME user : ユーザ名を入力する。
 - d : ユーザ名をピックする。

図面名の名称を指示する。

- DRAWLIST : 変換する図面名を入力する。ワイルドカードの指定ができる。
 - d : 変換する図面名をピックする。
 - 図面名→モデル名変換テーブル (MCADAMACAD_MODEL. COD) に図面名が定義されている場合は、複数の図面を指示できる。
 - s : 変換する図面名を番号で指定する。
 - ALL : 全図面を変換する。図面名→モデル名 変換テーブルが必要。

変換モードをつぎのいずれかで指示する。

- NEW : モデルを新規開始してから CADAM ファイルを読み込む。(省略時)
- ADD : 現在作業中のモデル上に CADAM ファイルを読み込む。
- OVERLAY : 現在作業中のモデルに追加読みする。
 - 最初の読み込みは作図情報のある図面データを新規モードで読み込み、その図面データとオーバーレイされている図面データをオーバーレイモードで読み込む。

例. 次の5つの図面データがオーバーレイされている場合の読み込み

- A1 作図情報あり → 新規モードで最初に読み込む
- A2 " なし → オーバーレイモードで読み込む

```

A3    "    "    →    "
A4    "    "    →    "
A5    "    "    →    "

```

変換の入力形態と変換結果の出力形態をつぎのいずれかで指示する。

detlword : 入出力詳細のファイル形態を選択する。

【detlword 部分の構文】

```

[ RDVIEW view ] [ WRPIC s ] { { DETAIL file } }
                             { { SUBMDLNAM file } }

```

読み込むビューを指示する。

RDVIEW view : 読み込むビュー名を指定する。省略するか 0 を指示すると、すべてのビューのデータを読み込む。

読み込み先のピクチャを指示する。

WRPIC s : 格納先のピクチャ番号を指定する。省略するか 0 を指示すると、ビュー番号に空いているピクチャ番号を割り当て、データを格納する。

ディテールに付けるサブモデル名を指定する。

DETAIL file : ディテールを変換したサブモデルに付ける名前を指定する。指定された名前にディテール番号 (3 桁 0 埋) を付加した名前が実際のサブモデル名になる。省略すると 'D' になる。
例) D002 (ディテール番号 2 のサブモデル名)

SUBMDLNAM file : ディテールを変換したサブモデルに付ける名前を指定する。(既定値) 子図をまとめて 1 つのサブモデルにする。
子図番号は、サブモデルのピクチャ番号に相当する。
サブモデル名の既定値は 'DSUB'。

エラーの情報を残すかどうか指示する。

ERRONN : 変換できない要素があった場合それらの情報をファイルに出力する。ファイル名は中間ファイル名の拡張子を '.ERR' にした名前。
ERROFF : 変換できない要素があっても、それらの情報をファイルに出力しない。

シンボル処理をつぎのいずれかで指示する。

symword : ユーザ定義のシンボルの処理を指示する。

【symword 部分の構文】

```

{ { SEXPD } }
{ { SNORM { { USESYM } } } }
{ { MAKSYM } }

```

シンボルの変換方法を指示する。

SEXPD : ユーザ定義シンボルを図形要素に展開して変換する。(省略時)
ただし、Micro CADAM でシンボルが△印で表示されている場合は変換できない。
SNORM : ユーザ定義シンボルをシンボルに変換する。

ユーザ定義シンボルをシンボルに変換するときにつぎのいずれかを指示する。

- USESVM : すでに存在するシンボルを配置する。
ACAD.SET のキーワード #CADAM:SYMTBL# に格納されているシンボルを参照する。
#CADAM:SYMTBL# がない場合は、#SYMBOL# を参照する。
- MAKSYM : シンボルを新規に作成し、配置する。
図面ファイルの中にユーザ定義シンボルの図形データがない場合 (Micro CADAM でシンボルが△印で表示されている場合) は変換できない。ACAD.SET のキーワード #CADAM:SYMBOL# に作成する。
#CADAM:SYMBOL# がない場合には、#SYMBOL# に作成する。

フロッピーからの直接読み込みを終了する。

- EJECT : フロッピーを装置から取り出す。

注). 複数図面の一括読み込みを行う場合

- 読み込みは、新規モード (NEW), すべてのビューの読み込み (RDVIEW 0), それぞれのピクチャに格納 (WRPIC 0) で行います。
- ディテールの処理は、ディテール名 (DETAIL) を指示した場合にサブモデル名は、model_name_Dxxx(モデル名の後に "_Dxxx" を付ける) となります。
サブモデル名 (SUBMDLNAM) を指示した場合にサブモデル名は、model_name_D(モデル名の後に "_D" を付ける) となります。

● CADAM DB 読み込み Micro で使用する ACAD.SET ファイルのキーワード

- #CADAM:DB_M# : 図面データファイルのディレクトリと拡張子を指定する。
#CADAM:DOS# : Micro CADAM の DOS ファイルのディレクトリ名と拡張子を指定する。
#CADAM:WORK# : 作業ファイルのディレクトリと拡張子を指定する。
#CADAM:TABLE# : 変換テーブルファイルのディレクトリと拡張子を指定する。
#CADAM:DITTO# : ディテールを変換したサブモデルのディレクトリと拡張子を指定する。指定がない場合、#MODEL# を使用する。
#CADAM:SYMBOL# : ユーザ定義シンボルを変換したシンボルのディレクトリと拡張子を指定する。指定がない場合、#SYMBOL# を使用する。
#CADAM:SYMTBL# : シンボル処理で『既存』を選択した場合、ユーザ定義・フォントシンボルのディレクトリ名と拡張子を指定する。指定がない場合は、#SYMBOL# を使用する。
#FLOPPY# : フロッピーディスクの装置名を指定する。

変換テーブルファイルには、 () 内はファイル名

- Micro CADAM → Advance CAD 線種・線幅変換テーブル (MCADAMACAD_LINE)
Micro CADAM → Advance CAD 矢印変換テーブル (MCADAMACAD_ARROW)
Micro CADAM → Advance CAD シンボル変換テーブル (MCADAMACAD_SYMBOL)
Micro CADAM → Advance CAD 図面名変換テーブル (MCADAMACAD_MODEL)
Micro CADAM → Advance CAD 変換パラメータ (MCADAMACAD_PARAM)
Micro CADAM → Advance CAD 外字変換テーブル (SHIFTJIS_EXTEND)
Micro CADAM → Advance CAD ピクチャ割り当てテーブル (MCADAMACAD_PIC)

がある。テーブルの詳細については Appendix C 参照のこと。

【補足】

次の指定で変換したときだけプロット情報が図面配置情報に変換される。

- | | |
|----------|------------------|
| NEW | 新規モード |
| RDVIEW 0 | すべてのビューのデータを読み込み |
| WRPIC 0 | それぞれのピクチャに格納 |

2.2.1.2 CADAM DB 読み込み MC-W

● MC-W の図面データを Advance CAD の図面データに変換する

- | | |
|-------|-----|
| 新規モード | NEW |
| 追加モード | ADD |

オーバーレイ	OVERLAY
入力ビュー	RDVIEW
格納先 P I C	WRPIC
ディテール名	DETAIL
サブモデル名	SUBMDLNAM
シンボル処理	
図面ファイル	
DB ファイル	FILNAME
DOS ファイル	DOSFILE
フロッピー	FLOPPY
MC-W	MC_X
グループ名	GRPNAME
ユーザ名	USRNAME
図面名	DRAWLIST
全図面	ALL
終了	EJECT

シンボル処理メニュー

シンボル処理

展開	SEXP
シンボル	SNORM
既存	USES
作成	MAKSYM

前頁

【構文】

```
CADAMDB/READX mediaword { NEW ADD OVERLAY } detlword { ERRONN ERROFF } symword <CE> EJECT
```

※ mediaword は入力形態を参照。

※ detlword は変換モデルデータの選択を参照。

※ symword はシンボル処理を参照。

変換データの入力形態をつぎのいずれかで指示する。

mediaword : 入力方法のファイル形態を選択する。

【mediaword 部分の構文】

```
[ [ [ DOSFILE file
    [ FLOPPY GRPNAME { group } USRNAME { user } ] { d }
    [ MC_X PARTNAME { part } GRPNAME { group } USRNAME { user } DRAWLIST draw { d s ALL } ] ] ] ]
```

入力方法のファイル形態をつぎのいずれかで指示する。

DOSFILE file : DOS ファイルの形態で図面データを入力する。名称を入力する。

FLOPPY : フロッピーの図面データを入力する。

MC_X : MC-W のデータベースの形態で図面データを入力する。

フロッピーや MC-W のデータベースの形態で図面データを入力するときに名称を指示する。

PARTNAME part : MC-W のドライブ名を入力する。

d : MC-W のドライブ名をピックする。
 GRPNAME group : グループ名を入力する。
 d : グループ名をピックする。
 USRNAME user : ユーザ名を入力する。
 d : ユーザ名をピックする。

図面名を指示する。

DRAWLIST draw : 変換する図面名を入力する。ワイルドカードの指定ができる。
 d : 変換する図面名をピックする。
 s : 変換する図面名を番号で指定する。
 ALL : 全図面を変換する。図面名→モデル名変換テーブルが必要。

変換モードをつぎのいずれかで指示する。

NEW : モデルを新規開始してからファイルを変換する。(省略時)
 ADD : 現在作業中のモデル上にファイルを変換する。
 OVERLAY : 現在作業中のモデルに追加変換する。
 最初の読み込みは作図情報のある図面データを新規モードで読み込み、その図面データとオーバーレイされている図面データをオーバーレイモードで読み込む。

例) 次の5つの図面データがオーバーレイされている場合の読み込み

A1 作図情報あり → 新規モードで最初に読み込む
 A2 " なし → オーバーレイモードで読み込む
 A3 " " → "
 A4 " " → "
 A5 " " → "

変換の入力形態と変換結果の出力形態をつぎのいずれかで指示する。

detlword : 入出力詳細のファイル形態を選択する。

【detlword 部分の構文】

[RDVIEW view]	[WRPIC s]	$\left[\begin{array}{l} \text{DETAIL file} \\ \text{SUBMDLNAM file} \end{array} \right]$
-----------------	-------------	---

読み込むビューを指示する。

RDVIEW view : 読み込むビュー名を指定する。省略するか 0 を指示すると、すべてのビューのデータを読み込む。

読み込み先のピクチャを指示する。

WRPIC s : 格納先のピクチャ番号を指定する。省略するか 0 を指示すると、ビュー番号に空いているピクチャ番号を割り当て、データを格納する。

ディテールに付けるサブモデル名を指定する。

DETAIL file : ディテールを変換したサブモデルに付ける名前を指定する。指定された名前にディテール番号 (3桁0埋) を付加した名前が実際のサブモデル名になる。省略すると 'D' になる。

例) D002(ディテール番号2のサブモデル名)

SUBMDLNAM file : ディテールを変換したサブモデルに付ける名前を指定する。(既定値)
 子図をまとめて1つのサブモデルにする。
 子図番号は、サブモデルのピクチャ番号に相当する。
 サブモデル名の既定値は 'DSUB'。

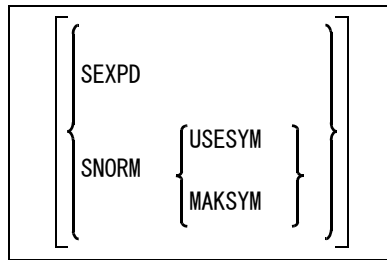
エラーの情報を残すかどうか指示する。

ERRONN : 変換できない要素があった場合それらの情報をファイルに出力する。
 ファイル名は中間ファイル名の拡張子を '.ERR' にした名前。
 ERROFF : 変換できない要素があっても、それらの情報をファイルに出力しない。

シンボル処理をつぎのいずれかで指示する。

symword : ユーザ定義のシンボルの処理を指示する。

【symword 部分の構文】



シンボルの変換方法を指示する。

SEXP : ユーザ定義シンボルを図形要素に展開して変換する。(省略時)ただし、MC-W でシンボルが△印で表示されている場合は変換できない。
 SNORM : ユーザ定義シンボルをシンボルに変換する。

ユーザ定義シンボルをシンボルに変換するときにつぎのいずれかを指示する。

USES : すでに存在するシンボルを配置する。
 ACAD. SET のキーワード #CADAM:SYMTBL# に格納されているシンボルを参照する。
 #CADAM:SYMTBL# がない場合は、#SYMBOL# を参照する。
 MAKSYM : シンボルを新規に作成し、配置する。
 図面ファイルの中にユーザ定義シンボルの図形データがない場合 (MC-W でシンボルが△印で表示されている場合) は変換できない。
 ACAD. SET のキーワード #CADAM:SYMBOL# に作成する。
 #CADAM:SYMBOL# がない場合には、#SYMBOL# に作成する。

フロッピーからの直接読み込みを終了する。

EJECT : フロッピーを装置から取り出す。

● CADAM DB 読み込み MC-W で使用する ACAD.SET ファイルのキーワード

#CADAM:DOS# : Micro CADAM の DOS ファイルのディレクトリ名と拡張子を指定する。
 #CADAM:WORK# : 作業ファイルのディレクトリと拡張子を指定する。
 #CADAM:TABLE# : 変換テーブルファイルのディレクトリと拡張子を指定する。
 #CADAM:DITTO# : ディテールを変換したサブモデルのディレクトリと拡張子を指定する。指定がない場合、#MODEL# を使用する。
 #CADAM:SYMBOL# : ユーザ定義シンボルを変換したシンボルのディレクトリと拡張子を指定する。指定がない場合、#SYMBOL# を使用する。
 #CADAM:SYMTBL# : シンボル処理で『既存』を選択した場合、ユーザ定義・フォントシンボルのディレクトリ名と拡張子を指定する。指定がない場合は、#SYMBOL# を使用する。
 #FLOPPY# : フロッピーディスクの装置名を指定する。

変換テーブルファイルには、 () 内はファイル名

Micro CADAM → Advance CAD 線種・線幅変換テーブル (MCADAMACAD_LINE)
 Micro CADAM → Advance CAD 矢印変換テーブル (MCADAMACAD_ARROW)
 Micro CADAM → Advance CAD シンボル変換テーブル (MCADAMACAD_SYMBOL)
 Micro CADAM → Advance CAD 図面名変換テーブル (MCADAMACAD_MODEL)
 Micro CADAM → Advance CAD 変換パラメータ (MCADAMACAD_PARAM)
 Micro CADAM → Advance CAD 外字変換テーブル (SHIFTJIS_EXTEND)
 Micro CADAM → Advance CAD ピクチャ割り当てテーブル (MCADAMACAD_PIC)

がある。テーブルの詳細については Appendix C 参照のこと。

【補足】

次の指定で変換したときだけプロット情報が図面配置情報に変換される。

NEW 新規モード

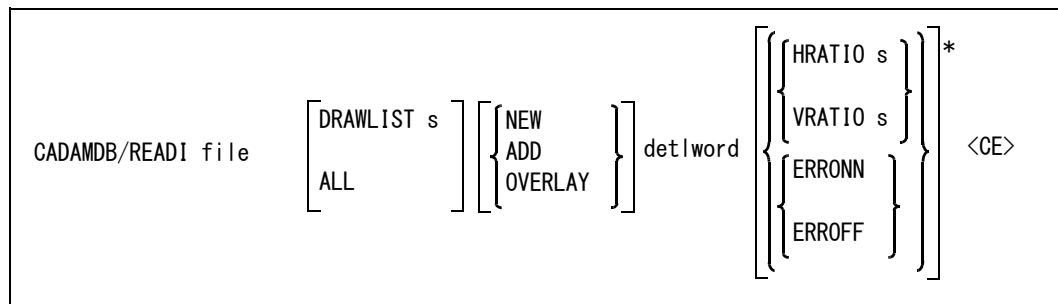
RDVIEW 0	すべてのビューのデータを読み込み
WRPIC 0	それぞれのピクチャに格納

2.2.1.3 CADAM DB 読み込み Regular_I

- Regular CADAM(ホスト計算機が IBM) の図面データファイルを Advance CAD へ読み込む

新規モード	NEW
追加モード	ADD
オーバーレイ	OVERLAY
入力ビュー	RDVIEW
格納先 P I C	WRPIC
ディテール名	DETAIL
サブモデル名	SUBMDLNAM
文字間隔	HRATIO
行間隔	VRATIO
図面名一覧	DRAWLIST
全図面	ALL
エラー出力 する	ERRONN
ない	ERROFF

【構文】



? detlword は変換モデルデータの選択を参照。

データベースのファイル名を指示する。

file : 図面データファイル名を入力する。ワイルドカード指定ができる。補足の (3) 複数図面一括読み込みを参照。

図面名、および変換後のモデル名の一覧を表示するかどうかを指示する。

DRAWLIST s : 図面データファイルに格納されている図面名および変換後のモデル名の一覧を表示する。

補足の (3) 複数図面一括読み込みを参照。

ALL : 全図面を変換する。図面名→モデル名変換テーブルが必要。

☆シンボルテーブルを変換する場合は、変換する図面名を選択した直後にシンボルテーブル番号とシンボル番号の初期値を "SYMTBttt,sss" の形式で入力する。

ttt : テーブル番号

sss : シンボル番号

図面に表示されている図面名が "SYMTBttt,sss" にかわる。

注). 図面名変換テーブルは使用しないこと。

変換モードをつぎのいずれかで指示する。

NEW : モデルを新規開始してからファイルを変換する。(省略時)

ADD : 現在作業中のモデル上にファイルを変換する。

OVERLAY : 現在作業中のモデルに追加変換する。
最初の読み込みは作図情報のある図面データを新規モードで読み込み、その図面データとオーバーレイされている図面データをオーバーレイモードで読み込む。

例. 次の5つの図面データがオーバーレイされている場合の読み込み

A1 作図情報あり → 新規モードで最初に読み込む
A2 " なし → オーバーレイモードで読み込む
A3 " " → "
A4 " " → "
A5 " " → "

変換の入力形態と変換結果の出力形態をつぎのいずれかで指示する。

detlword : 入出力詳細のファイル形態を選択する。

【detlword 部分の構文】

[RDVIEW view] [WRPIC s]	$\left\{ \begin{array}{l} \text{DETAIL file} \\ \text{SUBMDLNAM file} \end{array} \right\}$
-----------------------------	---

読み込むビューを指示する。

RDVIEW view : 読み込むビュー名を指定する。省略するか 0 を指示すると、すべてのビューのデータを読み込む。

読み込み先のピクチャを指示する。

WRPIC s : 格納先のピクチャ番号を指定する。省略するか 0 を指示すると、ビュー番号に空いているピクチャ番号を割り当て、データを格納する。

ディテールに付けるサブモデル名を指定する。

DETAIL file : ディテールを変換したサブモデルに付ける名前を指定する。指定された名前にディテール番号 (3 桁 0 埋) を付加した名前が実際のサブモデル名になる。省略すると 'D' になる。

例) D002(ディテール番号 2 のサブモデル名)

SUBMDLNAM file : ディテールを変換したサブモデルに付ける名前を指定する。(既定値)
子図をまとめて 1 つのサブモデルにする。
子図番号は、サブモデルのピクチャ番号に相当する。
サブモデル名の既定値は、'DSUB'。

文字／行の間隔を指示する。

HRATIO s : 文字間隔を文字高さに対する比率 (文字間隔 ÷ 文字高さ) で指定する。省略した場合は、1.0。

VRATIO s : 行間隔を文字高さに対する比率 (行間隔 ÷ 文字高さ) で指定する。省略した場合は、1.5。

エラーの情報を残すかどうか指示する。

ERRONN : 変換できない要素があった場合それらの情報をファイルに出力する。ファイル名は中間ファイル名の拡張子を '.ERR' にした名前。

ERROFF : 変換できない要素があっても、それらの情報をファイルに出力しない。

● CADAM DB 読み込み Regular_I で使用する ACAD.SET ファイルのキーワード

#CADAM:DB_R# : 図面データファイルのディレクトリと拡張子を指定する。
#CADAM:WORK# : 作業ファイルのディレクトリと拡張子を指定する。
#CADAM:TABLE# : 変換テーブルファイルのディレクトリと拡張子を指定する。
#CADAM:DITTO# : ディテールを変換したサブモデルのディレクトリと拡張子を指定する。指定がない場合、#MODEL# を使用する。

#CADAM:SYMTBL# : ユーザ定義・フォントシンボルのディレクトリ名と拡張子を指定する。指定がない場合は、#SYMBOL#を使用する。

変換テーブルファイルには、 () 内はファイル名

Regular CADAM → Advance CAD 1 バイトコード変換テーブル	(RCADAMACAD_CODE)
Regular CADAM → Advance CAD 2 バイトコード変換テーブル	(IBM_KANJI)
Regular CADAM → Advance CAD 線種・線幅変換テーブル	(RCADAMACAD_LINE)
Regular CADAM → Advance CAD 矢印変換テーブル	(RCADAMACAD_ARROW)
Regular CADAM → Advance CAD シンボル変換テーブル	(RCADAMACAD_SYMBOL)
Regular CADAM → Advance CAD 図面名変換テーブル	(RCADAMACAD_MODEL)
Regular CADAM → Advance CAD 変換パラメータ	(RCADAMACAD_PARAM)
Regular CADAM → Advance CAD 1 バイトトレランスコード変換テーブル	(RCADAMACAD_TCODE)
Regular CADAM → Advance CAD 2 バイト外字コード変換テーブル	(IBM_KANJI_EXTEND)
Regular CADAM → Advance CAD ピクチャ割り当てテーブル	(RCADAMACAD_PIC)

がある。テーブルの詳細については Appendix C 参照のこと。

【補足】

(1) 次の指定で変換したときだけプロット情報が図面配置情報に変換される。

NEW	新規モード
RDVIEW 0	すべてのビューのデータを読み込み
WRPIC 0	それぞれのピクチャに格納

(2) 複数図面一括読み込み

入力図面データファイル内に複数の図面が格納されている場合、それらを一括して読み込むことができる。この機能を使うには、Regular CADAM → Advance CAD 図面名変換テーブルが必要になる。このテーブルファイルがない場合は、一括読み込みはできない。

注). 複数図面の一括読み込みを行う場合

- 読み込みは、新規モード (NEW), すべてのビューの読み込み (RDVIEW 0), それぞれのピクチャに格納 (WRPIC 0) で行います。
- ディテールの処理は、ディテール名 (DETAIL) を指示した場合にサブモデル名は、model_name_Dxxx(モデル名の後に "_Dxxx" を付ける) となります。
サブモデル名 (SUBMDLNAM) を指示した場合にサブモデル名は、model_name_D(モデル名の後に "_D" を付ける) となります。

データ変換する図面名をピックする。ピックした図面名のデータが変換されモデルファイルに格納される。ピックした直後にモデル名を入力するとモデル名を変更することができる。変換する図面名は BOX で囲われて表示される。BOX で囲われている図面名をピックすると変換の取り消しになる。

表示画面の例

図面名一覧		ページ 1 / 1
ラベル名 : REBUILD		個数 4
1	DRAWING001	MODEL001
2	DRAWING002	MODEL002
3	DRAWING003	MODEL003
4	DRAWING004	MODEL004

この例の場合、図面 DRAW001, DRAW002, DRAW003 が変換されてモデル MODEL001,MODEL002, MODEL003 にそれぞれ格納されます。

2.2.1.4 CADAM DB 読み込み Regular_F

- Regular CADAM(ホスト計算機が FACOM) の図面データファイルを Advance CAD へ読み込む

新規モード	NEW
追加モード	ADD
オーバーレイ	OVERLAY
入力ビュー	RDVIEW
格納先 P I C	WRPIC
ディテール名	DETAIL
サブモデル名	SUBMDLNAM
文字間隔	HRATIO
行間隔	VRATIO
図面名一覧	DRAWLIST
全図面	ALL
エラー出力	
する	ERRONN
ない	ERROFF

【構文】

CADAMDB/READF file	$\left[\begin{array}{c} \text{DRAWLIST s} \\ \text{ALL} \end{array} \right]$	$\left[\left\{ \begin{array}{c} \text{NEW} \\ \text{ADD} \\ \text{OVERLAY} \end{array} \right\} \right]$	detlword	$\left[\left\{ \begin{array}{c} \left\{ \begin{array}{c} \text{HRATIO s} \\ \text{VRATIO s} \end{array} \right\} \\ \left\{ \begin{array}{c} \text{ERRONN} \\ \text{ERROFF} \end{array} \right\} \end{array} \right\} \right]^*$	<CE>
--------------------	---	---	----------	---	------

? detlword は変換モデルデータの選択を参照。

データベースのファイル名を指示する。

file : 図面データファイル名を入力する。ワイルドカード指定ができる。
補足の (3) 複数図面一括読み込みを参照。

図面名、および変換後のモデル名の一覧を表示するかどうかを指示する。

DRAWLIST s : 図面データファイルに格納されている図面名および変換後のモデル名の一覧を表示する。
補足の (3) 複数図面一括読み込みを参照。

ALL : 全図面を変換する。図面名→モデル名変換テーブルファイルが必要。

☆ シンボルテーブルを変換する場合は、変換する図面名を選択した直後にシンボルテーブル番号とシンボル番号の初期値を "SYMTBttt,sss" の形式で入力する。

ttt : テーブル番号

sss : シンボル番号

図面に表示されている図面名が "SYMTBttt,sss" にかわる。

注) 図面 m 名変換テーブルは使用しないこと。

変換モードをつぎのいずれかで指示する。

NEW : モデルを新規開始してからファイルを変換する。(省略時)

ADD : 現在作業中のモデル上にファイルを変換する。

OVERLAY : 現在作業中のモデルに追加変換する。
最初の読み込みは作図情報のある図面データを新規モードで読み込み、その図面データとオーバーレイされている図面データをオーバーレイモードで読み込む。

例. 次の 5 つの図面データがオーバーレイされている場合の読み込み

A1 作図情報あり → 新規モードで最初に読み込む

A2 " なし → オーバーレイモードで読み込む

A3 " " → "

A4 " " → "

A5 " " → "

変換の入力形態と変換結果の出力形態をつぎのいずれかで指示する。

detlword : 入出力詳細のファイル形態を選択する。

【detlword 部分の構文】

[RDVIEW view] [WRPIC s]	$\left[\begin{array}{l} \text{DETAIL file} \\ \text{SUBMDLNM file} \end{array} \right]$
-----------------------------	--

読み込むビューを指示する。

RDVIEW view : 読み込むビュー名を指定する。省略するか 0 を指示すると、すべてのビューのデータを読み込む。

読み込み先のピクチャを指示する。

WRPIC s : 格納先のピクチャ番号を指定する。省略するか 0 を指示すると、ビュー番号に空いているピクチャ番号を割り当て、データを格納する。

ディテールに付けるサブモデル名を指定する。

DETAIL file : ディテールを変換したサブモデルに付ける名前を指定する。指定された名前にディテール番号 (3 桁 0 埋) を付加した名前が実際のサブモデル名になる。省略すると 'D' になる。

例) D002(ディテール番号 2 のサブモデル名)

SUBMDLNM file : ディテールを変換したサブモデルに付ける名前を指定する。(既定値)
子図をまとめて 1 つのサブモデルにする。
子図番号は、サブモデルのピクチャ番号に相当する。
サブモデル名の既定値は、'DSUB'。

文字／行の間隔を指示する。

- HRATIO s : 文字間隔を文字高さに対する比率（文字間隔 ÷ 文字高さ）で指定する。省略した場合は、1.0。
- VRATIO s : 行間隔を文字高さに対する比率（行間隔 ÷ 文字高さ）で指定する。省略した場合は、1.5。

エラーの情報を残すかどうか指示する。

- ERRONN : 変換できない要素があった場合それらの情報をファイルに出力する。ファイル名は中間ファイル名の拡張子を '.ERR' にした名前。
- ERROFF : 変換できない要素があっても、それらの情報をファイルに出力しない。

● CADAM DB 読み込み Regular_F で使用する ACAD.SET ファイルのキーワード

- #CADAM:DB_R# : 図面データファイルのディレクトリと拡張子を指定する。
- #CADAM:WORK# : 作業ファイルのディレクトリと拡張子を指定する。
- #CADAM:TABLE# : 変換テーブルファイルのディレクトリと拡張子を指定する。
- #CADAM:DITTO# : ディテールを変換したサブモデルのディレクトリと拡張子を指定する。指定がない場合、#MODEL# を使用する。
- #CADAM:SYMTBL : ユーザ定義・フォントシンボルのディレクトリ名と拡張子を指定する。指定がない場合は、#SYMBOL# を使用する。

変換テーブルファイルには、

() 内はファイル名

- Regular CADAM → Advance CAD 1 バイトコード変換テーブル (RCADAMACAD_CODE)
- Regular CADAM → Advance CAD 線種・線幅変換テーブル (RCADAMACAD_LINE)
- Regular CADAM → Advance CAD 矢印変換テーブル (RCADAMACAD_ARROW)
- Regular CADAM → Advance CAD シンボル変換テーブル (RCADAMACAD_SYMBOL)
- Regular CADAM → Advance CAD 図面名変換テーブル (RCADAMACAD_MODEL)
- Regular CADAM → Advance CAD 変換パラメータ (RCADAMACAD_PARAM)
- Regular CADAM → Advance CAD 1 バイトトレランスコード変換テーブル (RCADAMACAD_TCODE)
- Regular CADAM → Advance CAD 2 バイト外字コード変換テーブル (EUC_EXTEND)
- Regular CADAM → Advance CAD ピクチャ割り当てテーブル (RCADAMACAD_PIC)

がある。テーブルの詳細は Appendix C を参照のこと。

【補足】

- (1) 次の指定で変換したときだけプロット情報が図面配置情報に変換される。

- NEW : 新規モード
- RDVIEW 0 : すべてのビューのデータを読み込み
- WRPIC 0 : それぞれのピクチャに格納

- (2) 複数図面一括読み

入力図面データファイル内に複数の図面が格納されている場合、それらを一括して読み込むことができる。この機能を使うには、Regular CADAM → Advance CAD 図面名変換テーブルが必要になる。このテーブルファイルがない場合は、一括読み込みはできない。

注). 複数図面の一括読み込みを行う場合

- 読み込みは、新規モード (NEW), すべてのビューの読み込み (RDVIEW 0), それぞれのピクチャに格納 (WRPIC 0) で行います。
- ディテールの処理は、ディテール名 (DETAIL) を指示した場合にサブモデル名は、model_name_Dxxx(モデル名の後に "_Dxxx" を付ける) となります。
サブモデル名 (SUBMDLNAM) を指示した場合にサブモデル名は、model_name_D(モデル名の後に "_D" を付ける) となります。

データ変換する図面名をピックする。ピックした図面名のデータが変換されモデルファイルに格納される。ピックした直後にモデル名を入力するとモデル名を変更することができる。変換する図面名は BOX で囲われて表示される。BOX で囲われている図面名をピックすると変換の取り消しになる。

表示画面の例

図面名一覧		ページ 1 / 1
ラベル名 : REBUILD		個数 4
1	DRAWING001	MODEL001
2	DRAWING002	MODEL002
3	DRAWING003	MODEL003
4	DRAWING004	MODEL004

この例の場合、図面 DRAW001, DRAW002, DRAW003 が変換されてモデル MODEL001,MODEL002, MODEL003 にそれぞれ格納されます。

2.2.2 副座標処理コマンド

CADAM の副座標を使って作成した図形データを Advance CAD で扱えるようにします。
副座標の倍率がビューの倍率と異なる場合に使用します。
倍率が同じ場合は、補助座標が使用できます。

● 副座標を利用して作成した図面データを処理する

副座標
倍率 SCF
出力 P I C OUTPIC

【構文】

CADAM/ORIGIN	SCF s	OUTPIC s	ACT	<CE>
--------------	-------	----------	-----	------

図形データの倍率を指定する。

SCF s : 倍率を入力する。
倍率は、分数形式でも入力可能。分子／分母の形式で入力する。
分子、分母ともに正の整数値で入力のこと。

出力ピクチャを指定する。

OUTPIC s : 出力ピクチャを入力する。
ピクチャの倍率は、自動的に設定される。
すでに使用しているピクチャに出力する場合は、倍率が同じときのみ正しく処理する。
倍率が異なるピクチャには、出力しないこと。
ページ 1 に図面配置していれば、出力ピクチャも図面配置する。

図形データを指定する。

ACT : 副座標を利用して作成した図形データをアクティブリストに載せる。

コマンドを実行する。

<CE> : 図形データを処理する。

2.2.3 CADAM DB 書き込み

2.2.3.1 CADAM DB 書き込み Micro

- Advance CAD の図面データファイルを Micro CADAM の図面データファイルに変換する

現モデル	CUR_MDL
モデル名指定	SPC_MDL
全モデル	ALL
整理	SPC_MDLCMP
ページ番号	PAGE
現ピクチャ	CURPIC
ピクチャ番号	OUTPIC
USEACT	USEACT
変換 PARM	CADAMPARAM
図面ファイル	
DOS ファイル	DOSFILE
新規	NEW
追加	ADD
フロッピー	FLOPPY
グループ名	GRPNAME
ユーザ名	USRNAME
図面名	DWGNAME
終了	EJECT

【構文】

```
CADAMDB/WRITEM mediaword mdlword [ CADAMPARAM ] <CE> EJECT
```

? mediaword は出力形態を参照。

? mdlword は変換モデルデータの選択を参照。

変換結果の出力形態をつぎのいずれかで指示する。

mediaword : 出力方法のファイル形態を選択する。

【mediaword 部分の構文】

$\left[\begin{array}{l} \left\{ \begin{array}{l} \text{DOSFILE} \left\{ \begin{array}{l} \text{NEW} \\ \text{ADD} \end{array} \right\} \text{file} \\ \text{FLOPPY} [\text{GRPNAME group}] [\text{USRNAME user}] \end{array} \right\} \end{array} \right]$	DWGNAME draw
---	--------------

出力方法のファイル形態をつぎのいずれかで指示する。

DOSFILE : 変換結果を DOS ファイルの形態で出力する。

FLOPPY : 変換結果をフロッピーに出力する。

DOS ファイル作成方法をつぎのいずれかで指示する。

NEW : DOS ファイルを新規に作成する。

ADD : 既存の DOS ファイルに追加する。

DOS ファイルの名称を指示する。

file : DOS ファイルの名称を入力する。

フロッピーに出力するときに名称を指示する。

GRPNAME group : グループ名を入力する。省略時は、変換パラメータで設定されているグループ名を使用する。

USERNAME user : ユーザ名を入力する。省略時は、変換パラメータで設定されているユーザ名を使用する。

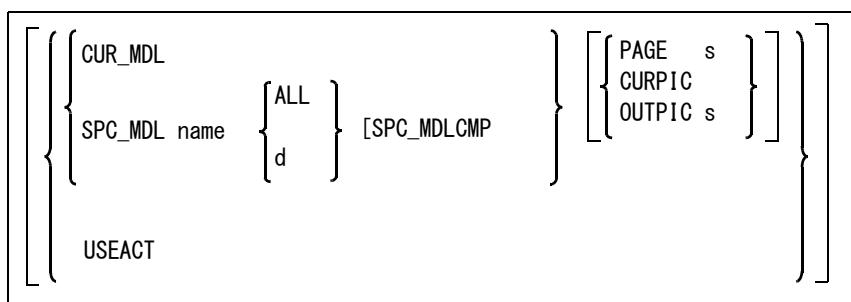
図面名を指示する。

DWGNAME draw : 図面名を入力する。

変換する図面データのモデルをつぎのいずれかで指示する。

mdlword : 変換するモデルデータを選択する。

【mdlword 部分の構文】



変換するモデルデータを選択する。

CUR_MDL : 現在作業中のモデルの図面データを変換する。(省略時)

SPC_MDL name : 指定したモデル名の図面データを変換する。
複数のモデル名を指定できる。現在作業中のモデルの図面データは壊れるので注意すること。ワイルドカードが使用できる。
指定したモデル名に該当するモデル名および図面名の一覧が画面に表示される。
表示されたモデルの中から変換するモデル名をピックする。

変換する図面を指示する。

ALL : 指定したモデル全部を変換対象にする。
この指定を使用する場合は、モデル名→図面名変換テーブルが必要になる。

d : 変換するモデル名をピックする。
変換対象となるモデル名はBOXで囲まれる。BOXで囲われたモデル名をピックすると変換の取り消しになる。
モデル名をピックした直後に図面名を入力すると図面名の設定、または変更が行える。

出力ピクチャをつぎのいずれかで指示する。省略すると図面ページ1に配置されているピクチャのデータを出力する。

PAGE s : 指定した図面配置のページ番号に配置されたピクチャの図面データを変換する。図面枠も変換できる。

CURPIC : 現在作業中のピクチャの図面データを変換する。

OUTPIC s : 指定したピクチャの図面データを変換する。
0を指定すると全ピクチャの図面データを変換する。

USEACT : アクティブリストに登録した図面データを変換する。

変換するときのパラメータを設定する。

CADAMPARAM : 図面ファイルに書込むときのパラメータを設定、または変更する。
画面に表示される項目からいずれかを選ぶ。
選択されたものはBOXで囲まれる。

1 度だけ使用する場合は “ 終了 ” を、この設定値を引き続き使用する場合は “ パラメータ保存 ” を選ぶ。

表示画面の例

Advance CAD → CADAM 変換パラメータ			
バージョン	Ver 2.xx	Ver 3.xx	
精度	単精度	倍精度	
グループ名	C A D		
ユーザ名	T R A I N		
図面容量	4 8 K		
シンボル	図形要素に展開	シンボルに変換	
図面枠	出力しない	出力する	表題のみ出力
文字高倍率	1		
文字幅倍率	1		
ディテール変換	しない	する	する (複合アイテムも)
オーバーレイ変換	しない	する	
非表示アイテム	出力する	出力しない	
出力ビュー	各々	1 つにまとめる	
パラメータ保存 終了			

フロッピーへの直接書込みを終了する。

EJECT : フロッピーを装置から取り出す。

● CADAM DB 書き込み Micro で使用する ACAD.SET ファイルのキーワード

#CADAM:DOS# : DOS ファイルのディレクトリと拡張子を指定する。
 #CADAM:WORK# : 作業ファイルのディレクトリと拡張子を指定する。
 #CADAM:TABLE# : 変換テーブルファイルのディレクトリと拡張子を指定する。
 #FLOPPY# : フロッピーディスクの装置名を指定する。

変換テーブルファイルには、

Advance CAD → Micro CADAM	変換パラメータ	() 内はファイル名
Advance CAD → Micro CADAM	線種・線幅変換テーブル	(ACADMCADAM_DBWRITE)
Advance CAD → Micro CADAM	矢印変換テーブル	(ACADMCADAM_LINE)
Advance CAD → Micro CADAM	シンボル変換テーブル	(ACADMCADAM_ARROW)
Advance CAD → Micro CADAM	モデル名変換テーブル	(ACADMCADAM_SYMBOL)
Advance CAD → Micro CADAM	属性変換テーブル	(ACADMCADAM_MODEL)
Advance CAD → Micro CADAM	外字変換テーブル	(ACADMCADAM_SPEC)
		(SHIFTJIS_EXTEND)

がある。テーブルの詳細については Appendix D 参照のこと。

2.2.3.2 CADAM DB 読み込み MC-W

- Advance CAD の図面データを MC-W の図面データファイルに変換する

現モデル	CUR_MDL
モデル名指定	SPC_MDL
全モデル	ALL
整理	SPC_MDLCMP
ページ番号	PAGE
現ピクチャ	CURPIC
ピクチャ番号	OUTPIC
USEACT	USEACT
変換 PARM	CADAMPARAM
図面ファイル	
DOS ファイル	DOSFILE
新規	NEW
追加	ADD
フロッピー	FLOPPY
MC-W	MC_X
区画名	PARTNAME
グループ名	GRPNAME
ユーザ名	USRNAME
図面名	DWGNAME
終了	EJECT

【構文】

```
CADAMDB/WRITEX mediaword mdlword [ CADAMPARAM ] <CE> EJECT
```

※ mediaword は出力形態を参照。

※ mdlword は変換モデルデータの選択を参照。

変換結果の出力形態をつぎのいずれかで指示する。

mediaword : 出力方法のファイル形態を選択する。

【mediaword 部分の構文】

$\left\{ \begin{array}{l} \text{DOSFILE} \left\{ \begin{array}{l} \text{NEW} \\ \text{ADD} \end{array} \right\} \text{file} \\ \left\{ \begin{array}{l} \text{FLOPPY} \\ \text{MC_X} [\text{PARTNAME part}] \end{array} \right\} [\text{GRPNAME group}] [\text{USRNAME user}] \end{array} \right\} \text{DWGNAME draw}$	
--	--

出力方法のファイル形態をつぎのいずれかで指示する。

DOSFILE : 変換結果を DOS ファイルの形態で出力する。

FLOPPY : 変換結果をフロッピーに出力する。

MC_X : 変換結果を MC-W のデータベースの形態で出力する。

DOS ファイル作成方法をつぎのいずれかで指示する。

NEW : DOS ファイルを新規に作成する。

ADD : 既存の DOS ファイルに追加する。

DOS ファイルの名称を指示する。

file : DOS ファイルの名称を入力する。

フロッピーや MC-W のデータベースの形態で図面データを入力するときに名称を指示する。

PARTNAME part : MC-W のドライブ名を入力する。省略時は、変換パラメータで設定されているドライブ名を使用する。
 GRPNAME group : グループ名を入力する。省略時は、変換パラメータで設定されているグループ名を使用する。
 USERNAME user : ユーザ名を入力する。省略時は、変換パラメータで設定されているユーザ名を使用する。

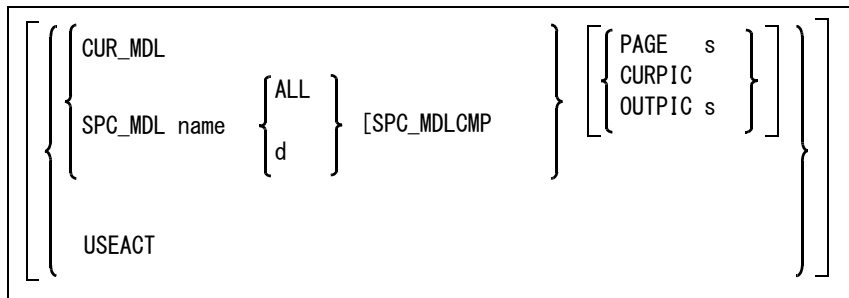
図面名の名称を指示する。

DWGNAME draw : 図面名を入力する。

変換する図面データのモデルをつぎのいずれかで指示する。

mdlword : 変換するモデルデータを選択する。

【mdlword 部分の構文】



変換するモデルデータを選択する。

CUR_MDL : 現在作業中のモデルの図面データを変換する。(省略時)
 SPC_MDL name : 指定したモデル名の図面データを変換する。
 複数のモデル名を指定できる。現在作業中のモデルの図面データは壊れるので注意すること。ワイルドカードが使用できる。
 指定したモデル名に該当するモデル名および図面名の一覧が画面に表示される。
 表示されたモデルの中から変換するモデル名をピックアップする。

変換する図面を指示する。

ALL : 指定したモデル全部を変換対象にする。
 この指定を使用する場合は、モデル名→図面名変換テーブルが必要になる。
 d : 変換するモデル名をピックアップする。変換対象となるモデル名は BOX で囲まれる。BOX で囲われたモデル名をピックアップすると変換の取り消しになる。モデル名をピックアップした直後に図面名を入力すると図面名の設定、または変更が行える。

出力ピクチャをつぎのいずれかで指示する。省略すると図面ページ 1 に配置されているピクチャのデータを出力する。

PAGE s : 指定した図面配置のページ番号に配置されたピクチャの図面データを変換する。図面枠も変換できる。
 CURPIC : 現在作業中のピクチャの図面データを変換する。
 OUTPIC s : 指定したピクチャの図面データを変換する。
 0 を指定すると全ピクチャの図面データを変換する。
 USEACT : アクティブリストに登録した図面データを変換する。

変換するときのパラメータを設定する。

CADAMPARAM : 図面ファイルに書込むときのパラメータを設定、または変更する。
 画面に表示される項目からいずれかを選ぶ。選択されたものは BOX で囲まれる。1 度だけ使用する場合は " 終了 " を、この設定値を引き続き使用する場合は " パラメータ保存 " を選ぶ。

表示画面の例

Advance CAD → CADAM 変換パラメータ			
バージョン	Ver 2.xx	Ver 3.xx	
精度	単精度	倍精度	
区分名	MC X		
グループ名	CAD		
ユーザ名	TRAIN		
図面容量	48K		
シンボル	図形要素に展開	シンボルに変換	
図面枠	出力しない	出力する	表題のみ出力
文字高倍率	1		
文字幅倍率	1		
ディテール変換	しない	する	する(複合アイテムも)
オーバーレイ変換	しない	する	
非表示アイテム	出力する	出力しない	
出力ビュー	各々	1つにまとめる	
パラメータ保存 終了			

フロッピーへの直接書き込みを終了する。

EJECT : フロッピーを装置から取り出す。

● CADAM DB 書き込み MC-W で使用する ACAD.SET ファイルのキーワード

#CADAM:DOS# : DOS ファイルのディレクトリと拡張子を指定する。
 #CADAM:WORK# : 作業ファイルのディレクトリと拡張子を指定する。
 #CADAM:TABLE# : 変換テーブルファイルのディレクトリと拡張子を指定する。
 #FLOPPY# : フロッピーディスクの装置名を指定する。

変換テーブルファイルには、

() 内はファイル名

Advance CAD → Micro CADAM 変換パラメータ	(ACADMCADAM_DBWRITE)
Advance CAD → Micro CADAM 線種・線幅変換テーブル	(ACADMCADAM_LINE)
Advance CAD → Micro CADAM 矢印変換テーブル	(ACADMCADAM_ARROW)
Advance CAD → Micro CADAM シンボル変換テーブル	(ACADMCADAM_SYMBOL)
Advance CAD → Micro CADAM モデル名変換テーブル	(ACADMCADAM_MODEL)
Advance CAD → Micro CADAM 属性変換テーブル	(ACADMCADAM_SPEC)
Advance CAD → Micro CADAM 外字変換テーブル	(SHIFTJIS_EXTEND)

がある。テーブルの詳細については Appendix D 参照のこと。

2.2.3.3 CADAM DB 書き込み Regular_I

- Advance CAD の図面データを Regular CADAM(ホスト計算機が IBM) の NURESTOR イメージファイルに変換する

現モデル	CUR_MDL
モデル名指定	SPC_MDL
全モデル	ALL
整理	SPC_MDLCMP
ページ番号	PAGE
現ピクチャ	CURPIC
ピクチャ番号	OUTPIC
USEACT	USEACT
変換PARAM	CADAMPARAM
図面ファイル	
ファイル名	DBFILE
新規	NEW
追加	ADD
グループ名	GRPNAME
ユーザ名	USRNAME
図面名	DWGNAME

【構文】

```
CADAMDB/WRITEI mediaword mdlword [ CADAMPARAM ] <CE>
```

※ mediaword は出力形態を参照。

※ mdlword は変換モデルデータの選択を参照。

変換結果の出力形態をつぎのいずれかで指示する。

mediaword : 出力ファイル形態を選択する。

【mediaword 部分の構文】

```
DBFILE { NEW } file [GRPNAME group] [USRNAME user] DWGNAME draw
        { ADD }
```

出力ファイルを指定する。(NURESTOR イメージファイル)

DBFILE : 出力ファイル名を指示する。

出力ファイル作成方法をつぎのいずれかで指示する。

NEW : 出力ファイルを新規に作成する。

ADD : 既存の出力ファイルに追加する。

出力ファイルの名称を指示する。

file : 出力ファイルの名称を入力する。

出力ファイルに図面データを入力するときに名称を指示する。

GRPNAME group : グループ名を入力する。省略時は、変換パラメータで設定されているグループ名を使用する。

USRNAME user : ユーザ名を入力する。省略時は、変換パラメータで設定されているユーザ名を使用する。

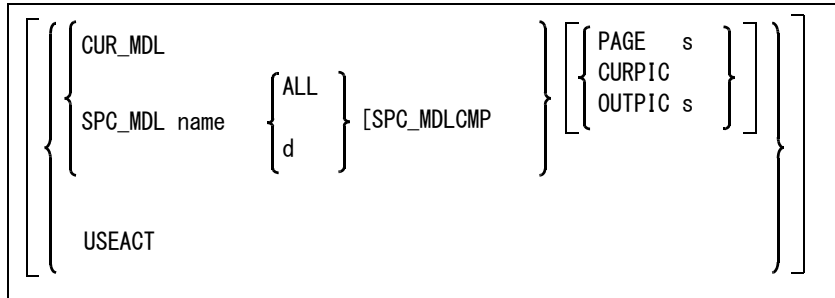
図面名の名称を指示する。

DWGNAME draw : 図面名を入力する。

変換する図面データのモデルをつぎのいずれかで指示する。

mdlword : 変換するモデルデータを選択する。

【mdlword 部分の構文】



変換するモデルデータを選択する。

- CUR_MDL : 現在作業中のモデルの図面データを変換する。(省略時)
- SPC_MDL name : 指定したモデル名の図面データを変換する。
複数のモデル名を指定できる。現在作業中のモデルの図面データは壊れるので注意すること。
ワイルドカードが使用できる。指定したモデル名に該当するモデル名および図面名の一覧が画面に表示される。
表示されたモデルの中から変換するモデル名をピックアップする。

変換する図面を指示する。

- ALL : 指定したモデル全部を変換対象にする。
この指定を使用する場合は、モデル名→図面名変換テーブルが必要になる。
- d : 変換するモデル名をピックアップする。
変換対象となるモデル名はBOXで囲まれる。BOXで囲われたモデル名をピックアップすると変換の取り消しになる。
モデル名をピックアップした直後に図面名を入力すると図面名の設定、または変更が行える。

出力ピクチャをつぎのいずれかで指示する。省略すると図面ページ1に配置されているピクチャのデータを出力する。

- PAGE s : 指定した図面配置のページ番号に配置されたピクチャの図面データを変換する。図面枠も変換できる。
- CURPIC : 現在作業中のピクチャの図面データを変換する。
- OUTPIC s : 指定したピクチャの図面データを変換する。
0を指定すると全ピクチャの図面データを変換する。
- USEACT : アクティブリストに登録した図面データを変換する。

変換するときのパラメータを設定する。

- CADAMPARAM : 図面ファイルに書込むときのパラメータを設定、または変更する。
画面に表示される項目からいずれかを選ぶ。
選択されたものはBOXで囲まれる。
1度だけ使用する場合は“終了”を、この設定値を引き続き使用する場合は“パラメータ保存”を選ぶ。

表示画面の例

Advance CAD → CADAM 変換パラメータ			
グループ名	C A D		
ユーザ名	T R A I N		
図面容量	3 2 K		
シンボル	図形要素に展開	シンボルに変換	
図面枠	出力しない	出力する	表題のみ出力
文字高倍率	1		
文字幅倍率	1		
ディテール変換	しない	する	
オーバーレイ変換	しない	する	
非表示アイテム	出力する	出力しない	
出力ビュー	各々	1 つにまとめる	
パラメータ保存 終了			

● CADAMDB 書き込み Regular_I で使用する ACAD.SET ファイルのキーワード

#CADAM:DB_R# : 図面データファイルのディレクトリと拡張子を指定する。
 #CADAM:WORK# : 作業ファイルのディレクトリと拡張子を指定する。
 #CADAM:TABLE# : 変換テーブルファイルのディレクトリと拡張子を指定する。

変換テーブルファイルには、

() 内はファイル名

Advance CAD → Regular CADAM 変換パラメータ	(ACADRCADAM_DBWRITE)
Advance CAD → Regular CADAM 線種・線幅変換テーブル	(ACADRCADAM_LINE)
Advance CAD → Regular CADAM 矢印変換テーブル	(ACADRCADAM_ARROW)
Advance CAD → Regular CADAM シンボル変換テーブル	(ACADRCADAM_SYMBOL)
Advance CAD → Regular CADAM 図面名変換テーブル	(ACADRCADAM_MODEL)
Advance CAD → Regular CADAM 属性変換テーブル	(ACADRCADAM_SPEC)
Advance CAD → Regular CADAM 1 バイトコード変換テーブル	(ACADRCADAM_CODE)
Advance CAD → Regular CADAM 2 バイトコード変換テーブル	(IBM_KANJI)
Advance CAD → Regular CADAM 外字変換テーブル	(IBM_KANJI_EXTEND)

がある。テーブルの詳細については Appendix D 参照のこと。

2.2.3.4 CADAM DB 書き込み Regular_F

● Advance CAD の図面データを Regular CADAM(ホスト計算機が FACOM) の NURESTOR イメージファイルに変換する

現モデル	CUR_MDL
モデル名指定	SPC_MDL
全モデル	ALL
整理	SPC_MDLCMP

ページ番号	PAGE
現ピクチャ	CURPIC
ピクチャ番号	OUTPIC
USEACT	USEACT
変換 PARM	CADAMPARAM
図面ファイル	
ファイル名	DBFILE
新規	NEW
追加	ADD
グループ名	GRPNAME
ユーザ名	USRNAME
図面名	DWGNAME

【構文】

```
CADAMDB/WRITEF mediaword mdlword [ CADAMPARAM ] <CE>
```

※ mediaword は出力形態を参照。

※ mdlword は変換モデルデータの選択を参照。

変換結果の出力形態をつぎのいずれかで指示する。

mediaword : 出力ファイル形態を選択する。

【mediaword 部分の構文】

```
DBFILE { NEW } file [GRPNAME group] [USRNAME user] DWGNAME draw
        { ADD }
```

出力ファイルを指定する。(NURESTOR イメージファイル)

DBFILE : 出力ファイル名を指示する。

出力ファイル作成方法をつぎのいずれかで指示する。

NEW : 出力ファイルを新規に作成する。

ADD : 既存の出力ファイルに追加する。

出力ファイルの名称を指示する。

file : 出力ファイルの名称を入力する。

出力ファイルに図面データを入力するときに名称を指示する。

GRPNAME group : グループ名を入力する。省略時は、変換パラメータで設定されているグループ名を使用する。

USRNAME user : ユーザ名を入力する。省略時は、変換パラメータで設定されているユーザ名を使用する。

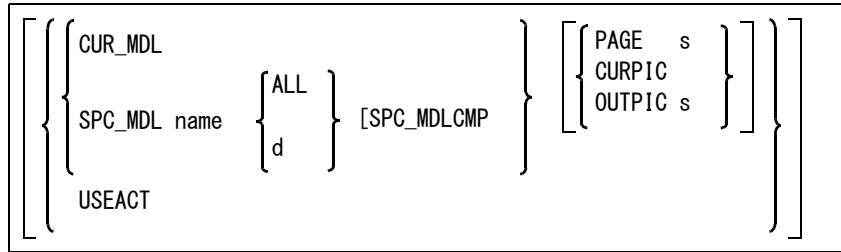
図面名の名称を指示する。

DWGNAME draw : 図面名を入力する。

変換する図面データのモデルをつぎのいずれかで指示する。

mdlword : 変換するモデルデータを選択する。

【mdlword 部分の構文】



変換するモデルデータを選択する。

- CUR_MDL : 現在作業中のモデルの図面データを変換する。(省略時)
- SPC_MDL name : 指定したモデル名の図面データを変換する。
複数のモデル名を指定できる。現在作業中のモデルの図面データは壊れるので注意すること。ワイルドカードが使用できる。
指定したモデル名に該当するモデル名および図面名の一覧が画面に表示される。
表示されたモデルの中から変換するモデル名をピックアップする。

変換する図面を指示する。

- ALL : 指定したモデル全部を変換対象にする。
この指定を使用する場合は、モデル名→図面名変換テーブルが必要になる。
- d : 変換するモデル名をピックアップする。
変換対象となるモデル名は BOX で囲まれる。BOX で囲われたモデル名をピックアップすると変換の取り消しになる。
モデル名をピックアップした直後に図面名を入力すると図面名の設定、または変更が行える。

出力ピクチャをつぎのいずれかで指示する。省略すると図面ページ1に配置されているピクチャのデータを出力する。

- PAGE s : 指定した図面配置のページ番号に配置されたピクチャの図面データを変換する。図面枠も変換できる。
- CURPIC : 現在作業中のピクチャの図面データを変換する。
- OUTPIC s : 指定したピクチャの図面データを変換する。
0 を指定すると全ピクチャの図面データを変換する。
- USEACT : アクティブリストに登録した図面データを変換する。

変換するときのパラメータを設定する。

- CADAMPARAM : 図面ファイルに書込むときのパラメータを設定、または変更する。
画面に表示される項目からいずれかを選ぶ。
選択されたものは BOX で囲まれる。
1 度だけ使用する場合は “終了” を、この設定値を引き続き使用する場合は “パラメータ保存” を選ぶ。

表示画面の例

Advance CAD → CADAM 変換パラメータ			
グループ名	C A D		
ユーザ名	T R A I N		
図面容量	3 2 K		
シンボル	図形要素に展開	シンボルに変換	
図面枠	出力しない	出力する	表題のみ出力
文字高倍率	1		
文字幅倍率	1		
ディテール変換	しない	する	
オーバーレイ変換	しない	する	
非表示アイテム	出力する	出力しない	
出力ビュー	各々	1 つにまとめる	
パラメータ保存 終了			

● CADAM DB 書き込み Regular_F で使用する ACAD.SET ファイルのキーワード

#CADAM:DB_R# : 図面データファイルのディレクトリと拡張子を指定する。
 #CADAM:WORK# : 作業ファイルのディレクトリと拡張子を指定する。
 #CADAM:TABLE# : 変換テーブルファイルのディレクトリと拡張子を指定する。

変換テーブルファイルには、

Advance CAD → Regular CADAM 変換パラメータ	() 内はファイル名
Advance CAD → Regular CADAM 線種・線幅変換テーブル	(ACADRCADAM_DBWRITE)
Advance CAD → Regular CADAM 矢印変換テーブル	(ACADRCADAM_LINE)
Advance CAD → Regular CADAM シンボル変換テーブル	(ACADRCADAM_ARROW)
Advance CAD → Regular CADAM 図面名変換テーブル	(ACADRCADAM_SYMBOL)
Advance CAD → Regular CADAM 属性変換テーブル	(ACADRCADAM_MODEL)
Advance CAD → Regular CADAM 1 バイトコード変換テーブル	(ACADRCADAM_SPEC)
Advance CAD → Regular CADAM 外字変換テーブル	(ACADRCADAM_CODE)
	(EUC_EXTEND)

がある。テーブルの詳細については Appendix D 参照のこと。

第 3 章 Regular CADAM とのデータ変換

3.1 インストール

Regular CADAM にデータ変換プログラムをインストールします。
Regular CADAM 『DB 読込み』のみ使用の場合は、必要ありません。

(1) 準備

以下のものが揃っているか確認してください。

- FORTRAN コンパイラ
- インストール用 1/2 インチオープンリール磁気テープ
 - ラベル : NL
 - ファイル番号 : 1
 - レコード長 : 80 Byte
 - ブロック長 : 800 Byte
 - 記録密度 : 1600 BPI

インストール用 1/2 インチオープンリール磁気テープには、次のファイルが入っています。

File No. 1 : Advance CAD → Regular CADAM データ変換ソースプログラム
(以降 DBCOPY と記述します)。

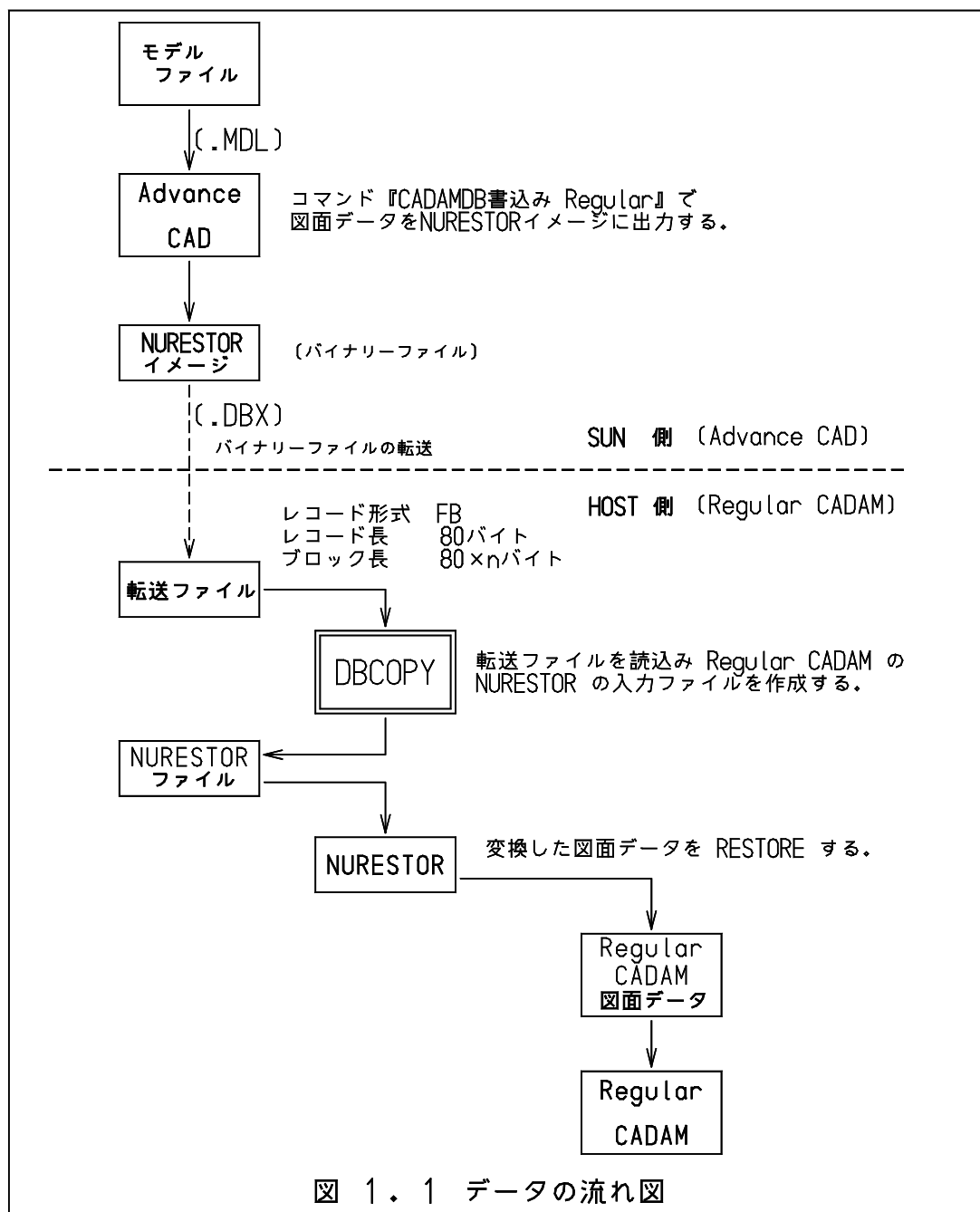
プログラムはバッチジョブとして実行します。

プログラムへのパラメータはパラメータファイルに記述するか、直接 JCL のデータとして記述します。後述の JCL 例をご覧ください。

3.2 Regular CADAM へデータを変換する

Advance CAD で作成した中間ファイルを Regular CADAM(Rel 20.0) の NURESTOR のイメージに変換するプログラムのインストールと実行方法を説明します。

プログラム名は **DBCOPY** です。



3.3 準備

3.3.1 プログラム DBCOPY のコンパイル、リンク

プログラムは、1/2 インチオープンリール磁気テープにつぎの形態ではいっています。

ラベル : NL

```

ファイル番号      :   1
レコード長        :   80 Byte
ブロック長        :   800 Byte
記録密度          :   1600 BPI

```

3.3.2 コンパイル、リンクの例

```

//*****
//*          COMPILER / LINK DBCOPY          *
//*          SAMPLE JCL                      *
//*****
//COMP EXEC FORTVCL, REGION=2400K,
//      PARM, LKED=' LET, LIST, MAP, XREF, SIZE=(500K, 100K)'
//FORT. SYSPRINT DD SYSOUT=*
//FORT. SYSIN   DD DSN=CADAM. ADTOCAD. TESTPGM1, DISP=SHR
//*
//LKED. SYSLIB  DD DSN=SYS1. VFORTLIB, DISP=SHR
//LKED. SYSLMOD DD DSN=CADAM. ADTOCAD. LM, DISP=SHR
//LKED. SYSPRINT DD SYSOUT=*
//LKED. SYSLIN  DD *
//      ENTRY   MAIN
//      NAME     DBCOPY(R)
//*
//

```

3.4 操作方法

3.4.1 使用データセット

```

FT06F001      :   処理リストファイル      (出力)
FT11F001      :   転送ファイル              (入力)
               レコードフォーマット      :   FB
               レコード長                :   80 バイト
               ブロック長                :   80 × n バイト
FT12F001      :   NURESTOR ファイル        (出力)
               レコードフォーマット      :   V
               レコード長                :   800 バイト
               ブロック長                :   804 バイト

```

3.4.2 実行例

```

//*****
//*          EXECUTE DBCOPY                  *
//*          SAMPLE JCL                      *
//*****
//DBCOPY EXEC PGM=DBCOPY, REGION=5120K
//STEPLIB DD DSN=CADAM. ADTOCAD. LM, DISP=SHR
//      DD DSN=SYS1. VFORTLIB, DISP=SHR
//*****
//<<<< INPUT DB BINARY FILE >>>>*
//*****
//FT11F001 DD DSN=CADAM. ADTOCAD. TESTDB, DISP=SHR
//*****
//<<<< OUTPUT NURESTOR IMAGE FILE >>>>*

```

```
//*****  
//FT12F001 DD DSN=datasetname, DISP=(NEW, PASS), UNIT=SYSDA,  
//          DCB=(RECFM=V, LRECL=800, BLKSIZE=804),  
//          SPACE=(TRK, (50, 50), RLSE)  
//*****  
//*<<<< LOG. FILE >>>>*  
//*****  
//FT06F001 DD SYSOUT=*  
//*  
//*  
//*****  
//*          EXECUTE NURESTOR                      *  
//*          SAMPLE JCL                            *  
//*****  
//RESTORE EXEC PGM=NURESTOR, PARM='NOWTOR, NOJFCBMOD'  
//STEPLIB DD DSN=CADAM. R2012. LM, DISP=SHR  
//PRINT DD SYSOUT=*, DCB=(RECFM=FBA, LRECL=121, BLKSIZE=847),  
//SYSDUMP DD SYSOUT=*  
//INDEX DD DSN=CADAM. CAD. INDEX, DISP=SHR  
//DRAWFILE DD DSN=CADAM. CAD. DRAW, DISP=SHR  
//DRAWINGS DD DSN=datasetname, DISP=(OLD, PASS), UNIT=SYSDA,  
//          DCB=(RECFM=V, LRECL=800, BLKSIZE=804)  
//CARDS DD SYSOUT=*, DCB=BLKSIZE=81  
//SYSIN DD *  
        VERIFY TAPE LABEL CADAM  
        RESTORE UTRAIN ALL  
        END  
/*  
//
```

Appendix A 変換データ一覧表

A.1 CADAM へ変換できるデータ一覧表

Advance CAD	CADAM	備考
ピクチャ	VIEW	ピクチャ 1 をビュー PV に変換
図面配置情報	VIEW のペーパー原点	
シンボル	1) 図形要素に展開 2) SYMBOL SPECIAL	1) か 2) のどちらかを指定できる。
サブモデル	1) 図形要素に展開 2) ディテールに変換	1) か 2) のどちらかを指定できる
幾何公差	図形要素に展開	
マーク	図形要素に展開	マーク→シンボル変換テーブルでシンボルに変換可能。
ジェネラルテキスト	NOTE SYMBOL ARROW + NOTE SYMBOL BALOON + NOTE	英数字と漢字が混在する場合は、漢字に変換する。
点	POINT	
直線	LINE	
円	CIRCLE	
円弧	ARC	
楕円	ELLIPSE	
3 次曲線	SPLINE	
寸法線 (Linear)	DIMENSION HORIZONTAL (Linear) (Linear) (Linear) (Radius) (Diameter) (Angle) (Linear)	VERTICAL PARALLEL NORMAL RADIUS DIAMETER ANGLE DATUM
ストリング	図形要素に展開 SYMBOL TRIANGLE SYMBOL RECTANGLE LINEAR SPLINE	

Advance CAD	CADAM	備考
複合アイテム	図形要素に展開	

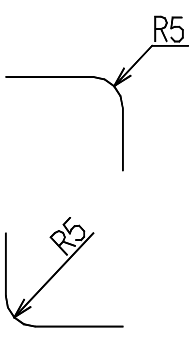
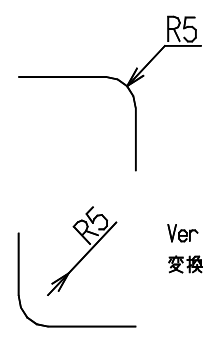
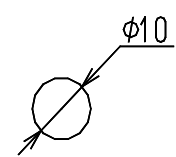
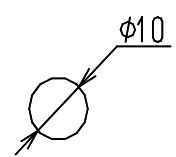
A.2 CADAM から変換できるデータ一覧

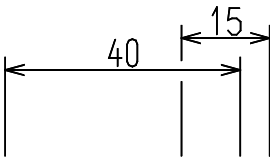
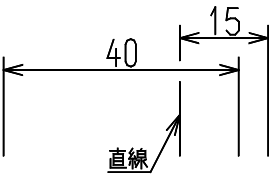
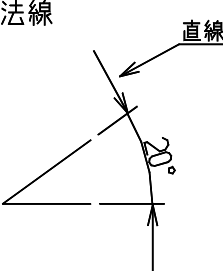
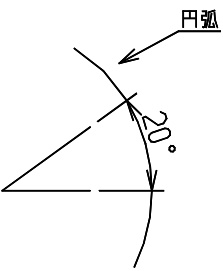
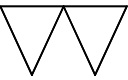
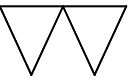
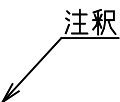
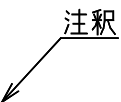
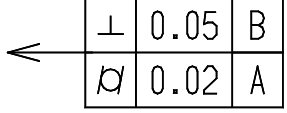
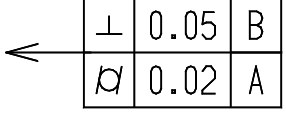
CADAM	Advance CAD	備考
VIEW	1) ビュー毎にピクチャを分ける 2) 全ビューを1つのピクチャにする	1) か 2) のどちらかを指定できる。
DITTO	サブモデル	
SYMBOL SPECIAL	1) 図形要素に展開 2) シンボル	1) か 2) のどちらかを指定できる。 シンボルに変換する場合、シンボルテーブルがシンボルに変換されていないなければならない。
SYMBOL ARROW	ジェネラルテキスト (引出線)	
SYMBOL TRIANGLE	ストリング	
SYMBOL RECTANGLE	ストリング	
SYMBOL RIVET	マーク	
SYMBOL DOT	ストリング	
SYMBOL BALOON	ジェネラルテキスト (風船)	
SYMBOL DELTA	ジェネラルテキスト (風船)	
SYMBOL SECTION ARROW	複合アイテムまたはシンボル	
SYMBOL TEXT LINE	複合アイテム	
POINT	点	
LINE	直線	BRK は、ストリングに変換する。
CIRCLE	円	
ARC	円弧	
ELLIPSE	楕円	
SPLINE	3 次曲線	
LINEAR SPLINE	ストリング (直線)	
OFFSET SPLINE	3 次曲線	
NOTE	ジェネラルテキスト	

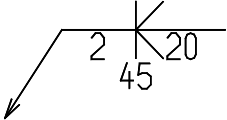
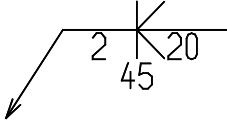
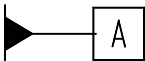
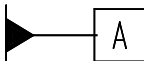
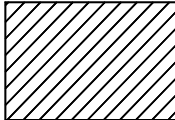
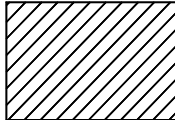
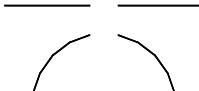
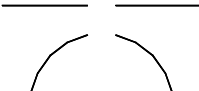
CADAM	Advance CAD	備考
DIMENSION HORIZONTAL	寸法線 (Linear)	
	VERTICAL	(Linear)
	PARALLEL	(Linear)
	NORMAL	(Linear)
	RADIUS	(Radius)
	DIAMETER	(Diameter)
	ANGLE	(Angle)
	CURVE	(Linear)
	DATUM	(Linear)
DIMENSION CHMFER	寸法線 (チャンファ)	
PARTS	複合アイテム	
PLOT INFORMATION	図面配置情報	

A.3 Micro CADAM へ正確に変換できない項目一覧表

(その1)

	Advance CAD	Micro CADAM
注記関係	文字間隔 2バイト文字と1バイト文字が 混在する場合 文字高さ10 文字幅 2バイト文字 : 文字高さ 1バイト文字 : 文字高さX0.5	文字高さ10 文字幅 全体の文字長さ/文字数
	文字フォント (1~99) アウトラインフォント	全て同じフォントに変換 ストロークフォント
	メタキーを使用して 作成した注記 文字列にマーク○を入れる	注記 注記 文字列にマーク○を入れる 図形要素
寸法線関係	半径寸法線 	 矢印 直線 注記 に変換 Ver 1.5 以下で 変換した場合
	直径寸法線 	 矢印 直線 注記 に変換

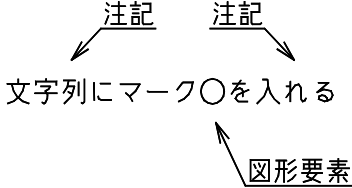
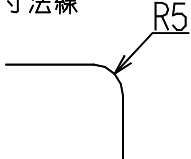
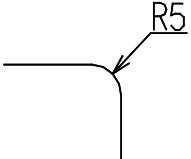
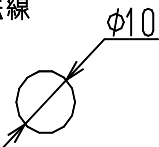
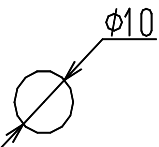
	Advance CAD	Micro CADAM
寸法線関係	部分線種の変更がなされた寸法線 	
	角度寸法線 	
複数の図形要素に展開されるアイテム	マーク 	図形要素に展開  マーク→シンボル変換 テーブルによりシンボルに変換することも可能
	引出し線付注釈 	 矢印 直線 注記 に変換
	幾何公差 	図形要素に展開 

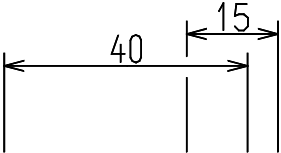
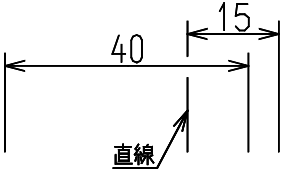
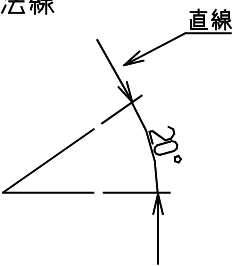
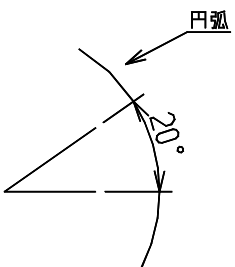
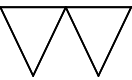
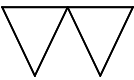
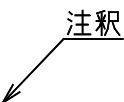
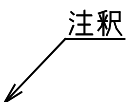
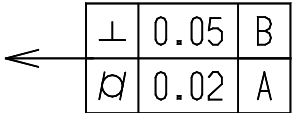
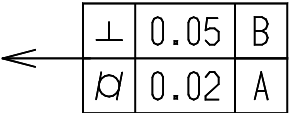
	Advance CAD	Micro CADAM
複数の図形要素に展開されるアイテム	溶接記号 	図形要素に展開 
	データム指示 	図形要素に展開 
	切断線 	図形要素に展開 
	クロスハッチ 	ハッチングまたは直線に変換 
	部分線種の変更 	別々の要素に変換 
	サブモデル	図形要素に展開またはディテールに変換
	シンボル	図形要素に展開 シンボルとして変換することも可能 シンボル名 : Sttt-sss
	複合アイテム	図形要素に展開

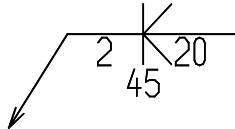
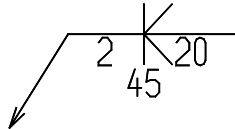
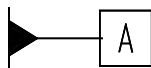
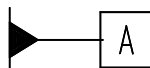
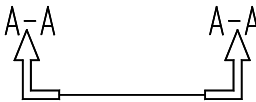
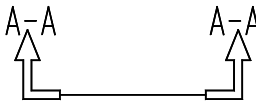
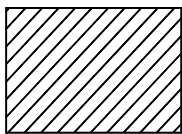
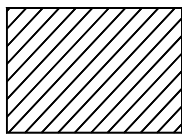
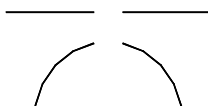
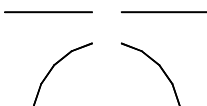
	Advance CAD	Micro CADAM
自由曲線	自由曲線 	スプライン  表現式の違いで微妙に 違いがある
その他	ピクチャ	ビュー
	クラス	変換不可
	レビジョン	変換不可
	アソシエート	変換不可
	モデル・タイトル スペックデータ	属性
	色割付	色コード

A.4 Regular CADAM へ正確に変換できない項目一覧表

(その1)

	Advance CAD	Regular CADAM
注記関係	文字フォント (1~99) アウトラインフォント	全て同じフォントに変換 ストロークフォント
	メタキーを使用して 作成した注記 文字列にマーク○を入れる	
	複数行の注記	一行ごとに分解して変換
寸法線関係	半径寸法線 	 矢印 直線 注記 に変換
	直径寸法線 	 矢印 直線 注記 に変換

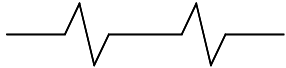
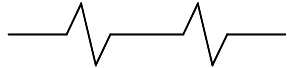
	Advance CAD	Regular CADAM
寸法線関係	部分線種の変更がなされた寸法線 	
	角度寸法線 	
複数の図形要素に展開されるアイテム	マーク 	図形要素に展開  マーク→シンボル変換 テーブルによりシンボルに変換することも可能
	引出し線付注釈 	 矢印 直線 注記 に変換
	幾何公差 	図形要素に展開 

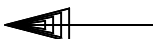
	Advance CAD	Regular CADAM
複数の図形要素に展開されるアイテム	溶接記号 	図形要素に展開 
	データム指示 	図形要素に展開 
	切断線 	図形要素に展開 
	クロスハッチ 	ハッチングまたは直線に変換 
	部分線種の変更 	別々の要素に変換 
	サブモデル	図形要素に展開またはディテールに変換
	シンボル	図形要素に展開 シンボルとして変換することも可能 シンボル名 : Sttt-sss
	複合アイテム	図形要素に展開

	Advance CAD	Regular CADAM
自由曲線	自由曲線 	スプライン  表現式の違いで微妙に 違いがある
その他	ピクチャ	ピクチャに対応した ビューに変換
	クラス	変換不可
	レビジョン	変換不可
	アソシエート	変換不可
	モデル・タイトル スペックデータ	属性
	倍精度	単精度
	色割付	色コード

A.5 Micro CADAM から 正確に変換できない項目一覧表

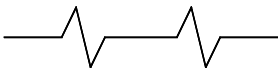
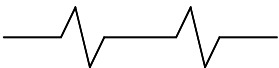
(その1)

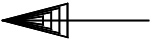
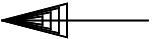
	Micro CADAM	Advance CAD
注記関係	1 バイトカタカナ	2バイトカタカナ
	複数行の注記	一行ごとに分解して変換
	トレランス文字のある注記	トレランスごとに分解して変換
	幾何公差記号のある注記	幾何公差記号はシンボルに変換 シンボル名 : X002-0xx xx : 公差記号の番号 (01~31)
線種	BRK 	ストリング 
スプライン	スプライン	自由曲線 表現式の違いで微妙に違いがある
	オフセット スプライン	自由曲線

	Micro CADAM	Advance CAD
シンボル	ユーザ定義シンボル	図形要素に展開して変換 または、シンボルに変換 (予めシンボルテーブルを 変換しておく必要がある)
	ハッチング/塗り潰し	シンボルを塗り潰す または、ハッチングを掛ける
	矢視 	複合アイテムまたはマーク 
	DELTA	ジェネラルテキスト (風船)
	TEXT LINE	複合アイテム
ディテイル	ディット	サブモデルに変換
	塗り潰し/ハッチング	サブモデルを塗り潰す または、ハッチングを掛ける
その他	ビュー	ピクチャ
	セット	変換不可
	グループ	変換不可
	属性	変換不可
	色	クラス割当てまたは レビジョン割当て

A.6 Regular CADAM から正確に変換できない項目一覧表

(その1)

	Regular CADAM	Advance CAD
注記関係	1バイトカタカナ	2バイトカタカナ
	複数行の注記	一行ごとに分解して変換
	トレランス文字のある注記	トレランスごとに分解して変換
	幾何公差記号のある注記	幾何公差記号はシンボルに変換 シンボル名 : X002-0xx xx : 公差記号の番号 (01~31)
線種	BRK 	ストリング 
スプライン	スプライン	自由曲線 表現式の違いで微妙に違いがある
	オフセット スプライン	自由曲線

	Regular CADAM	Advance CAD
シンボル	ユーザ定義シンボル	図形要素に展開して変換 または、シンボルに変換 (予めシンボルテーブルを 変換しておく必要がある)
	ハッチング/塗り潰し	シンボルを塗り潰す または、ハッチングを掛ける
	矢視 	複合アイテムまたはマーク 
	DELTA	ジェネラルテキスト(風船)
	TEXT LINE	複合アイテム
ディテイル	BREAK OUT 	変換不可
	ディット 塗り潰し/ハッチング	サブモデルに変換 サブモデルを塗り潰す または、ハッチングを掛ける
その他	ビュー	ピクチャ
	セット	変換不可
	グループ	変換不可
	属性	変換不可
	倍精度	変換不可
	色	クラス割当て又はレビジョン割当て

Appendix B ビュー・ディテール・シンボルの変換

B.1 CADAM から Advance CAD への変換

B.1.1 ビューの処理

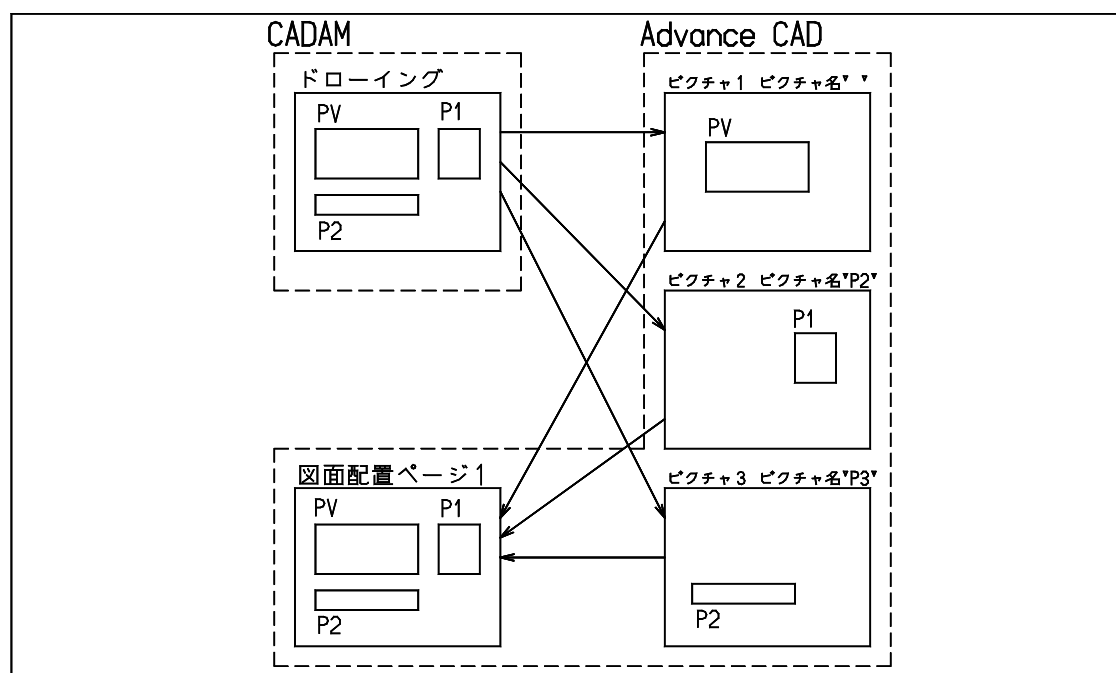
CADAM のビューは、Advance CAD のピクチャに変換されます。

ビューの倍率, 回転角, ローテーションマトリクスが、ピクチャの倍率, 回転角, ローテーションマトリクスに変換されます。

ビュー名は、ピクチャ名に変換されます。

ビュー名 "PV" は、ピクチャ番号 1 に変換され、名前は変換されません。

作図処理されていないドローイングは、図面配置情報が作成されません。



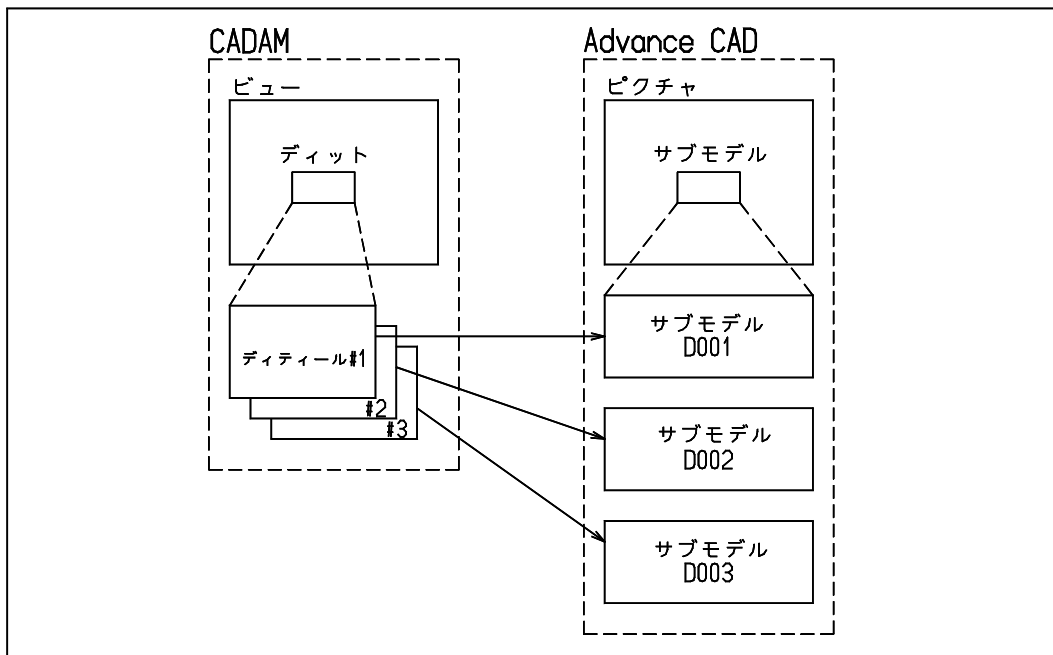
B.1.2 ディテールの処理

ディテールはサブモデルに変換されます。

サブモデルの名前はコマンド『ディテール名』または『サブモデル名』で指定します。

ディット (子図参照) は、サブモデルに変換されます。

サブモデルに変換されたディテールは、コマンド『サブモデルの配置』で参照できます。



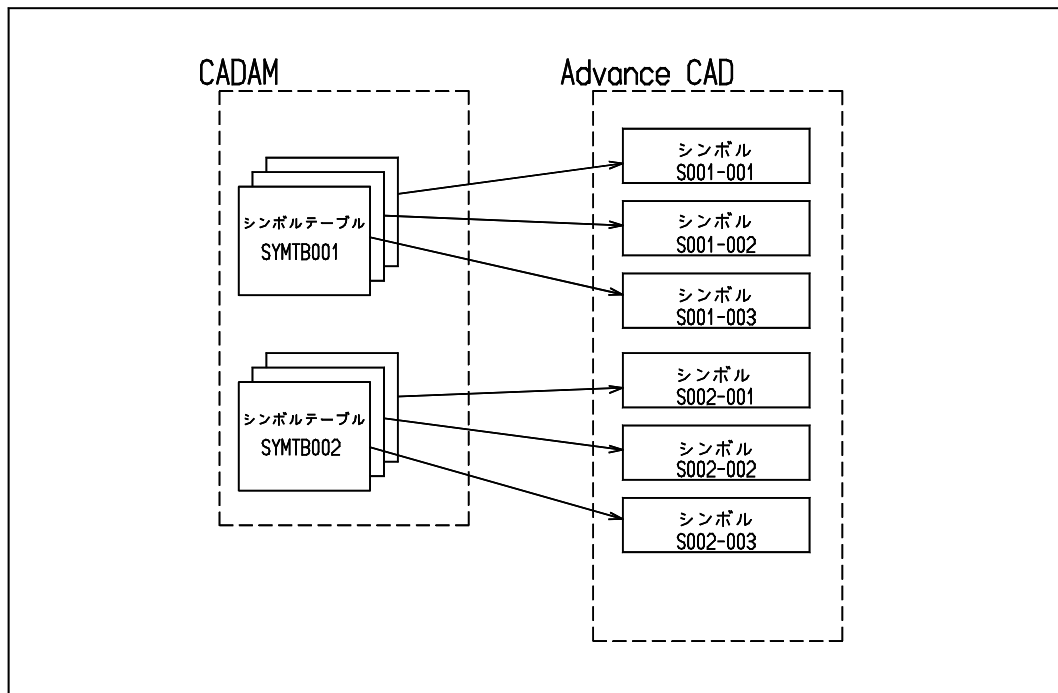
B.1.3 シンボル処理

シンボルはシンボルに変換されます。シンボルに対してシンボル名 "Sttt-sss" のシンボルを作成します。

"ttt" はテーブル番号、"sss" はシンボル番号です。

シンボルテーブルは、図面データの変換に先立ってあらかじめ変換しておく必要があります。グループ、ユーザ (SYS, SYMBOL) の図面名 SYMTBxxx,xxx を直接変換して下さい。シンボルファイルが作成されます。

シンボルに変換されたシンボルは、コマンド『シンボルの配置』で参照できます。



B.2 Advance CAD から CADAM への変換

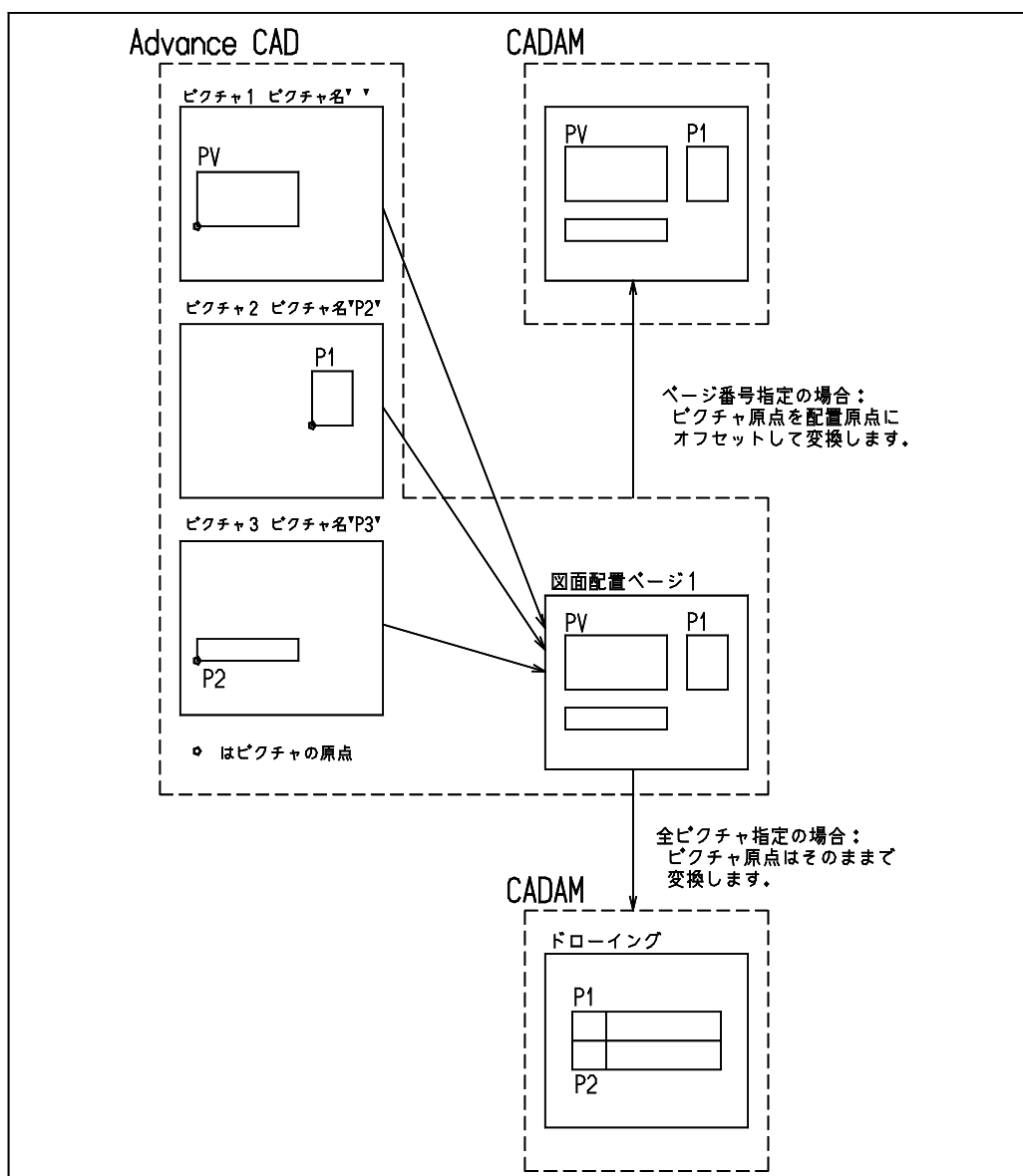
B.2.1 ピクチャの処理

Advance CAD のピクチャは、CADAM のビューに変換されます。

ピクチャの倍率, 回転角, ローテーションマトリクスが、ビューの倍率, 回転角, ローテーションマトリクスに変換されます。

ピクチャ番号 1 はビュー "PV" に変換されます。

ピクチャ名はビュー名に変換されます。



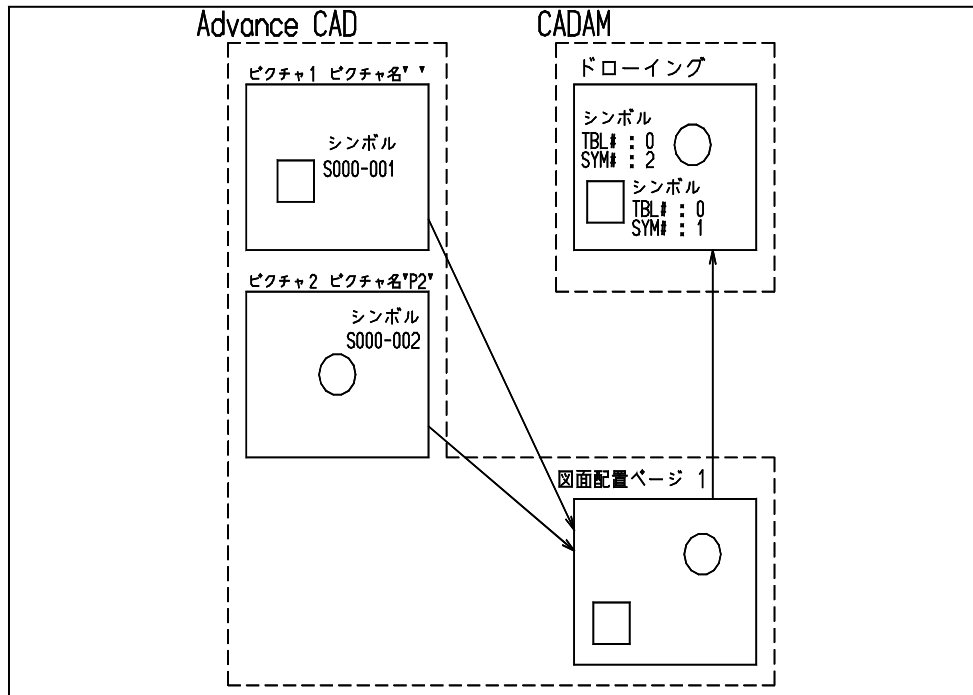
B.2.2 シンボルの処理

名前が "Sttt-sss" となっているシンボルはシンボルに変換できます。

その他のシンボルは、図面要素に展開して変換されます。

変換されたシンボルが表示されない場合、シンボルの更新を行ってください。

Micro CADAM では、シンボルの図形要素をドローイングの中に取り込んでいなければ表示されないため、変換されたシンボルが表示されないことがあります。



Appendix C CADAM からの変換テーブルファイル

注). 各種テーブルファイルのサンプルは sample/CADAM ディレクトリにあります。テーブルファイル内に記述の誤りがあった場合、起動ディレクトリのファイル CADAM_Interface.lis にエラーメッセージが出力されます。

C.1 線種・線幅変換テーブルファイル

CADAM の線種・線幅と Advance CAD の線種・線幅の割り当てを定義します。

● 線種の割り当て (Ver 5.0/6.0 の両方)

LINE-CODE	$l = f, w$
-----------	------------

l	:	CADAM の線種コード (表を参照)
f	:	Advance CAD の線種番号
w	:	Advance CAD の線幅番号

CADAM の線種コード l を Advance CAD の線種 f 線幅 w に割り当てます。

(Ver 6.0 のフォーマットの場合)

LINE-NAME	$n = f, w$
-----------	------------

n	:	CADAM の線種名 (表を参照)
f	:	Advance CAD の線種番号
w	:	Advance CAD の線幅番号

CADAM の線種名 n を Advance CAD の線種 f 線幅 w に割り当てます。

● 線幅の割り当て (1) (Ver 5.0 のフォーマットの場合)

WIDTH-CODE	$wc = w$
------------	----------

wc	:	CADAM の線幅コード (表を参照)
w	:	Advance CAD の線幅番号

CADAM の線幅コード wc を Advance CAD の線幅 w に割り当てます。

線幅コード $wc = 0$ または割り当てのない線幅コードは LINE-CODE で割り当てられた線幅に変換します。

(Ver 6.0 のフォーマットの場合)

PEN-NAME	$p = w$
----------	---------

p	:	CADAM のペン名 (表を参照)
w	:	Advance CAD の線幅番号

CADAM のペン名 p を Advance CAD の線幅 w に割り当てます。

ペン名 $p = NP$ または割り当てのないペン名は LINE-NAME で割り当てられた線幅に変換します。

● 線幅の割り当て (2)

WIDTH	ws , we = w
-------	-------------

ws : CADAM の線幅
we : CADAM の線幅
w : Advance CAD の線幅番号

CADAM の線幅 $ws < \text{線幅} \leq we$ を Advance CAD の線幅 w に割り当てます。
データが線幅を持っている場合は、線幅コードは無視します。

ファイルのディレクトリは、ファイル ACAD.SET のキーワード #CADAM:TABLE# で設定してください。ファイル名は、

Micro CADAM の場合は MCADAMACAD_LINE

Regular CADAM の場合は RCADAMACAD_LINE

で固定です。ファイルが存在しない場合は、既定値 (表 1 参照) が用いられます。

CADAM → Advance CAD 線種・線幅変換テーブル既存値

CADAM					Advance CAD	
線種 コード	線種名	線幅 コード	ペン名	線幅	線種 コード	線幅 コード
0					1	2
1					1	1
2					1	3
3					2	2
4					2	1
5					3	1
6					4	1
7					1	1
8					1	1
10					2	2
11					2	1
21					3	1
31					4	1
100					1	1
101	DSH1				1	1
102	DSH2				2	1
103	DSH3				2	1
104	DSH4				2	1
105	DSH5				2	1

実践 (中)
実践 (細)
実践 (太)
破線 (中)
破線 (細)
一点鎖線 (細)
二点鎖線 (細)
NC (中)
BRK (中)
破線 (中)
破線 (細)
一点鎖線 (細)
二点鎖線 (細)
NC (中)
破線 1
破線 2
破線 3
破線 4
破線 5

CADAM → Advance CAD 線種・線幅変換テーブル既存値

CADAM					Advance CAD		
線種 コード	線種名	線幅 コード	ペン名	線幅	線種 コード	線幅 コード	
106	DSH6				2	1	破線 6
107	PL1				4	1	二点鎖線 1
108	PL2				4	1	二点鎖線 2
109	PL3				4	1	二点鎖線 3
110	CL1				3	1	一点鎖線 1
111	CL2				3	1	一点鎖線 2
112	CL3				3	1	一点鎖線 3
113	CL4				3	1	一点鎖線 4
114	CL5				3	1	一点鎖線 5
115	SBK1				1	1	セットバック 1
116	SBK2				1	1	セットバック 2
117	MTCH				1	1	マッチ
118	STCH				1	1	ステッチ
		1	4X			1	
		2	3X			1	
		3	00			1	
		4	0			1	
		5	1			2	
		6				2	
		7				3	
		8				3	
		9				4	
		10				4	
		11				4	
		12				4	
				$0.0 < w \leq 0.3$		1	
				$0.3 < w \leq 0.6$		2	
				$0.6 < w \leq 0.9$		3	
				$0.9 < w \leq 999.0$		4	

C.2 寸法線矢印変換テーブルファイル

● 寸法線矢印コードの割り当て

ARROW-TYPE	code , mark
------------	-------------

code : Micro CADAM の寸法線矢印コード
mark : Advance CAD の寸法線矢印マーク番号

Micro CADAM の寸法線矢印コード code を Advance CAD の寸法線矢印マーク番号 mark に割り当てます。

注). 寸法線の変換で次の値は、『定数登録』(RVP) の『製図』(RVP/DRF) で設定してください。

『寸法線のスタブ長さ』(DIM/STUB)

『寸法補助線のギャップ』(DIM/GAP)

『寸法補助線のオーバーシュート』(DIM/OVER)

設定後、『定数保存』(CONS/WRITE) を実行してください。

ファイルのディレクトリは、ファイル ACAD.SET のキーワード #CADAM:TABLE# で設定してください。ファイル名は

Micro CADAM の場合 MCADAMACAD_ARROW

Regular CADAM の場合 RCADAMACAD_ARROW

で固定です。ファイルが存在しないときは、既定値 (表 2 参照) が用いられます。

寸法線矢印変換テーブル既存値

Micro CADAM 寸法線矢印コード	Advance CAD 寸法線矢印マーク番号
0 (無し)	251
1 (Arrow In)	1
2 (Arrow Out)	1
3 (Dot)	4
9 (45°Arrow In)	256
10 (45°Arrow Out)	256
11 (60°Arrow In)	257
12 (60°Arrow Out)	257
13 (Slash +)	255
14 (Dot+)	253
15 (Slash)	254
17 (ANSI In)	259
18 (ANSI Out)	259

寸法線矢印変換テーブル既存値

Micro CADAM	Advance CAD
寸法線矢印コード	寸法線矢印マーク番号
31 (10°Arrow In)	258
32 (10°Arrow Out)	258

● Micro CADAM → Advance CAD 寸法線矢印変換テーブルファイルの例

```

/ File Name : MCADAMACAD_ARROW.COD
/
/
/ Micro CADAM to Advance CAD Arrow Conversion Table
/
/ Format : ARROW-TYPE  arrow_code = mark_number
/
ARROW-TYPE  0 = 0
ARROW-TYPE  1 = 1
ARROW-TYPE  2 = 1
ARROW-TYPE  3 = 4
ARROW-TYPE  9 = 1
ARROW-TYPE 10 = 1
ARROW-TYPE 11 = 1
ARROW-TYPE 12 = 1
ARROW-TYPE 13 = 4
ARROW-TYPE 14 = 4
ARROW-TYPE 31 = 1
ARROW-TYPE 32 = 1
/

```

● Regular CADAM → Advance CAD 寸法線矢印変換テーブルファイルの例

```

/ File Name : RCADAMACAD_ARROW.COD
/
/
/ Regular CADAM to Advance CAD Arrow Conversion Table
/
/ Format : ARROW-TYPE  arrow_code = mark_number
/
ARROW-TYPE  0 = 0
ARROW-TYPE  1 = 1
ARROW-TYPE  2 = 1
ARROW-TYPE  3 = 4
ARROW-TYPE  9 = 1
ARROW-TYPE 10 = 1
ARROW-TYPE 11 = 1
ARROW-TYPE 12 = 1
ARROW-TYPE 13 = 4
ARROW-TYPE 14 = 4
ARROW-TYPE 31 = 1
ARROW-TYPE 32 = 1
/

```

C.3 シンボル変換テーブルファイル

● シンボルの割り当て

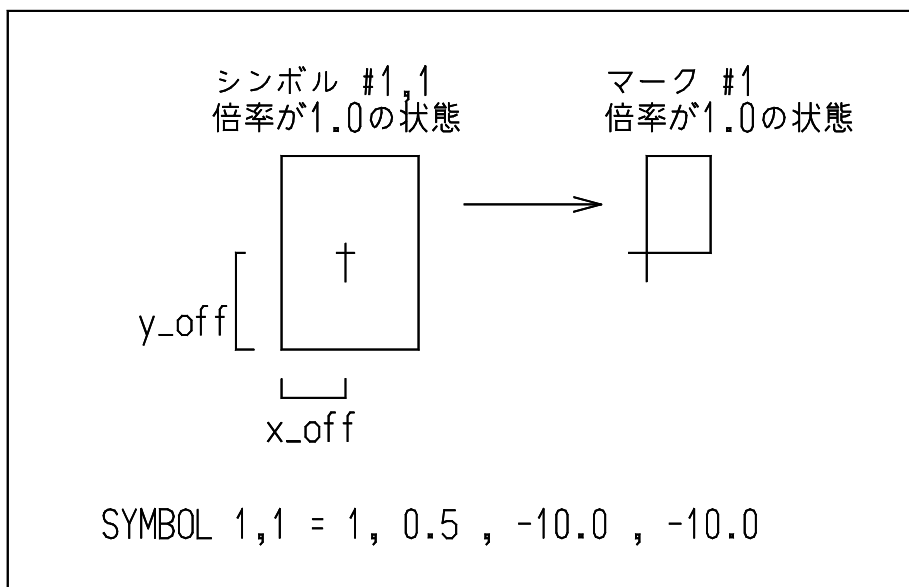
```
SYMBOL t , s = mark [ , [scale] , x_off , y_off ]
```

t	:	CADAM シンボルのシンボルテーブル番号
s	:	CADAM シンボルのシンボル番号
mark	:	Advance CAD のマーク番号
scale	:	変換倍率 (省略した場合は 1.0)
x_off	:	原点のオフセット値 X (省略した場合は 0.0)
y_off	:	原点のオフセット値 Y (省略した場合は 0.0)

CADAM のユーザ定義シンボルのシンボルテーブル番号 t でシンボル番号 s のシンボルを Advance CAD のマーク番号 mark に割り当てます。

シンボルとマークの大きさが異なる場合、scale で大きさが同じになるように調整する。また、原点の位置が異なる場合は、x_off,y_off で原点位置を調整する。

例)



シンボルの原点が図形の中心にあってマークの原点が図形の左下の場合、中心から見て左下の位置をオフセット値として指定する。(倍率が 1.0 の状態)

● 風船の割り当て

```
BALLOON mark , h [,flag]
```

mark	:	Advance CAD のマーク番号
h	:	Advance CAD の文字高さ (風船の文字)
flag	:	ビューの倍率のスイッチ
	= 0	: ビューの倍率を掛ける
	= 1	: ビューの倍率を掛けない (既定値)

CADAM の風船を Advance CAD のマーク番号 mark, 文字高さ h に割り当てます。

ファイルのディレクトリは、ファイル ACAD.SET のキーワード #CADAM:TABLE# で設定してください。ファイル名は

Micro CADAM の場合は MCADAMACAD_SYMBOL

Regular CADAM の場合は RCADAMACAD_SYMBOL

で固定です。ファイルが存在しない場合はシンボルからマークへの変換は行われません。

C.4 図面名変換テーブルファイル

複数図面の一括読込みを行う場合にこのテーブルファイルを用います。

● 図面名の変換

DRAWING-MODEL	format
---------------	--------

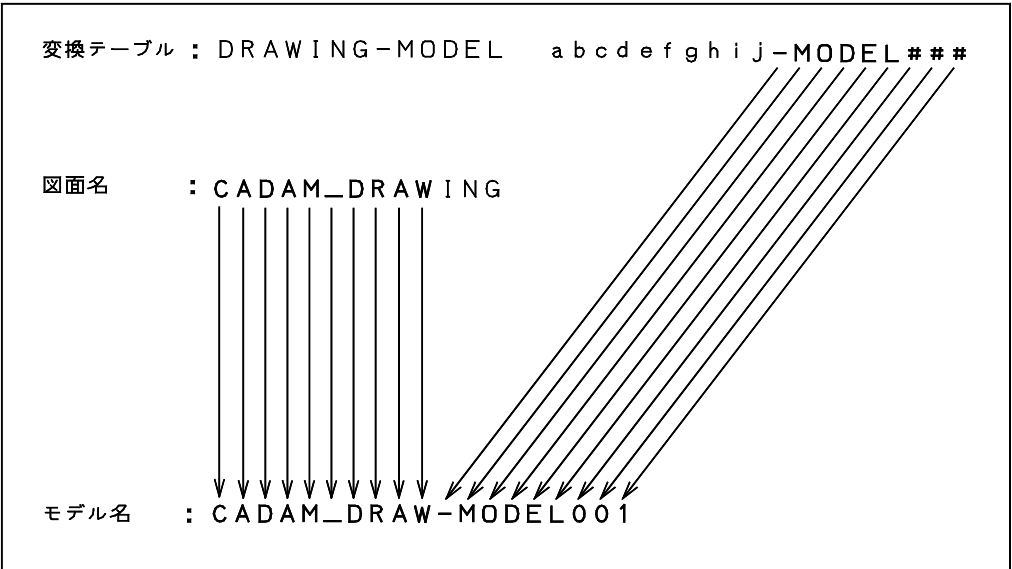
format : 変換後のモデル名

小文字の a ~ t : 図面名の 1 ~ 20 文字目をモデル名に用います。
モデル名として使用できない文字は “_” に置換えます。(空白 ! “ ’
() * . / < > ` { | } ~ ? # ; & カタカナ)
注) カタカナについては SWITCH の項を参照。

: 順序番号をモデル名に用います。
順序番号は図面名が現れた順番に 1 から付けます。
3 桁の番号を付ける場合は, ### と指定します。

その他の文字 : そのままモデル名に用います。

例)



● 1 バイトカタカナの変換

SWITCH	flag
--------	------

flag : 1バイトカタカナの変換スイッチ
 = ON : 1バイトカタカナを2バイトカタカナに変換する。
 バ, パ等は、バ, パに変換します。
 = OFF : 1バイトカタカナは“-”に変換する。

ファイルのディレクトリは、ファイル ACAD.SET のキーワード #CADAM:TABLE# で設定してください。ファイル名は

Micro CADAM の場合は MCADAMACAD_MODEL

Regular CADAM の場合は RCADAMACAD_MODEL

で固定です。ファイルが存在しない場合は図面名からモデル名への変換は行われません。

C.5 変換パラメータファイル

● クラスの割り当て

element	class
---------	-------

element : CADAM の要素名
class : Advance CAD のクラス番号

CADAM の要素 element を Advance CAD のクラス class に割り当てます。
ファイルが存在しないまたは定義がない場合はすべてクラス 100 に割り当てられます。クラス番号が 0 のときその要素の変換はしません。
たとえば、POINT 0 とすると点要素の変換を止めることができます。

注). 色コードのクラスへの割り当てがされている場合、この要素のクラス割り当ては無効になります。

● 色コード割り当ての種類

COLOR_CLASS
COLOR_REVISION

COLOR_CLASS : 色コードをクラスに割り当てる (既定値)
COLOR_REVISION : 色コードをレビジョンに割り当てる

● 色コードの割り当て

COLOR	color = no
-------	------------

color : CADAM の色コード (0 ~ 120)
no : Advance CAD のクラス番号 (1 ~ 255)
またはレビジョン番号 (1 ~ 127)

CADAM の色コード color を Advance CAD のクラス no またはレビジョン no に割り当てます。
ファイルが存在しないまたは定義がない場合はすべてクラス 100 に割り当てられます。

● ビュー名の変換

PICTURE_NAME	flag
--------------	------

flag : ビュー名の変換スイッチ
= 0 : ビュー名をピクチャ名に変換しない。
= 1 : ビュー名をピクチャ名に変換する。(既定値)

● 文字高さへの倍率

TEXT_SCALE	scale
------------	-------

scale : 文字高さに掛ける倍率 (既定値 = 1.0)
全ての文字データの文字高さに対して scale 値を掛けて変換する。

● 文字幅の変換

TEXT_WIDTH	w_s , w_e = w
------------	---------------

w_s : 文字高さの始まり
w_e : 文字高さの終り
w : 線幅番号 (1 ~ 7)
w_s ≤ 文字高さ ≤ w_e の文字の線幅を Advance CAD の線幅 w に割り当てます。

● ディテールを交換したサブモデルを保存する／保存しないの指示

DITTO_SAVE	flag
------------	------

flag : 保存する／保存しないのスイッチ
= 0 : 保存しない。
= 1 : 保存する。(既定値)

● ディテールを配置するときに注記データに倍率を掛ける／掛けないの指示

DITTO_TEXT	flag
------------	------

flag : 倍率を掛ける／掛けないのスイッチ
= 0 : 倍率を掛けない。(既定値)
= 1 : 倍率を掛ける。

● ディテールを配置するときに寸法線の文字データに倍率を掛ける／掛けないの指示

DITTO_DIMENSION	flag
-----------------	------

flag : 倍率を掛ける／掛けないのスイッチ
= 0 : 倍率を掛けない。(既定値)
= 1 : 倍率を掛ける。

● 2バイト文字→1バイト文字変換の指示

2T01	flag
------	------

flag : 2バイト文字→1バイト文字変換のスイッチ
= 0 : 2バイト文字→1バイト文字変換を行わない。(既定値)
= 1 : 2バイト文字→1バイト文字変換を行う。

● 1バイト文字→2バイト文字変換の指示

1バイト文字と2バイト文字が混在する場合の処理

1T02	flag
------	------

flag : 1バイト文字→2バイト文字変換のスイッチ
= 0 : 1バイト文字→2バイト文字変換を行わない。
= 1 : 1バイト文字→2バイト文字変換を行う。
(既定値)

● n 行の注記の変換指示

NT01	flag
------	------

flag : n 行の注記の変換のスイッチ
 = 0 : n 行のまま変換。
 = 1 : 1 行ごとに分解して変換。(既定値)

● 文字高さの調節指示

縦長の文字列を変換すると文字列の長さが元の文字列の長さより長くなる。
 文字列の長さが長くないように文字高さを調節する。
 指定がない場合、既定値は 12。

TEXT_HEIGHT space

space : 文字高さの調節
 = 0 : 文字高さの調節を行わない。
 = n : 文字高さの調節を行う。n は水平文字間隔。
 (1 ~ 63)
 n の値は 1 バイト文字の場合の最小文字間隔になる。
 (文字と文字が詰まり過ぎないようにする)
 2 バイト文字のみの場合にはこの値を使用しない。

● ディット, シンボルのハッチングピッチの指示

ハッチングのあるディット, シンボルのハッチングピッチの指定。
 指定がない場合、ハッチングピッチの既定値は 1.0。

HATC_PITCH pitch

pitch : ハッチングの間隔を実数値で指定。

● ディット, シンボルのハッチングアイテムの作成方法

ハッチングのあるディット, シンボルのハッチングアイテムの作成方法を指定。

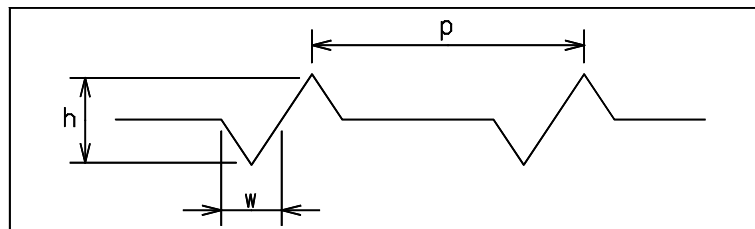
HATC_ITEM flag

flag : ディット, シンボルのハッチングアイテムの作成方法の指示
 = 0 : ハッチングアイテムをサブモデルまたはシンボル内に作成。(既定値)
 = 1 : ハッチングアイテムをサブモデルまたはシンボルとは別アイテムにする。

● BRK ラインのピッチの指定

BRKLINE p, h, w

p : ピッチ
 h : 高さ
 w : 幅



既定値は p = 16.0, h = 1.0, w = 0.5。

● オーバーレイ図面の子図面の変換指示

OVERLAY	flag
---------	------

flag

- : 子図面の変換方法の指示
- = 0 : メンバーアイテムに変換（既定値）
- = 1 : サブモデルに変換
- = 2 : 図形要素に展開して変換

ファイルのディレクトリは、ファイル ACAD.SET のキーワード #CADAM:TABLE# で設定してください。ファイル名は

Micro CADAM の場合は MCADAMACAD_PARAM
Regular CADAM の場合は RCADAMACAD_PARAM

で固定です。ファイルが存在しない場合、NCLINE, NOSHOW 以外は 100 に割り当てます。

NCLINE, NOSHOW は 0 に割り当てます。

要素名	説 明
ARC	円弧
ARROW	矢印
BALOON	風船
CIRCLE	円
DIMENSION	寸法線
DITTO	子図参照
DOT	丸
ELLIPSE	楕円
LINE	直線
LINEAR_SPLINE	折れ線
OFFSET_SPLINE	オフセットスプライン
POINT	点
RECTANGLE	矩形
RIVET	十字印
SECTION_ARROW	矢視
SPLINE	スプライン
SYMBOL	ユーザ定義シンボル
TEXT	注記
TRIANGLE	三角
NCLINE	NC ライン
NOSHOW	非表示要素

注). NOSHOW 要素を変換する場合は、クラスを他の要素で使用していない番号に指定し、色割り当てをレビジョンにしてください。

C.6 コード変換テーブルファイル

● コード変換

・ 構成

変換テーブルは、

注釈行 : 1 カラム目が "/"
コード定義行 : 1 カラム目が "/" 以外
で構成されます。

・ コード定義行

1 コード定義行は、現れた順番に上位 4 ビットが 0,1,2,.....F でカラム 9-12,13-16,...,69-72 が下位 4 ビットの 0,1,2,.....F のコード定義になります。

1 行目の 9-12 カラムはコード 00(hex) の変換後の文字を定義します。

2 行目の 9-12 カラムはコード 10(hex) の変換後の文字を定義します。

:

注). 16 行に満たない場合、テーブルは無効になります。

16 行を越えた場合、越えた行は無視します。

・ コード定義

変換コードは、4 桁の 16 進数 (0000 ~ FFFF) で定義します。

注). 空白は、0 とみなします。(" 01" は "0001" と同意です)

(1) 1 バイト文字への変換

1. 00xx : 変換コードを xx で指定します。
xx は中間 ASCII コード (表 4 参照)

注) 文字列に漢字、カタカナがある場合、xx はそれに対応する漢字コードに変換され
ず。

2. 00xx : 変換コードを xx で指定します。
xx は中間 ASCII コード (表 4 参照)

注) 漢字コードへの変換は行いません。

(2) 2 バイト文字への変換

1. x1x2 : 漢字コードを x1x2 で指定します。

注) コード x1 には、区コード + 160

x2 には、点コード + 160 を指定します。

例. "愛"に変換する場合コード x1x2 は、"B0A6" です。
"愛"の区点コードは、16 の 06 です。

2. x1x2 : 漢字コードを x1x2 で指定します。
x1x2 は中間 ASCII コード (表 4 参照)

注) トレランス等の制御文字への変換に用います。

【補足説明】

コード変換処理の流れ

(1) コード変換テーブルファイルの読み込み
ファイルが存在しない場合は、既定のコード変換テーブルを使用。

-
- (2) Regular CADAM のコードをテーブルにしたがって変換 (表 3) → (表 4)
 - (3) トランス文字・改行・テキスト枠・下線・上線等の処理 (表 5)
ここで検出された文字コードは、取り除かれます。
 - (4) Advance CAD のテキストコードに変換 (表 4) → (表 6)

ファイルのディレクトリは、ファイル ACAD.SET のキーワード #CADAM:TABLE# で設定してください。ファイル名は、RCADAMACAD_CODE で固定です。
ファイルが存在しない場合は、既定値 (表 3 参照) を用います。

表 3 Regular CADAM → Advance CAD コード変換テーブル

(標準)

上段：表示文字

下段：変換コード

下位 上位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0																
1																
2																
3																
4	空白 0020	□ 0180	φ 017B	┘ A1D7	, A1A2	・ A1A3	ヲ A5F2	ア A5A1	イ A5A3	ウ A5A5	± 0195	. 002E	< 003C	(0028	÷ 002B	 000F
5	& 0026	エ A5A7	オ A5A9	ヤ A5E3	ユ A5E5	ヨ A5E7	ツ A5C3	ワ A12D	ー A5F5	π 0121	° 0024	改行 002A	*	) 0029	； 003B	± 0195
6	- 002D	/ 002F	┘ A12D	ー A6B8	Ω A6CC	μ 017B	φ				！ 002C	, 0025	% 005F	_ 003E	> 003F	？
7											∴ 003A	# 0023	@ 0040	▽ 0027	= 003D	” 0022
8		ア A5A2	イ A5A4	ウ A5A6	エ A5A8	オ A5AA	カ A5AB	キ A5AD	ク A5AF	ケ A5B1	コ A5B3		サ A5B5	シ A5B7	ス A5B9	セ A5BB
9	ソ A5BD	タ A5BF	チ A5C1	ツ A5C4	テ A5C6	ト A5C8	ナ A5CA	ニ A5CB	ヌ A5CC	ネ A5CD	ノ A5CE	× 0078	[A5CF	ハ A5D2	ヒ A5D5	フ
A			へ A5D8	ホ A5DB	マ A5DE	ミ A5DF	ム A5E0	メ A5E1	モ A5E2	ヤ A5E4	ユ A5E6		ヨ A5E8	ラ A5E9	リ A5EA	ル A5EB
B											レ A5EC	ロ A5ED	ワ A5EF	ン A5F3	” A1AB	° A1AC
C		A 0041	B 0042	C 0043	D 0044	E 0045	F 0046	G 0047	H 0048	I 0049				℄		
D		J 004A	K 004B	L 004C	M 004D	N 004E	O 004F	P 0050	Q 0051	R 0052			± 0195			
E	\$ 0094		S 0053	T 0054	U 0055	V 0056	W 0057	X 0058	Y 0059	Z 005A		φ 017B		≤ A1E5	≥ A1E6	Ω A6B8
F	0 0030	1 0031	2 0032	3 0033	4 0034	5 0035	6 0036	7 0037	8 0038	9 0039				μ A6CC	・ A1A6	

表 4 中間 ASCII コード変換テーブル

(固定)

上段：表示文字 下段：変換コード

下位 上位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0		[]			↶	↷	↵	↶		± 0182		☐				 001D
1	□	○	○	⚓	☐	☐	☐		[005B	{ 007B	! 0021	\$ 0024	♢		◇	>
2	空白 0020	° 0180	" 0022	# 0023	改行 000D	% 0025	& 0026	▽ 0027	(0028	) 0029	* 002A	+ 002B	, 002C	- 002D	. 002E	/ 002F
3	0 0030	1 0031	2 0032	3 0033	4 0034	5 0035	6 0036	7 0037	8 0038	9 0039	: 003A	; 003B	< 003C	= 003D	> 003E	? 003F
4	Q 0040	A 0041	B 0042	C 0043	D 0044	E 0045	F 0046	G 0047	H 0048	I 0049	J 004A	K 004B	L 004C	M 004D	N 004E	O 004F
5	P 0050	Q 0051	R 0052	S 0053	T 0054	U 0055	V 0056	W 0057	X 0058	Y 0059	Z 005A	1/2 0024	\ 005D	] ^ 005E	_	005F
6	・ 0060	a 0061	b 0062	c 0063	d 0064	e 0065	f 0066	g 0067	h 0068	i 0069	j 006A	k 006B	l 006C	m 006D	n 006E	o 006F
7	p 0070	q 0071	r 0072	s 0073	t 0074	u 0075	v 0076	w 0077	x 0078	y 0079	z 007A	φ 0181	 007D	}	~ 007E	
8	□ 0183	φ 0181	↓	⌒	V	I	Δ	~		¢	⊖	⊕	∥	○	/	⊥
9	≧	≦		° 0180	\$ 0024	± 0182	/	-	Ω A1BC	μ A6B8	ℵ A6CC	∞ A1E7	8	×	∠	 A2DC A1C2
A		・ A1A3	「 A1D6	」 A1D7	, A1A2	・ A1A6	ヲ A5F2	ア A5A1	ィ A5A3	ウ A5A5	エ A5A7	オ A5A9	ヤ A5E3	ユ A5E5	ヨ A5E7	ツ A5C3
B	ー A1BC	ア A5A2	イ A5A4	ウ A5A6	エ A5A8	オ A5AA	カ A5AB	キ A5AD	ク A5AF	ケ A5B1	コ A5B3	サ A5B5	シ A5B7	ス A5B9	セ A5BB	ソ A5BD
C	タ A5BF	チ A5C1	ツ A5C4	テ A5C6	ト A5C8	ナ A5CA	ニ A5CB	ヌ A5CC	ネ A5CD	ノ A5CE	ハ A5CF	ヒ A5D2	フ A5D5	ヘ A5D8	ホ A5DB	マ A5DE
D	ミ A5DF	ム A5E0	メ A5E1	モ A5E2	ヤ A5E4	ユ A5E6	ヨ A5E8	ラ A5E9	リ A5EA	ル A5EB	レ A5EC	ロ A5ED	ワ A5EF	ン A5F3	・ A1AB	° A1AC
E																± 0182
F					φ 0181		≤	≥	Ω A6B8				μ A6CC	・		

表 5 トレランス文字

★ 行替え AA\$BB\$CC	→	AA BB CC	
★ 1/2トレランス文字 12[10 AB[12\$34[CD	→	12 ¹⁰ AB $\frac{3}{4}$ CD	
★ 3/4トレランス文字 AA□□BB\$CCC	→	AA $\frac{3}{4}$ CC	
★ 1/1トレランス文字 AA□=BB\$CCC	→	AA $\frac{1}{1}$ CC	
★ トレランス文字の終わり AA[BB\$CC[DD	→	AA $\frac{1}{1}$ DD	
AA□=BB\$CC□DD	→	AA $\frac{1}{1}$ CC DD	
★ ボックス AA[BB[CC	→	AA[BB]CC	* 1
φAAφBBφCC>	→	[AA][BB][CC]	* 2
IAAφBBφCC>	→	[IAABCC]	
★ オーバースコア AA□□BB□□CC	→	AAB $\overline{\text{B}}$ CC	* 3
★ アンダースコア AA□□BB□□DD	→	AAB $\underline{\text{B}}$ CC	* 3
★ ひし形 AA□□BB□□CC	→	AA ($\frac{1}{1}$ BB) CC	* 2

CADAM では、テキスト制御文字を利用して、テキスト文字を修飾することができます。修飾機能として、行替え、ボックス、ひし形、オーバースコア、アンダースコア、トレランス文字 (1/2, 3/4, 1/1) などがあります。

左図で、* 1 のボックスの大きさは、高さが文字高さの1.5倍で、幅が文字数×文字間ピッチです。

* 2 のボックス、ひし形の大きさは、高さが文字高さの2.0倍で、幅が (文字数+1) ×文字間ピッチです。

* 3 のオーバースコア、アンダースコアと文字との間隔は、文字高さの1/4です。

表 6 Advance CAD フォントテーブル 01

(標準)

下位 上位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0														改行		
1																
2	空白	!	"	#	\$	%	&	▽	(	)	*	+	,	-	.	/
3	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
4	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
5	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	\	]	^	_
6	'	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
7	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	
8	°	φ	±	□	へ											

C.7 Micro CADAM から 外字コード変換テーブルファイル

Micro CADAM でユーザが登録した 2 バイト文字のコード変換テーブルです。

Advance CAD の漢字フォントに該当する文字がない場合は、あらかじめ漢字フォントを登録してください。

● 注釈行

/ comment

1 文字目が "/" で始まる行は、注釈行になる。

● コード登録行

IIII AAAA comment

IIII : シフト JIS の 2 バイト文字コード (1 6 進)

8140-81FC から AF40-AFFC まで

AAAA : Advance CAD の 2 バイト文字コード (1 6 進)

2121-217E から 7E21-7E7E まで

comment : 注釈

注). 各項目と項目のあいだは1つ以上の空白文字または、タブで区切る。

例. シフト JIS の拡張文字コード 8040 を Advance CAD の 2 バイト文字 “ あ ” に割り当てる場合

8040 2422 あ

ファイルのディレクトリは、ファイル ACAD.SET のキーワード #CADAM:TABLE# で設定してください。ファイル名は、SHIFTJIS_EXTEND で固定です。

【補足】

漢字フォントを登録の際は、本章の「表 7 Advance CAD と Micro CADAM との漢字コード変換表」を参照してください。

C.8 Regular CADAM(IBM) からの外字コード変換テーブルファイル

Regular CADAM でユーザが登録した 2 バイト文字のコード変換テーブルです。

Advance CAD の漢字フォントに該当する文字がない場合は、あらかじめ漢字フォントを登録してください。

このテーブルファイルで登録された 2 バイト文字は、IBM_KANJI.COD で登録されたものより優先します。

● 注釈行

/ comment

1 文字目が "/" で始まる行は、注釈行になる。

● コード登録行

IIII AAAA comment

IIII	:	IBM の 2 バイト文字コード (1 6 進) 4000-40ff から 6F00-6FFF 以外のコード
AAAA	:	Advance CAD の 2 バイト文字コード (1 6 進) 2121-217E から 7E21-7E7E まで
comment	:	注釈

注). 各項目と項目のあいだは1つ以上の空白文字または、タブで区切る。

例. IBM の 2 バイト文字 “ あ ” を Advance CAD の 2 バイト文字 “ あ ” に割り当てる場合

4481 2422 あ

ファイルのディレクトリは、ファイル ACAD.SET のキーワード #CADAM:TABLE# で設定してください。ファイル名は、IBM_KANJI_EXTEND で固定です。

【補足】

漢字フォントを登録の際は、本章の「表 8 Advance CAD と Regular CADAM(IBM) との漢字コード変換表」を参照してください。

C.9 Regular CADAM(FACOM) からの外字コード変換テーブルファイル

Regular CADAM でユーザが登録した 2 バイト文字のコード変換テーブルです。
Advance CAD の漢字フォントに該当する文字がない場合は、あらかじめ漢字フォントを登録してください。

● 注釈行

```
/ comment
```

1 文字目が "/" で始まる行は、注釈行になる。

● コード登録行

```
IIII AAAA comment
```

IIII	:	EUC の 2 バイト文字コード (1 6 進) A1A1-A1FE から FEA1-FEFE 以外のコード
AAAA	:	JIS の 2 バイト文字コード (1 6 進) 2121-217E から 7E21-7E7E まで
comment	:	注釈

注). 各項目と項目のあいだは 1 つ以上の空白文字または、タブで区切る。

例. EUC の拡張文字コード A0A1 を Advance CAD の 2 バイト文字 “あ” に割り当てる場合

```
A0A1 2422 あ
```

ファイルのディレクトリは、ファイル ACAD.SET のキーワード #CADAM:TABLE# で設定してください。ファイル名は、EUC_EXTEND で固定です。

【補足】

漢字フォントを登録の際は、本章の「表 9 Advance CAD と Regular CADAM(FACOM) との漢字コード変換表」を参照してください。

C.10 Regular CADAM からのトレランス文字変換テーブルファイル

Regular CADAM のトレランス文字コードを定義します。

ここで定義されたコードは、RCADAMACAD_CODE で登録されたものより優先します。

● 注釈行

```
/ comment
```

1 文字目が "/" で始まる行は、注釈行になる。

● コード登録行

```
key_word start [, end ]
```

key_word	:	トレランスの種類
BREAK1	:	改行
FULLTOL	:	1 / 1 文字公差表示
3/4TOL	:	3 / 4 文字公差表示
1/2TOL	:	3 / 4 文字公差表示
BOX1	:	枠付文字
BOX1_2	:	枠付文字
BOX2	:	枠の区切り
BOXSPACE	:	枠付文字
ENDBOX	:	枠付文字の終了
UNDERSCORE	:	下線付文字
OVERSCORE	:	上線付文字
LOZANGE	:	菱形で文字を囲う
ANCHOR	:	アンダー寸法
COMPACTFRACTION	:	分数表示

start	:	トレランスの開始コードを16進で指定。 (1バイトまたは2バイト)
end	:	トレランスの終了コードを16進で指定。 (1バイトまたは2バイト)

コードは、Regular CADAM での内部コードを指定。

ファイルのディレクトリは、ファイル ACAD.SET のキーワード #CADAM:TABLE# で設定してください。ファイル名は、RCADAMACAD_TCODE で固定です。

C.11 CADAM からのピクチャ割り当てテーブルファイル

● ビューをピクチャに割り当て

```
view = pic
```

view	:	CADAM のビュー名 (1 ~ 2 文字)
pic	:	Advance CAD のピクチャ番号 (1 ~ 63)

CADAM のビュー名 view を Advance CAD のピクチャ番号 pic に割り当てます。

ファイルのディレクトリは、ファイル ACAD.SET のキーワード #CADAM:TABLE# で設定してください。ファイル名は

Micro CADAM の場合は MCADAMACAD_PIC
Regular CADAM の場合は RCADAMACAD_PIC

で固定です。

指定された割り当てが有効になるのは、新規モードで変換した場合のみです。

ファイルが存在しないときは、ビューが現れた順番にピクチャ番号が割り当てられます。

C.12 漢字コード変換表

$\frac{1}{2}$

CADAM インタフェースユーザズマニュアル (Advance CAD software version 22)

[illegible]

2/2

CADAM インタフェースユーザズマニュアル (Advance CAD software version 22)

[illegible]

表 8 Advance CAD と Regular CADAM (IBM) との漢字コード変換表

1/12

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
4040																
4050																
4060																
4070																
4080																
4090																
40A0																
40B0																
40C0																
40D0																
40E0																
40F0																
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
4140		α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο
4150	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
4160		A	B	Γ	Δ	E	Z	H	Θ	I	K	Λ	M	N	Ξ	Ο
4170	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω							
4180	α	β	γ	δ	ε	ϵ	ж	з	и	й	к	л	м	н	о	
4190	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю
41A0	я															
41B0																
41C0	A	B	B	Γ	Д	E	Е	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О
41D0	Π	Ρ	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э	Ю
41E0	Я															
41F0																
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
4240											£	Б	<	(	+	
4250	&										!	¥	*	)	:	
4260	-	/									,	#	%	_	>	?
4270											:	#	@	—	=	
4280		a	b	c	d	e	f	g	h	i						
4290		j	k	l	m	n	o	p	q	r						
42A0		l	s	t	u	v	w	x	y	z						
42B0																
42C0	{	A	B	C	D	E	F	G	H	I						
42D0	}	J	K	L	M	N	O	P	Q	R						
42E0	\$	S	T	U	V	W	X	Y	Z							
42F0	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
4340		.	「	」	、	・	ヲ	ァ	ィ	ゥ	¢					
4350		エ	オ	ヤ	ユ	ヨ	ツ	ワ	ー	カ	ケ					
4360																
4370																
4380		ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ		サ	シ	ス	セ
4390	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ			ハ	ヒ	フ
43A0		〜	へ	ホ	マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ		ヨ	ラ	リ	ル
43B0											レ	ロ	ワ	ン	ミ	°
43C0	ガ	ギ	グ	ゲ	ゴ	ザ	ジ	ズ	ゼ	ゾ	ダ	ヂ	ヅ	デ	ド	バ
43D0	ビ	ブ	ベ	ボ	ヴ	パ	ピ	プ	ペ	ポ	キ	エ	ハ	バ		
43E0	\															
43F0																

表 8 Advance CAD と Regular CADAM(IBM) との漢字コード変換表

2/12

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
4440			『	』	[	]	を	あ	い	う	一	十	≠	∞	℃	
4450	▽	え	お	や	ゆ	よ	っ	わ			-	リ	全	々	ノ	○
4460	”	’	“	(	く	《	【	≤	∴	♂	§	※	〒			
4470	^	’	”	)	く	》	】	≥		♀	×	÷		≡	…	…
4480		あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ		さ	し	す	せ
4490	そ	た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の			は	ひ	ふ
44A0			へ	ほ	ま	み	む	め	も	や	ゆ		よ	ら	り	る
44B0											れ	ろ	わ	ん		
44C0	が	ぎ	ぐ	げ	ご	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ	だ	ぢ	づ	で	ど	ば
44D0	び	ぶ	べ	ぼ		ば	び	ぶ	べ	ぼ	み	ゑ	ゝ	ゞ		
44E0	○	●	△	▲	◎	☆	★	◇	◆	□	■	▽	▼	°	’	”
44F0	→	←	↑	↓												
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
4540		一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	百	千	万	億	都
4550	道	府	県	市	区	町	村	東	西	南	北	大	中	小	上	下
4560	年	月	日	田	子	山	本	川	藤	野	工	業	木	井	郎	島
4570	雄	高	岡	夫	原	京	佐	正	松	機	和	製	男	美	吉	崎
4580	石	谷	電	長	治	沢	金	新	口	橋	久	福	所	平	内	国
4590	化	阪	宮	人	作	部	清	次	義	生	代	出	水	森	光	加
45A0	合	神	林	重	行	信	明	海	安	幸	保	太	富	江	鈴	前
45B0	知	武	伊	昭	分	勝	用	広	造	気	成	見	利	会	学	岩
45C0	産	間	地	自	良	関	愛	政	尾	計	文	手	父	方	事	戸
45D0	品	喜	渡	弘	古	辺	倉	鉄	之	場	洋	城	津	立	度	午
45E0	今	彦	設	通	動	後	奈	定	池	屋	浜	理	坂	実	英	的
45F0	司	秀	横	名	孝	竹	博	力	庫	葉	栄	永	器	玉	多	
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
4640		賀	真	恵	静	円	茂	敏	豊	兵	法	弁	青	増	料	忠
4650	資	時	物	車	徳	要	対	塚	秋	白	河	瀬	油	隆	蔵	当
4660	俊	志	春	社	馬	入	建	根	杉	進	興	浦	精	同	性	米
4670	者	助	枝	近	直	目	来	画	相	黒	丸	船	由	士	第	熊
4680	紙	健	械	芳	土	有	家	線	経	調	天	期	置	浅	齊	式
4690	形	面	種	輪	外	元	体	鹿	御	女	康	門	世	堀	好	児
46A0	寺	鋼	特	埼	達	向	取	等	智	回	類	運	勇	堀	阿	不
46B0	須	全	寿	板	飯	邦	貞	現	食	組	公	備	備	思	商	結
46C0	表	矢	湯	善	私	沼	系	宏	策	波	員	材	数	開	準	樹
46D0	費	昌	強	研	友	宇	若	菊	持	花	引	紀	荒	別	修	越
46E0	住	葉	毛	遠	問	奥	型	心	登	早	柳	浩	質	務	泉	常
46F0	守	基	管	泰	伸	最	以	歌	裕	赤	足	規	流	誠	昇	
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
4740		州	照	塩	送	雅	末	哲	岸	也	岐	初	茨	則	比	能
4750	話	投	転	菅	連	他	民	給	酒	繁	価	満	朝	付	条	無
4760	考	楽	主	意	戦	切	剂	片	細	濟	稻	布	里	属	章	变
4770	何	桜	彼	查	益	売	仁	深	台	鳥	鶴	支	整	角	嘉	味
4780	衛	議	庄	率	路	火	阜	輝	点	与	減	畑	整	空	交	羽
4790	半	収	央	総	記	晴	構	際	梅	印	言	栗	身	書	克	素
47A0	集	節	先	滝	決	教	純	柴	接	星	着	留	映	己	界	具
47B0	敬	群	順	共	活	量	指	解	室	果	各	望	防	約	憲	陽
47C0	亀	凶	予	色	税	植	可	恒	位	典	必	続	急	在	垣	君
47D0	延	嶋	企	析	服	熱	割	協	步	史	優	斎	房	宗	格	辰
47E0	笠	園	諸	脇	啓	賢	辻	風	得	易	打	頭	旭	段	勢	然
47F0	団	額	落	配	程	辻	吾	感	寛	反	稔	需	源	沖	題	

表 8 Advance CAD と Regular CADAM(IBM) との漢字コード変換表 3/12

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
4840		込	草	算	盛	農	那	省	様	殿	少	介	受	音	編	委
4850	庄	係	状	示	店	媛	株	滋	梨	繩	右	左	及	選	居	情
4860	練	炭	館	鉦	模	殊	績	垂	織	仲	塗	消	術	検	朗	宅
4870	功	尚	貿	悦	脂	篠	佳	紡	富	桑	確	牧	並	値	観	貴
4880	維	統	宿	両	糖	親	録	澄	施	容	飛	局	祐	過	氏	改
4890	盤	積	洪	卷	淳	応	争	軍	装	酸	織	染	帝	綿	粉	航
48A0	甲	周	洪	仙	低	緑	軽	麻	慶	勞	磯	丹	育	限	導	放
48B0	晃	座	件	想	驥	仕	使	輪	顔	番	張	聞	供	湯	溶	校
48C0	銅	鑄	融	靖	写	完	港	鍛	夜	充	龍	綱	菱	速	勉	刷
48D0	起	摩	参	營	穂	推	返	職	止	伝	幹	球	権	展	幡	葛
48E0	庭	非	号	单	歳	拡	処	語	昨	域	淵	再	働	科	魚	端
48F0	途	案	字	論	兼	又	振	技	徹	札	系	従	冷	態		
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
4940		矢	厚	側	注	測	頃	乘	試	坪	荻	党	汽	宝	恭	樋
4950	温	敷	説	芸	告	歴	般	飾	礼	将	難	砂	判	役	影	曾
4960	帯	陸	鎌	談	彰	患	標	申	害	母	補	幌	声	除	笹	婦
4970	乾	競	芝	牛	買	移	硝	茶	効	養	勲	肥	謙	炉	夏	堂
4980	柏	弘	帰	焼	硫	老	究	審	針	断	射	差	嵐	折	耐	宣
4990	始	律	残	景	象	郷	卓	離	薫	死	耕	操	亮	云	郡	勤
49A0	求	貫	官	妻	裏	眼	伯	窯	築	階	換	桂	駅	梶	均	財
49B0	命	王	蒲	郁	磨	笑	曲	極	報	提	証	雪	違	裁	首	病
49C0	桐	余	瓦	令	吹	猪	未	剛	負	伴	儀	含	適	迄	尻	嚴
49D0	答	追	討	丈	鉛	燃	課	為	院	枚	皮	護	過	雨	我	寄
49E0	荻	押	納	監	縫	降	圭	竜	範	殺	貝	榎	綾	遇	占	迫
49F0	劇	才	敦	級	終	毎	絹	縮	普	祥	個	専	駒	演	評	
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
4A40		存	肉	傾	師	液	例	臣	至	因	繼	己	覚	溝	洗	読
4A50	視	猛	巨	網	袋	任	密	袖	況	著	較	毅	響	販	幅	苦
4A60	措	征	磁	舞	努	達	妙	抗	輔	習	促	哉	険	更	講	干
4A70	復	訪	派	督	擊	識	慎	婚	超	燐	頼	狩	堺	巾	認	柄
4A80	締	休	短	伏	寅	拔	尼	医	淀	臼	雜	遊	浮	鏡	層	飼
4A90	削	添	薄	隊	固	境	睦	項	乳	豆	許	緒	述	浪	依	齒
4AA0	欧	担	償	革	却	骨	杵	衿	包	異	走	虎	峯	賞	念	牟
4AB0	皆	悟	背	姫	脱	希	託	陶	苗	環	蒸	僕	雲	版	破	淑
4AC0	涉	柿	潔	夕	倍	犬	黄	筆	鬼	散	去	誘	釜	領	濃	旅
4AD0	借	羊	潤	週	弾	援	逸	警	篤	爆	桃	独	族	芦	客	楠
4AE0	麦	募	析	掛	絵	頭	巳	堅	請	閣	衣	貨	季	床	吳	硬
4AF0	紫	貢	卒	絶	貸	灰	呼	故	晶	玲	圀	箱	墨	突	暮	
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
4B40		肇	姿	血	困	筑	混	弁	鍋	退	俣	束	便	賃	副	採
4B50	呂	複	桼	席	娘	甘	免	幾	債	寝	棒	瑞	槻	微	嗣	詰
4B60	寸	堤	莊	弓	底	灯	甚	紅	忽	繰	倒	券	華	即	弱	慳
4B70	鳴	双	洲	享	互	萬	誌	既	鷹	肩	鷹	譲	筭	閉	浴	探
4B80	斐	寒	拳	誰	盟	馨	穴	舶	衆	聡	勘	夢	附	被	錦	筋
4B90	抵	危	庁	察	併	壁	灘	緊	吸	珠	勘	刈	磐	欣	核	乃
4BA0	椎	荷	滑	飲	腰	街	軸	禰	菜	迎	縁	唐	亨	沢	酢	廻
4BB0	息	了	晋	捨	列	聖	函	療	舟	隅	像	是	似	乙	樽	乱
4BC0	刺	諏	橘	替	朋	攻	露	廃	訓	垂	恋	虫	闘	悩	丁	描
4BD0	激	斜	責	茅	粧	恐	雷	忍	損	孔	窓	拓	妹	煙	冬	称
4BE0	唯	創	暗	胸	亘	仏	凍	鷄	兄	窓	柱	塁	簡	衡	就	柵
4BF0	釧	鷲	揮	敵	蓮	刻	欲	粘	如	障	覇	粟	逆	招	曜	

表 8 Advance CAD と Regular CADAM(IBM) との漢字コード変換表 4/12

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
4C40		捕	概	催	戾	忘	揚	痛	承	慮	艦	柏	煮	雇	罪	否
4C50	刀	菓	刑	奏	鴨	坊	疊	願	舍	昔	猿	傷	救	庸	孫	喬
4C60	快	授	貯	杯	契	威	燥	巢	豪	扱	致	尺	徒	遲	玄	煉
4C70	秘	祭	逃	茵	徵	穴	批	撮	紘	爾	寮	旧	贈	鹹	勸	崇
4C80	齡	恩	卯	曉	陣	帽	抱	爪	湊	鎮	秦	句	肝	裾	嚴	沈
4C90	湿	腹	允	邑	潮	蓄	數	脩	毒	晝	署	粒	礎	悲	狹	壯
4CA0	腥	躍	履	巧	永	淡	犯	蘭	蚤	踊	舘	弟	耳	礎	候	腕
4CB0	詩	軟	暴	腦	疑	欠	晚	郵	圭	椿	皇	災	箕	紺	慈	蘇
4CC0	駿	姊	砲	碎	避	股	尿	暢	鐘	淨	幕	塔	箕	跡	亡	豚
4CD0	臨	触	陰	劍	瓶	驚	怒	刊	琴	貢	遺	唄	祖	到	咲	訴
4CE0	隣	俳	銃	釣	紹	隈	佑	絡	嶺	鮮	往	祝	祖	趣	篋	尊
4CF0	略	薩	揖	麗	索	卯	髮	遂	欽	紋	排	肪	緩	鼻		
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
4D40		浸	朱	唱	掘	砥	岳	巡	錢	飽	預	泣	此	匡	歛	序
4D50	童	倫	湖	抽	艷	桧	丘	巡	甫	粗	苦	頂	脚	珍	辛	尋
4D60	握	獲	腐	胡	宙	盜	抑	旬	診	奇	旨	灣	暖	喫	載	銳
4D70	鎖	仮	畜	漸	辞	禁	封	楓	鯨	积	扶	旋	踏	謡	榛	或
4D80	媒	邸	僚	租	汁	刺	酵	謹	柵	塵	膜	宜	蒼	該	鷄	捷
4D90	奴	誤	励	栖	屈	鳩	机	疲	洞	伍	繭	答	翌	旦	妥	秩
4DA0	戒	滯	看	貧	於	衝	榔	届	聴	還	軌	旗	培	炎	漆	幼
4DB0	瞬	俵	奉	臭	魅	翼	腸	槽	泊	楨	秒	謝	默	臧	稼	票
4DC0	潜	掲	距	掃	溜	帳	懸	皿	搬	綴	扇	摘	栖	彩	逢	稚
4DD0	芹	烈	騷	慣	濯	叫	鴻	拾	悠	閑	淚	銘	搜	震	襲	
4DE0	栽	凡	魔	悌	馱	焦	詳	碧	瑛	柔	患	丑	仰	替	賞	
4DF0	礪	靴	覆	兆	焚	胃	茸	碧	瑛	羅	偉	艇	棕	籍		
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
4E40		只	弦	渥	梁	鍵	巽	升	霧	携	症	澤	玩	矩	鑑	譜
4E50	肌	李	亨	堯	瓜	惇	泥	錠	迷	紳	狂	鋪	琢	効	騰	眺
4E60	徑	陳	播	鈍	瓜	惇	蛭	俺	劣	撞	眠	匠	憶	噴	蝶	沿
4E70	停	怪	葦	殖	涼	韓	隨	桶	惑	卸	撤	冠	醉	巴	沢	幣
4E80	銚	皓	汚	斗	僧	糸	彫	泡	彬	嫁	漬	蔭	撰	坐	壇	購
4E90	詞	穿	條	縱	穀	獄	諫	俗	穰	耶	緯	胆	論	獵	迪	伎
4EA0	疋	冊	朴	忙	懇	斯	鳳	廊	鉢	棟	沸	胴	埋	沙	隱	孤
4EB0	壺	棄	吐	頰	誇	乞	慧	鮫	邪	喰	芽	奪	曳	芙	墓	熟
4EC0	抄	柑	遣	嫌	汗	糧	塑	撲	壞	荃	獎	勻	婆	蜂	恥	狙
4ED0	覽	暉	曹	嵯	宰	隼	据	惜	祈	凝	蘆	廉	畔	奮	欄	佃
4EE0	箔	柚	拝	把	霞	拭	滅	傍	架	凰	磨	庵	掌	藍	顧	勅
4EF0	怖	棋	懷	坑	輩	循	膨	絢	燈	哀	槌	款	斬	掬	但	
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
4F40		笛	殆	裸	刃	獻	暇	紗	埴	圈	憎	靈	簿	謀	碁	賠
4F50	咋	箇	瑛	蓑	衰	厘	呈	泳	漢	叶	袴	幻	獲	蚕	墳	崩
4F60	裂	拒	丞	俱	雀	獸	註	其	熙	翠	袈	綺	乏	蓋	漫	塙
4F70	鋏	叩	虚	酉	蛭	帆	唇	逮	枕	葬	宥	芥	萱	涌	揺	亥
4F80	准	挨	罰	孟	嶽	駟	召	禪	詔	祓	染	嬌	侵	洩	鮎	冒
4F90	霽	涯	戲	菟	賜	偵	峠	且	侃	簌	衰	瞳	諮	峨	拶	昂
4FA0	誓	薦	誕	旺	朔	叔	披	賦	裳	寧	蚊	暎	堪	慰	楯	鼓
4FB0	窒	碓	櫃	逗	鉦	紐	篇	滴	舜	尽	拍	薰	漂	湧	暑	薦
4FC0	捺	舛	侍	傑	訂	括	鯉	稽	肅	僅	這	炊	粹	擬	晟	敢
4FD0	猫	匹	梓	喧	洪	稿	擦	稽	柘	符	隻	挑	犧	屯	瀝	菲
4FE0	惟	諾	騰	蒔	鯖	芯	鍊	昆	陀	寂	蛇	祉	耗	相	炒	阻
4FF0	初	姓	孜	紛	釘	檀	藩	椅	沓	倭	亦	翁	憤	賊	陷	

表 8 Advance CAD と Regular CADAM(IBM) との漢字コード変換表

5/12

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
5040		鎬	叱	妊	躬	拘	檜	燕	覓	偏	某	苑	鞍	璋	肺	猶
5050	兎	脅	郊	塊	証	濱	忽	盆	騎	偽	隔	廷	著	遍	汎	藻
5060	膝	枯	噌	嘆	貌	囚	班	賄	迅	零	汐	襄	輿	絞	慘	狼
5070	綜	董	峻	呆	崖	沒	膳	壺	宴	脉	吟	貼	憂	碩	濡	醬
5080	盲	怠	盾	蓉	缶	仇	畝	稗	蓬	痴	伺	杭	璫	拳	漠	秤
5090	蟹	悔	戴	暫	舌	蒙	爺	忌	偷	烏	牡	穉	傘	髭	嵩	伶
50A0	皓	馴	幻	掙	堰	叉	窟	餌	魂	轟	窮	宛	棺	扉	祿	驚
50B0	吞	錯	諄	徐	跳	娛	胞	洩	穩	蒼	鳴	逐	洸	酪	濁	餅
50C0	殼	庶	釀	偶	漏	丙	吏	陵	汲	汙	囑	鼠	曆	弊	疫	凸
50D0	杏	踐	汰	詫	畿	岬	桁	賓	鯛	葵	梓	萌	狛	罌	蕨	礪
50E0	蒼	式	茜	柱	渚	鶯	凹	稟	互	廣	邊	肯	妨	矛	赴	訟
50F0	朽	匿	訊	噓	杖	叙	伐	琉	婁	倭	襴	頸	踪	鵠	轄	
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
5140		斥	疾	遭	虻	悼	冶	夷	累	酬	榮	糠	砺	崔	擁	壬
5150	墜	赦	曙	懲	鄭	湘	鐵	陞	牲	彪	庚	輔	宕	尹	通	荏
5160	糲	戊	郭	花	洌	旂	曾	亟	喪	窃	菩	讚	葭	菰	罐	醞
5170	酬	疎	閔	臧	痢	憩	詐	閱	厨	始	頃	碑	築	欺	埠	戎
5180	菖	諒	痔	鉉	姜	劉	迄	瀘	瑤	尉	鵬	蓼	糟	箭	詮	奎
5190	囊	膚	祗	昶	叡	硃	壤	鎗	溪	剖	芋	麟	閃	斌	麓	獅
51A0	渦	鴿	妃	綬	雁	憾	李	黎	邨	醇	鼎	簾	凱	薤	刺	后
51B0	礁	敞	晨	峽	畦	盈	虹	匠	唆	砒	褒	矯	枕	國	兜	
51C0	卜	詠	斧	蝦	坦	櫨	蟻	帖	豎	赴	眞	獺	曠	鐐	腫	笈
51D0	鉅	坏	涛	蕪	緒	饗	螺	楊	膏	廿		狐	曠	黛	趙	巖
51E0	抹	撫	估	愿	梯	弔	鋸	篁	勾	晏	酷	凶	鞠	鞫	莞	摺
51F0	鰲	柵	旗	棧	魯	齋	翻		倣	麒	醜	雛	實	泌	糾	
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
5240		鑪	栢	遲	寔	飴	諦	腔	砧	璽	滓		娠	宋	蛸	瘍
5250	虜	晁	柚	喉	穎	姥	恂	錫	孚	蒜	雍	拙	杜	枇	幽	
5260	虐	翹	岱	胎	稀	誼	囡	肖	絲	鉞	遼	睡	蝮	遵	腺	
5270	簾	溢	陞	纈	狗	壽	惠	鞞	纈	塾	渠	榆	瞭	冗	攪	
5280	杷	巍	愁	鋼	奔	捧	禍	竿	胖	墳	慨	櫃	璃	昊	搭	
5290	侃	杳	肛	鰐		楓	稜	勿	恕	皎	腿	嚙	彭	熔	琶	
52A0	耀	蟬	鳴	琵琶	臯	琴	曝	甜	挽	混	籤	粥	洵	鍛	帥	
52B0	瀝	呖	愚	煤	汪	喚	洙	雌	寡	姻	樓	酌	眉	郇	穆	
52C0	鋤	賭	紕	鴛	賢	髓	杞	淋	邛	萊	噎	魀	梗	炳	韌	
52D0	枢	柁	碕	梧	僖	肱	迪	苔	祺	柰	繡	槍	淒	爽	栩	
52E0	弼	轡	柁	慕	斑	辱	縛	鞘	饒	衷	孀		俠	堪	櫻	
52F0	竈	倦	奄	遙	筇	筏	蹴	蕃	塘	謎	俟	虔	韶	畎	狸	
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
5340		价	鵲	倖	凌	拌	采	蝕	撚	裴	釰	枯	楚	汀	箴	
5350	蟲	蛭	厄	軀	犀	豫	碍	煥	與	梱	贊	遷	瀟	迦	脊	
5360	觜	梳	櫟	鋪	閤	祗	稠	厥	蹟	硯	禹	弧	廖	桓	鎬	
5370	們	堆	撰	繫	綏	棲	溥	苛	醒	剝	躄	邁	爛	緋	癖	
5380	濠	謨	肢	啄	恰	疆		挺	鐸	魏	臥	檣	烝	榷	慌	
5390	錐	鮭	昂	鉞		妓	皖		珊	玕	癸	樟	纜	頑	賑	
53A0	捉	蜜	拐	悴	殉	蛩	坤	塢	蕉	爵	癢	頻	舵	卑	尤	
53B0	墮	逝	榴	荊	魅	鞞	肆	厭	恨	侮	盃	樅	椰	鍾	駕	
53C0	尖	塞	憧	隙	俟	艸	鱗		愈	耗	聯	巷	赫	垓	飢	
53D0	禿	妖	祁	吊	菟	鯉	勒	毘	蛋	什	驊	卦	耆	猷	撒	
53E0	嫉	吠	卿	侯	龔	吻	囊	告	蟬	咳	灌	視	沫	蘭	熠	
53F0	錨	瑚	姑	湛	慾	叢	茗	盧	蔣	薯	榭	屠	牙	痕	讐	

表 8 Advance CAD と Regular CADAM(IBM) との漢字コード変換表

6/12

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
5440		渴	芭	屏	籠	鞞	潰	癌	裕	鋒	伶	升	溯	裡	葱	焚
5450	洛	肴	瓢	琳	婿	孫	頌	匙	遮	段	薪	碗	筵	拷	褐	閨
5460	戌	伽	佼	禾	鷗	仔	垢	冥	惋	悉	灼	竣	襖	鎧	鯖	儒
5470	勺	糊	惹	灸	臆	喝	樽	雉	唾	聚	茄	茲	喃	喃	汕	嘴
5480	杠	剥	萎	幟	筓	達	蒨	歎	壘	按	牽	蔚	槐	呪	顎	挫
5490	煎	蒨	糞	捲	筓	棹	蒨	溺	娼	窄	葦	問	姐	惚	瓜	婉
54A0	煩	漕	楫	搔	瘦	乎	綻	櫻	蔡	迺	鐸	鰻	弗	廓	艘	襟
54B0	苧	勃	屑	莫	些	稜	翰	扮	情	岨	澗	熨	餉	儲	帷	弄
54C0	捻	杓	棗	晒	鳶	裳	劫	俄	井	枳	筆	疊	訣	捆	燦	斤
54D0	漉	蔽	僂	綺	咂	筭	狙	泓	范	戟	傭	舵	蚰	夙	怨	杼
54E0	漣	疹	糊	刳	耘	謁	燭	圓	昏	董	煤	認	嘗	紹	輒	鍾
54F0	蕩	崗	粉	柞	臺	禮	堵	萄	遁	翔	澆	詣	鴈	跗	鎚	

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
5540		掬	怯	擢	悍	隸	挾	葡	酋	痘	惧	餓	鱗	妄	淫	庖
5550	洸	鯰	牆	禱	悶	插	龍	頒	喋	苓	兇	憐	祓	禽	汝	麵
5560	鱒	趨	廠	紆	迺	蕎	賤	嫡	哨	倣	効	緬	蔑	晦	汜	牌
5570	謀	鯢	督	謂	贅	溉	穎	韻	僻	罵	娃	蔓	侶	捌	鵠	肋
5580	劍	幹	嘶	套	贗	樵	櫓	烹	虞	澱	夙	翫	姪	庇	歪	畏
5590	煽	酌	紉	豹	恢	威	義	弛	蟻	屯	畢	篋	骸	昧	窺	律
55A0	澁	謬	蚤	濫	菱	罷	輯	蹄	縣	乍	禦	諺	逼	僑	黍	廟
55B0	疏	挾	叛	餐	艮	拷	棺	牝	耽	壕	屍	蛙	吋	蠅	鉅	鉗
55C0	屢	顛	蛤	陪	牢	梢	泗	榔	鰓	矧	棉	跨	湮	柁	鮪	憚
55D0	掩	瀕	錯	鍍	橡	托	劃	甥	嚇	沃	栴	撞	些	牒	姦	迂
55E0	徽	淘	諸	訛	頗	駁	掠	籽	嬰	脹	吃	纂	脆	匪	檣	罰
55F0	哩	噸	誹	朕	寓	摸	擾	鬱	賂	凋	纏					

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
5640		弑	丐	丕		个	非	、	丿	乂	乖	乘	此	亂	丿	事
5650	于	弑	亞	丄	亢	京	毫	亶	从	仍	仄	仆	仆		仗	初
5660	仞	仟		仇	仵			佚	估	佝		佗	佗	佞		佛
5670			侈	侏		儘	侘	佻	佞	佩	佰		佯	來	侖	倪
5680	俎	俘	侑	侑	俚	俐		佻	佻	倚		倨	倨	倪	倥	倅
5690	倡		倩	倬		倬	倬	們		倆	偃	偃	偃	倥	倥	倥
56A0	偕	倥				倥	倥	倥		儂	儂	儂	儂	儂	儂	儂
56B0	傳	儂		儂	儂	儂	儂	儂	儂	儂	儂	儂	儂	儂	儂	儂
56C0	儂	儂	儂	儂	儂	儂	儂	儂	儂	儂	儂	儂	儂	儂	儂	儂
56D0	兪	兪	冀	冂	冂	冊	冉	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂
56E0	寫	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂
56F0	凭	凰	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
5740		剋	剋	剋	剋	剋	剋	剋	剋	剋	剋	剋	剋	剋	剋	剋
5750		劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬
5760	勺		勿		勿	勿	勿	勿	勿	勿	勿	勿	勿	勿	勿	勿
5770	匸	區	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅
5780		厠	厠	厠	厠	厠	厠	厠	厠	厠	厠	厠	厠	厠	厠	厠
5790	叮	叨	叭	叭	吁	咩	呀	听	听	听	听	听	听	听	听	听
57A0	呵	咎	咎	咎	咎	咎	咎	咎	咎	咎	咎	咎	咎	咎	咎	咎
57B0	喏		喏		喏		喏		喏		喏		喏		喏	喏
57C0		哦	唏	唔	哽	哮	哭	哏	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞
57D0	陷	唸	唸	唸	唸	唸	唸	唸	唸	唸	唸	唸	唸	唸	唸	唸
57E0	喻	喇	噱	噱	噱	噱	噱	噱	噱	噱	噱	噱	噱	噱	噱	噱
57F0	噱	噱	噱	噱	噱	噱	噱	噱	噱	噱	噱	噱	噱	噱	噱	噱

表 8 Advance CAD と Regular CADAM(IBM) との漢字コード変換表

7/12

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
5840		囁	嚙	嚙	嚙	嚙	嚙	嚙	嚙	嚙	嚙	嚙	嚙	嚙	嚙	嚙
5850	口	囁	囁	囁	囁	囁	囁	囁	囁	囁	囁	囁	囁	囁	囁	囁
5860		址	坏		垆	垆	垆	垆	垆	垆	垆	垆	垆	垆	垆	垆
5870		垂	埔		垆	垆	垆	垆	垆	垆	垆	垆	垆	垆	垆	垆
5880	垆	垆		垆	垆	垆	垆	垆	垆	垆	垆	垆	垆	垆	垆	垆
5890	壓	壑	壑	壑	壑	壑	壑	壑	壑	壑	壑	壑	壑	壑	壑	壑
58A0	久		夔	夔	夔	夔	夔	夔	夔	夔	夔	夔	夔	夔	夔	夔
58B0				奢	奠	奠	奠	奠	奠	奠	奠	奠	奠	奠	奠	奠
58C0		姆	姨	姪	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉
58D0	婢	婪	媚	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼	媼
58E0	嬌	嬋	嬋	嬋	嬋	嬋	嬋	嬋	嬋	嬋	嬋	嬋	嬋	嬋	嬋	嬋
58F0	孩	執	孳	孳	孳	孳	孳	孳	孳	孳	孳	孳	孳	孳	孳	孳
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
5940		寐		寔		寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔
5950	尔		尠	尠	尠	尸	屍	屈	屎	屎	屎	屎	屎	屎	屎	屎
5960	炭	岔	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫
5970		峭	峪	崋	崋	崋	崋	崋	崋	崋	崋	崋	崋	崋	崋	崋
5980		寄	崕	崕	崕	崕	崕	崕	崕	崕	崕	崕	崕	崕	崕	崕
5990	巖	嶮	嶮	嶮	嶮	嶮	嶮	嶮	嶮	嶮	嶮	嶮	嶮	嶮	嶮	嶮
59A0	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑
59B0	庠	庠	庠	庠	庠	庠	庠	庠	庠	庠	庠	庠	庠	庠	庠	庠
59C0	廳	邈	弃	井	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋
59D0	彎	互	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖
59E0	徇	徑	徙	徙	徙	徙	徙	徙	徙	徙	徙	徙	徙	徙	徙	徙
59F0	忝		忿	怡	怡	怡	怡	怡	怡	怡	怡	怡	怡	怡	怡	怡
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
5A40		恚	恚	恚	恚	恚	恚	恚	恚	恚	恚	恚	恚	恚	恚	恚
5A50	恙		恚	恚	恚	恚	恚	恚	恚	恚	恚	恚	恚	恚	恚	恚
5A60	惠	恚	恚	恚	恚	恚	恚	恚	恚	恚	恚	恚	恚	恚	恚	恚
5A70	愴	愴	愴	愴	愴	愴	愴	愴	愴	愴	愴	愴	愴	愴	愴	愴
5A80	愴	愴	愴	愴	愴	愴	愴	愴	愴	愴	愴	愴	愴	愴	愴	愴
5A90	愴	愴	愴	愴	愴	愴	愴	愴	愴	愴	愴	愴	愴	愴	愴	愴
5AA0	懈	懈	懈	懈	懈	懈	懈	懈	懈	懈	懈	懈	懈	懈	懈	懈
5AB0	攝	攝	攝	攝	攝	攝	攝	攝	攝	攝	攝	攝	攝	攝	攝	攝
5AC0	扎	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞
5AD0	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊	拊
5AE0	拱	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞
5AF0	掣	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
5B40		擲	掣	掣	掣	掣	掣	掣	掣	掣	掣	掣	掣	掣	掣	掣
5B50		擲	掣	掣	掣	掣	掣	掣	掣	掣	掣	掣	掣	掣	掣	掣
5B60	擲	掣	掣	掣	掣	掣	掣	掣	掣	掣	掣	掣	掣	掣	掣	掣
5B70	擲	掣	掣	掣	掣	掣	掣	掣	掣	掣	掣	掣	掣	掣	掣	掣
5B80	敘	敘	敘	敘	敘	敘	敘	敘	敘	敘	敘	敘	敘	敘	敘	敘
5B90	旄	旄	旄	旄	旄	旄	旄	旄	旄	旄	旄	旄	旄	旄	旄	旄
5BA0		晝	晝	晝	晝	晝	晝	晝	晝	晝	晝	晝	晝	晝	晝	晝
5BB0	晰	晝	晝	晝	晝	晝	晝	晝	晝	晝	晝	晝	晝	晝	晝	晝
5BC0	睽	睽	睽	睽	睽	睽	睽	睽	睽	睽	睽	睽	睽	睽	睽	睽
5BD0	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮
5BE0	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳
5BF0		杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳	杳

表 8 Advance CAD と Regular CADAM(IBM) との漢字コード変換表

8/12

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
5C40		桸	桸	梟	君	桔	梭	梔	梔	檮	桤	桤	桤	桤	桤	桤
5C50	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤
5C60	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤
5C70	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤
5C80	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤
5C90	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤
5CA0	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤
5CB0	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤
5CC0	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤
5CD0	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤
5CE0	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤
5CF0	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤	桤

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
5D40		沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝
5D50	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝
5D60	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝
5D70	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝
5D80	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝
5D90	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝
5DA0	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝
5DB0	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝
5DC0	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝
5DD0	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝
5DE0	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝
5DF0	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝	沝

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
5E40		煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇
5E50	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇
5E60	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇
5E70	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇
5E80	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇
5E90	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇
5EA0	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇
5EB0	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇
5EC0	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇
5ED0	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇
5EE0	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇
5EF0	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇	煇

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
5F40		瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡
5F50	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡
5F60	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡
5F70	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡
5F80	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡
5F90	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡
5FA0	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡
5FB0	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡
5FC0	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡
5FD0	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡
5FE0	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡
5FF0	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡	瘡

表 8 Advance CAD と Regular CADAM(IBM) との漢字コード変換表

9/12

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
6040		窗	窰	窰	窰	窰	窰	窰	窰	窰	窰	窰	窰	窰	窰	
6050	紛	站	站	站	站	站	站	站	站	站	站	站	站	站	站	站
6060	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭
6070	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭
6080	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭
6090	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭
60A0	枇	枇	枇	枇	枇	枇	枇	枇	枇	枇	枇	枇	枇	枇	枇	枇
60B0	枇	枇	枇	枇	枇	枇	枇	枇	枇	枇	枇	枇	枇	枇	枇	枇
60C0	紮	紮	紮	紮	紮	紮	紮	紮	紮	紮	紮	紮	紮	紮	紮	紮
60D0	條	條	條	條	條	條	條	條	條	條	條	條	條	條	條	條
60E0	緝	緝	緝	緝	緝	緝	緝	緝	緝	緝	緝	緝	緝	緝	緝	緝
60F0	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
6140		繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆
6150	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆
6160	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆
6170	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆
6180	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆
6190	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆	繆
61A0	胥	胥	胥	胥	胥	胥	胥	胥	胥	胥	胥	胥	胥	胥	胥	胥
61B0	胥	胥	胥	胥	胥	胥	胥	胥	胥	胥	胥	胥	胥	胥	胥	胥
61C0	胥	胥	胥	胥	胥	胥	胥	胥	胥	胥	胥	胥	胥	胥	胥	胥
61D0	臚	臚	臚	臚	臚	臚	臚	臚	臚	臚	臚	臚	臚	臚	臚	臚
61E0	舸	舸	舸	舸	舸	舸	舸	舸	舸	舸	舸	舸	舸	舸	舸	舸
61F0	芒	芒	芒	芒	芒	芒	芒	芒	芒	芒	芒	芒	芒	芒	芒	芒

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
6240		苞	苞	苞	苞	苞	苞	苞	苞	苞	苞	苞	苞	苞	苞	苞
6250	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳
6260	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳
6270	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳
6280	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳
6290	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳
62A0	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳
62B0	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳
62C0	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳
62D0	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳
62E0	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳
62F0	蚤	蚤	蚤	蚤	蚤	蚤	蚤	蚤	蚤	蚤	蚤	蚤	蚤	蚤	蚤	蚤

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
6340		蚶	蚶	蚶	蚶	蚶	蚶	蚶	蚶	蚶	蚶	蚶	蚶	蚶	蚶	蚶
6350	蚶	蚶	蚶	蚶	蚶	蚶	蚶	蚶	蚶	蚶	蚶	蚶	蚶	蚶	蚶	蚶
6360	蚶	蚶	蚶	蚶	蚶	蚶	蚶	蚶	蚶	蚶	蚶	蚶	蚶	蚶	蚶	蚶
6370	衍	衍	衍	衍	衍	衍	衍	衍	衍	衍	衍	衍	衍	衍	衍	衍
6380	柏	柏	柏	柏	柏	柏	柏	柏	柏	柏	柏	柏	柏	柏	柏	柏
6390	裊	裊	裊	裊	裊	裊	裊	裊	裊	裊	裊	裊	裊	裊	裊	裊
63A0	裊	裊	裊	裊	裊	裊	裊	裊	裊	裊	裊	裊	裊	裊	裊	裊
63B0	觸	觸	觸	觸	觸	觸	觸	觸	觸	觸	觸	觸	觸	觸	觸	觸
63C0	觸	觸	觸	觸	觸	觸	觸	觸	觸	觸	觸	觸	觸	觸	觸	觸
63D0	詼	詼	詼	詼	詼	詼	詼	詼	詼	詼	詼	詼	詼	詼	詼	詼
63E0	諫	諫	諫	諫	諫	諫	諫	諫	諫	諫	諫	諫	諫	諫	諫	諫
63F0	諷	諷	諷	諷	諷	諷	諷	諷	諷	諷	諷	諷	諷	諷	諷	諷

表 8 Advance CAD と Regular CADAM(IBM) との漢字コード変換表

10/12

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
6440		謾	譌	譏	譎		證	譖	譖	譖	譖	譖	譖	譖	譖	譖
6450		讀	譙	讎	謹	讒	讓	讒	讒	讒	讒	讒	讒	讒	讒	讒
6460	豕	豕	豕	豕	豕	豕	豕	豕	豕	豕	豕	豕	豕	豕	豕	豕
6470	貪	貳	貳	貳	貳	貳	貳	賈	賤	賤	賈	賈	賈	賈	賈	賈
6480	賻	賻	賻	賻	賻	賻	賻	賻	賻	賻	賻	賻	賻	賻	賻	賻
6490	跂	跂	跂	跂	跂	跂	跂	跂	跂	跂	跂	跂	跂	跂	跂	跂
64A0	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟
64B0	踉	踉	踉	踉	踉	踉	踉	踉	踉	踉	踉	踉	踉	踉	踉	踉
64C0	躑	躑	躑	躑	躑	躑	躑	躑	躑	躑	躑	躑	躑	躑	躑	躑
64D0	輕	輞	輞	輞	輞	輞	輞	輞	輞	輞	輞	輞	輞	輞	輞	輞
64E0	轉	輞	輞	輞	輞	輞	輞	輞	輞	輞	輞	輞	輞	輞	輞	輞
64F0	迂		迂	迂	迂	迂	迂	迂	迂	迂	迂	迂	迂	迂	迂	迂

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
6540		遒	遒	遒	遒	遒	遒	遒	遒	遒	遒	遒	遒	遒	遒	遒
6550	遒	遒	遒	遒	遒	遒	遒	遒	遒	遒	遒	遒	遒	遒	遒	遒
6560	邵	邵	邵	邵	邵	邵	邵	邵	邵	邵	邵	邵	邵	邵	邵	邵
6570	酣	酣	酣	酣	酣	酣	酣	酣	酣	酣	酣	酣	酣	酣	酣	酣
6580	釐	釐	釐	釐	釐	釐	釐	釐	釐	釐	釐	釐	釐	釐	釐	釐
6590		鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞
65A0	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇
65B0	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇	鈇
65C0	鉅	鉅	鉅	鉅	鉅	鉅	鉅	鉅	鉅	鉅	鉅	鉅	鉅	鉅	鉅	鉅
65D0		鉅	鉅	鉅	鉅	鉅	鉅	鉅	鉅	鉅	鉅	鉅	鉅	鉅	鉅	鉅
65E0	鉅	鉅	鉅	鉅	鉅	鉅	鉅	鉅	鉅	鉅	鉅	鉅	鉅	鉅	鉅	鉅
65F0		鉅	鉅	鉅	鉅	鉅	鉅	鉅	鉅	鉅	鉅	鉅	鉅	鉅	鉅	鉅

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
6640		鑷	鑷	鑷	鑷	鑷	鑷	鑷	鑷	鑷	鑷	鑷	鑷	鑷	鑷	鑷
6650	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨
6660	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨
6670	陞	陞	陞	陞	陞	陞	陞	陞	陞	陞	陞	陞	陞	陞	陞	陞
6680	隴	隴	隴	隴	隴	隴	隴	隴	隴	隴	隴	隴	隴	隴	隴	隴
6690	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲	雲
66A0	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽
66B0	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋	鞋
66C0	齋	齋	齋	齋	齋	齋	齋	齋	齋	齋	齋	齋	齋	齋	齋	齋
66D0	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧
66E0	餃	餃	餃	餃	餃	餃	餃	餃	餃	餃	餃	餃	餃	餃	餃	餃
66F0	饅	饅	饅	饅	饅	饅	饅	饅	饅	饅	饅	饅	饅	饅	饅	饅

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
6740		駢	駢	駢	駢	駢	駢	駢	駢	駢	駢	駢	駢	駢	駢	駢
6750	騫	騫	騫	騫	騫	騫	騫	騫	騫	騫	騫	騫	騫	騫	騫	騫
6760	騫	騫	騫	騫	騫	騫	騫	騫	騫	騫	騫	騫	騫	騫	騫	騫
6770	鬃	鬃	鬃	鬃	鬃	鬃	鬃	鬃	鬃	鬃	鬃	鬃	鬃	鬃	鬃	鬃
6780	鬃	鬃	鬃	鬃	鬃	鬃	鬃	鬃	鬃	鬃	鬃	鬃	鬃	鬃	鬃	鬃
6790	鮐	鮐	鮐	鮐	鮐	鮐	鮐	鮐	鮐	鮐	鮐	鮐	鮐	鮐	鮐	鮐
67A0	鮐	鮐	鮐	鮐	鮐	鮐	鮐	鮐	鮐	鮐	鮐	鮐	鮐	鮐	鮐	鮐
67B0	鮐	鮐	鮐	鮐	鮐	鮐	鮐	鮐	鮐	鮐	鮐	鮐	鮐	鮐	鮐	鮐
67C0	鯉	鯉	鯉	鯉	鯉	鯉	鯉	鯉	鯉	鯉	鯉	鯉	鯉	鯉	鯉	鯉
67D0	鶯	鶯	鶯	鶯	鶯	鶯	鶯	鶯	鶯	鶯	鶯	鶯	鶯	鶯	鶯	鶯
67E0	鶯	鶯	鶯	鶯	鶯	鶯	鶯	鶯	鶯	鶯	鶯	鶯	鶯	鶯	鶯	鶯
67F0	鶯	鶯	鶯	鶯	鶯	鶯	鶯	鶯	鶯	鶯	鶯	鶯	鶯	鶯	鶯	鶯

表 8 Advance CAD と Regular CADAM(IBM) との漢字コード変換表

11/12

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
6840		鸞	鹵	鹹	鹽	鹿	麀	麋	麋	麋	麋	麋	麋	麋	麋	麋
6850	麼	麼	麼	麼	黏	黏	黏	黏	黏	黏	黏	黏	黏	黏	黏	黏
6860	麋	麋	麋	麋	麋	麋	麋	麋	麋	麋	麋	麋	麋	麋	麋	麋
6870	齒	齒	齒	齒	齒	齒	齒	齒	齒	齒	齒	齒	齒	齒	齒	齒
6880																
6890																
68A0																
68B0																
68C0																
68D0																
68E0																
68F0																

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
6940																
6950																
6960																
6970																
6980																
6990																
69A0																
69B0																
69C0																
69D0																
69E0																
69F0																

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
6A40																
6A50																
6A60																
6A70																
6A80																
6A90																
6AA0																
6AB0																
6AC0																
6AD0																
6AE0																
6AF0																

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
6B40																
6B50																
6B60																
6B70																
6B80																
6B90																
6BA0																
6BB0																
6BC0																
6BD0																
6BE0																
6BF0																

表 8 Advance CAD と Regular CADAM(IBM) との漢字コード変換表

12/12

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
6C40																
6C50																
6C60																
6C70																
6C80																
6C90																
6CA0																
6CB0																
6CC0																
6CD0																
6CE0																
6CF0																
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
6D40																
6D50																
6D60																
6D70																
6D80																
6D90																
6DA0																
6DB0																
6DC0																
6DD0																
6DE0																
6DF0																
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
6E40																
6E50																
6E60																
6E70																
6E80																
6E90																
6EA0																
6EB0																
6EC0																
6ED0																
6EE0																
6EF0																
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
6F40																
6F50																
6F60																
6F70																
6F80																
6F90																
6FA0																
6FB0																
6FC0																
6FD0																
6FE0																
6FF0																

1/2

[illegible]

2/2

[illegible]

[illegible]

Appendix D CADAM への変換テーブルファイル

注). 各種テーブルファイルのサンプルは sample/CADAM ディレクトリにあります。
テーブルファイル内に記述の誤りがあった場合、起動ディレクトリのファイル
CADAM_Interface.lis にエラーメッセージが出力されます。

D.1 線種・線幅変換ファイル

Advance CAD の線種・線幅と CADAM の線種・線幅の割り当てを定義します。

● 線種・線幅の割り当て

- ・ 注記アイテム以外の割り当て

```
LINE-NAME f , w = l [, ln [, pn [, wd ]]]
```

f	:	Advance CAD の線種番号
w	:	Advance CAD の線幅番号
l	:	CADAM の線種コード (表 15 参照)
ln	:	CADAM の線種名 (表 16 参照)
pn	:	CADAM のペン名 (表 16 参照)
wd	:	CADAM の線幅 (0.0 ~ 999.0)

線幅を指定する場合は、ペン名 pn を空白または、NP にしてください。

Advance CAD の線種 f 線幅 w を CADAM の線種コード l, 線種名 ln, ペン名 pn, 線幅 wd に割り当てます。

- ・ 注記アイテム以外の割り当て
このテーブルが設定された場合、LINE-NAME の設定は無効になります。

```
CLASS cls = l [, pn [, wd ]]
```

cls	:	Advance CAD のクラス番号 0 を指定するとクラス 1-255 に同じ値を設定します。
l	:	CADAM の線種コード (表 15 参照)
ln	:	CADAM の線種名 (表 16 参照)
pn	:	CADAM のペン名 (表 16 参照)
wd	:	CADAM の線幅 (0.0 ~ 999.0)

線幅を指定する場合は、ペン名 pn を空白または、NP にして下さい。

Advance CAD のクラスを CADAM の線種コード l, 線種名 ln, ペン名 pn, 線幅 wd に割り当てます。

- ・ 注記アイテムの割り当て

```
LINE-WIDTH w = wd
```

w	:	Advance CAD の線幅番号
wd	:	CADAM の線幅 (0.0 ~ 999.0)

Advance CAD の線幅 w を CADAM の線幅 wd に割り当てます。

注). f = 0 は割り当てのない線種すべてを意味します。
w = 0 は割り当てのない線幅すべてを意味します。

ファイルのディレクトリは、ファイル ACAD.SET のキーワード #CADAM:TABLE# で設定してください。ファイル名は

Micro CADAM の場合は ACADMCADAM_LINE

Regular CADAM の場合は ACADRCADAM_LINE

で固定です。ファイルが存在しない場合は、既定値 (表 10 参照) が用いられます。

Advance CAD → CADAM 線種・線幅変換テーブル既存値

Advance CAD		CADAM		
線種 コード	線幅 コード	線種 コード	線幅 コード	線幅
1	0	1		
1	2	0		
1	3	2		
2	2	4		
2	0	3		
3	2	5		
4	0	6		
0	0	1		

D.2 寸法線矢印変換テーブルファイル

● 寸法線矢印の割り当て

ARROW-TYPE mark , angle = code

mark : Advance CAD の寸法線矢印マーク番号
angle : Advance CAD の寸法線矢印マークの角度 (度)
code : CADAM の寸法線矢印コード

Advance CAD の寸法線矢印マーク番号 mark で角度 angle を CADAM の寸法線矢印コード code に割り当てます。割り当てのないマーク番号がデータ内に現れた場合は、寸法線矢印コードの 1 または 2 に割り当てます。

ファイルのディレクトリは、ファイル ACAD.SET のキーワード #CADAM:TABLE# で設定してください。ファイル名は

Micro CADAM の場合は ACADMCADAM_ARROW

Regular CADAM の場合は ACADRCADAM_ARROW

で固定です。ファイルが存在しないときは、既定値 (表 11 参照) が用いられます。

表 11 寸法線矢印変換テーブル既存値

Advance CAD 寸法線矢印		CADAM 寸法線矢印コード
マーク番号	角度	
0, 251		0 (無し)
4		3 (Dot)
256	0	9 (45° Arrow In)
256	180	10 (45° Arrow Out)
257	0	11 (60° Arrow In)
257	180	12 (60° Arrow Out)
255		13 (Slash+)
253		14 (Dot+)
254		15 (Slash)
259	0	17 (ANSI In)
259	180	18 (ANSI Out)
258	0	31 (10° Arrow In)
258	180	32 (10° Arrow Out)
その他	0	1 (Arrow In)
その他	180	2 (Arrow Out)

D.3 シンボル変換テーブルファイル

● マークの割り当て

```
MARK mark = t , s [, [scale] , x_off , y_off ]
```

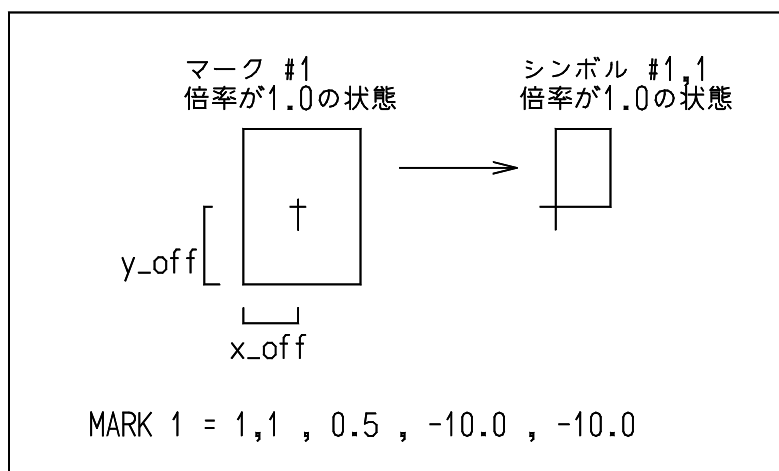
mark : Advance CAD のマーク番号
t : CADAM シンボルのシンボルテーブル番号
s : CADAM シンボルのシンボル番号
scale : 変換倍率 (省略した場合は 1.0)
x_off : 原点位置のオフセット値 X (省略した場合は 0.0)
y_off : 原点位置のオフセット値 Y (省略した場合は 0.0)

Advance CAD のマーク番号 mark を CADAM のユーザ定義シンボルのシンボルテーブル番号 t でシンボル番号 s のシンボルに割り当てます。

マークとシンボルの大きさが異なる場合、scale で調整します。

原点位置が異なる場合、x_off, y_off で調整します。

例)



マークの原点が図形の中心にありシンボルの原点が図形の左下の場合、中心から見て左下の位置をオフセット値として指定する。(倍率が1.0の状態)

● 風船の割り当て

BALLOON mark , h-min , h-max

mark : Advance CAD のマーク番号
h-min : Advance CAD の文字高さの最小値 (風船の文字)
h-max : Advance CAD の文字高さの最大値 (風船の文字)

Advance CAD のマーク番号 mark, $h\text{-min} \leq \text{文字高さ} \leq h\text{-max}$ の風船を CADAM の風船に割り当てます。

ファイルのディレクトリは、ファイル ACAD.SET のキーワード #CADAM:TABLE# で設定してください。ファイル名は

Micro CADAM の場合は ACADMCADAM_SYMBOL

Regular CADAM の場合は ACADRCADAM_SYMBOL

で固定です。ファイルが存在しない場合はマークからシンボルへの変換は行われません。

D.4 モデル名変換テーブルファイル

複数図面の一括読みを行う場合にこのテーブルファイルを用います。

● モデル名の変換

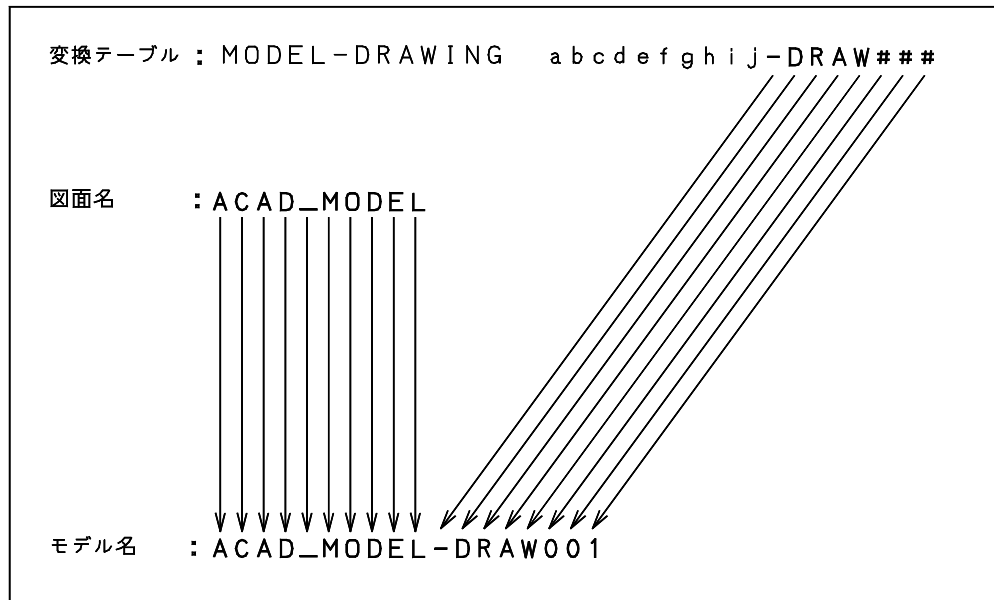
MODEL-DRAWING format

format : 変換後の図面名
小文字の a ~ t : モデル名の 1 ~ 20 文字目を図面名に用います。

: 順序番号を図面名に用います。
 順序番号はモデル名が現れた順番に 1 から付けます。
 3桁の番号を付ける場合は、### と指定します。

その他の文字 : そのまま図面名に用います。

例)



ファイルのディレクトリは、ファイル ACAD.SET のキーワード #CADAM:TABLE# で設定してください。ファイル名は ACADMCADAM_MODEL で固定です。ファイルが存在しない場合はモデル名から図面名への変換は行われません。

D.5 コード変換テーブルファイル

● コード変換

1. 構成

変換テーブルは、

注釈行 : 1 カラム目が "/"
 コード定義行 : 1 カラム目が "/" 以外
 で構成されます。

1.1. コード定義行

コード定義行は、現われた順番に上位 4 ビットが 0,1,2.....F でカラム 9-12,13-16,...,69-72 が下位 4 ビットの 0,1,2.....,F のコード定義になります。

1 行目の 9-12 カラムはコード 00(hex) の変換後の文字を定義します。

2 行目の 9-12 カラムはコード 10(hex) の変換後の文字を定義します。

:

注). 9 行に満たない場合、テーブルは無効になります。
9 行を越えた場合、越えた行は無視します。

- コード定義

変換コードは、4 桁の 16 進数 (0000 ~ FFFF) で定義します。

注). 空白は、0 とみなします。(" 01" は "0001" と同意です)

00xx : 変換コードを xx で指定します。XX : EBCDIC コード (表 14 参照)

注). 2 バイト文字 (漢字・カタカナ) は、漢字変換テーブルファイルにより変換します。

【補足説明】

コード変更処理の流れ

- (1) コード変換テーブルファイルの読み込み
ファイルが存在しない場合は、既定のコード変換テーブルを使用
- (2) Advance CAD のコードをテーブルにしたがって変換 (表 13) → (表 14)

ファイルのディレクトリは、ファイル ACAD.SET のキーワード #CADAM:TABLE# で設定してください。ファイル名は、ACADRCADAM_CODE で固定です。
ファイルが存在しない場合は、既定値 (表 13 参照) を用います。

表 13 Advance CAD → Regular CADAM コード変換テーブル

(標準)

上段：表示文字

下段：変換コード

下位 上位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0			1/2 001E	3/4 (2) 0010	1/1 (2) 0000	改行 005B	3/4 (1) 0031	1/1 (1) 0031	eot 0032					改行 005B		
1																
2	空白 0040	! 0041	" 007F	# 007B	\$ 00E0	% 006C	& 0050	▽ 007D	(004D	) 005D	* 005C	+ 004E	, 006B	- 0060	. 004B	/ 0061
3	0 00F0	1 00F1	2 00F2	3 00F3	4 00F4	5 00F5	6 00F6	7 00F7	8 00F8	9 00F9	: 007A	; 005E	< 004C	= 007E	> 006E	? 006F
4	@ 007C	A 00C1	B 00C2	C 00C3	D 00C4	E 00C5	F 00C6	G 00C7	H 00C8	I 00C9	J 00D1	K 00D2	L 00D3	M 00D4	N 00D5	O 00D6
5	P 00D7	Q 00D8	R 00D9	S 00E2	T 00E3	U 00E4	V 00E5	W 00E6	X 00E7	Y 00E8	Z 00E9	[004D	\ 005A	] 005D	^ 0042	_ 006D
6	` 0041	a 00C1	b 00C2	c 00C3	d 00C4	e 00C5	f 00C6	g 00C7	h 00C8	i 00C9	j 00D1	k 00D2	l 00D3	m 00D4	n 00D5	o 00D6
7	p 00D7	q 00D8	r 00D9	s 00E2	t 00E3	u 00E4	v 00E5	w 00E6	x 00E7	y 00E8	z 00E9	{ 004D	 005F	} 005D	~ 0042	
8	° 005A	φ 0042	± 005F	□ 0041	∩ 0042											

コード	意味
02	1/2 トランスコード
03	3/4 トランスコードの2バイト目
04	1/1 トランスコードの2バイト目
05	改行コード
06	3/4 トランスコードの1バイト目
07	1/1 トランスコードの1バイト目
08	3/4, 1/1 トランスの終了コード

表 14 Advane CAD → Regular CADAM コード変換テーブル

(標準)

下位 上位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0																
1																
2																
3				改行												
4	空白	□	φ			・	ヲ	ア	イ	ウ	±	。	<	(	+	
5	&	エ	オ	ヤ	ユ	ヨ	ツ	ワ	ー		°	改行	*	)	；	±
6	-	/										，	%	_	>	?
7											：	#	@	▽	=	”
8		ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ		サ	シ	ス	セ
9	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ		[	ハ	ヒ	フ
A			ヘ	ホ	マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ		ヨ	ラ	リ	ル
B											レ	ロ	ワ	ン	”	°
C		A	B	C	D	E	F	G	H	I						
D		J	K	L	M	N	O	P	Q	R			±			
E	\$		S	T	U	V	W	X	Y	Z		φ		≤	≥	
F	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9						

表 15 CADAM 線種コード

線種 コード	線種名	説 明 () 内は線幅
0		実線 (中線)
1		実線 (細線)
2		実線 (太線)
3 10		破線 (中線)
4 11		破線 (細線)
5 21		一点鎖線 (細線)
6 31		二点鎖線 (細線)
7 100		NC ライン (中線)
8 40		破断線 (中線)
101	DSH1	破線 1
102	DSH2	破線 2
103	DSH3	破線 3
104	DSH4	破線 4
105	DSH5	破線 5
106	DSH6	破線 6
107	PL1	二点鎖線 1
108	PL2	二点鎖線 2
109	PL3	二点鎖線 3
110	CL1	一点鎖線 1
111	CL2	一点鎖線 2
112	CL3	一点鎖線 3
113	CL4	一点鎖線 4
114	CL5	一点鎖線 5
115	SBK1	セットバック 1
116	SBK2	セットバック 2
117	MTCH	マッチ
118	STCH	ステッチ

表 16 CADAM 線幅コード

線種 コード	線種名	説 明 () 内は線幅
1	4X	(0.18)
2	3X	(0.25)
3	00	(0.3)
4	0	(0.35)
5	1	(0.5)
6	2	(0.6)
7	2+	(0.7)
8	3	(0.8)
9	3+	(1.0)
10	4	(1.2)
11	6	(1.4)
12	7	(2.0)

注). 破断線は、ストリングに変換する。

D.6 モデル・タイトル／スペックの属性変換テーブルファイル

- モデル・タイトル／スペックの属性への割り当て

ATTR attr = TITLE , ttl_no
ATTR attr = SPEC , cat_no , item_no

attr	:	属性番号 (0 ~ 32767)
TITLE	:	モデル・タイトルを属性に割り当てる
ttl_no	:	モデル・タイトルの項目番号 (1 ~ 201)
SPEC	:	スペックを属性に割り当てる
cat_no	:	スペックのカテゴリ番号 (1 ~ 255)
item_no	:	スペックのアイテム番号 (1 ~ 255)

Advance CAD のモデル・タイトル項目番号 ttl_no を CADAM の属性番号 attr にスペックのカテゴリ番号 cat_no, アイテム番号 item_no を CADAM の属性番号 attr に割り当てます。属性として変換できるのは、1 バイト文字で 1 ~ 72 文字です。2 バイト文字 (漢字) は、変換できません。

注). 属性は、(0,0) に点を作成し、その点に割り付けます。

ファイルのディレクトリは、ファイル ACAD.SET のキーワード #CADAM:TABLE# で設定してください。ファイル名は

Micro CADAM の場合は ACADMCADAM_SPEC

Regular CADAM の場合は ACADRCADAM_SPEC

で固定です。ファイルが存在しない場合は、属性への変換は行われません。

D.7 CADAM DB への書き込み変換パラメータファイル

- バージョン (Micro CADAM/MC-W の場合のみ有効)

MCVER	Ver
-------	-----

Ver	:	Micro CADAM のバージョン
= 2	:	バージョン 2.x
= 3	:	バージョン 3.x

- 精度の変換指定 (Micro CADAM/MC-W の場合のみ有効)

PRECISION	flag
-----------	------

flag	:	精度のスイッチ
= 1	:	単精度
= 2	:	倍精度

- 区分名 (MC-W の場合のみ有効)

PARTITION	name
-----------	------

name	:	ドライブ名 (1 文字) (MC-W)
------	---	---------------------

- グループ名

GROUP	name
-------	------

name : グループ名 (1 ~ 4 文字)

- ユーザ名

USER	name
------	------

name : ユーザ名 (1 ~ 6 文字)

- ラベル名 (Regular CADAM の場合のみ有効)

LABEL	name
-------	------

name : NURESTOR イメージのラベル名 (1 ~ 20 文字)

- 図面容量

DATAMAX	val
---------	-----

val : 図面容量
Micro CADAM/MC-W の場合
10K ~ 64K (バージョン 2.xx)
10K ~ 9999K (バージョン 3.xx)
Regular CADAM の場合
10K ~ 64K

- シンボルの変換指定

SYMBOL	flag
--------	------

flag : シンボルの変換のスイッチ
= 0 : 図形要素に展開して変換
= 1 : シンボルに変換

- 図面枠の出力指定

ZUMEN_WAKU	flag
------------	------

flag : 図面枠の出力する／しないのスイッチ
= 0 : 図面枠は出力しない
= 1 : 図面枠を出力する
= 2 : 図面枠は出力しないが表題欄とプロット範囲は出力する

● 色コード変換の種類

COLOR_COLOR COLOR_CLASS COLOR_REVISION
--

COLOR_COLOR : 色コードを色コードに割り当てる (既定値)
COLOR_CLASS : クラスを色コードに割り当てる
COLOR_REVISION : レビジョンを色コードに割り当てる

● 色コードの変換

COLOR	no	=	c2
-------	----	---	----

no : Advance CAD の色コード (0 ~ 15)
Advance CAD のクラス番号 (0 ~ 255)
Advance CAD のレビジョン番号 (0 ~ 127)
c2 : CADAM の色コード (0 ~ 11 : Micro CADAM)
(0 ~ 120 : MC-W)
(0 ~ 120 : Regular CADAM)

指定がなければ色コード 0 に変換する。クラス, アイテム, レビジョンのいずれかでカラー割り付けがされていなければならない。

● 文字高さへの倍率指定

TEXT_SCALE	s
------------	---

s : 倍率 (既定値: 1.0)

● 文字幅への倍率指定

WIDTH_SCALE	s
-------------	---

s : 倍率 (既定値: 1.0)

● ディテール変換の指定

SUBMODEL	flag
----------	------

flag : サブモデルをディテールに変換する／しない のスイッチ
= 0 : ディテールに変換しない (既定値)
= 1 : ディテールに変換する
= 4 : 複合アイテムもディテールに変換する (MicroCADAM のみ指定可)

● オーバーレイ変換の指定

MEMBER	flag
--------	------

flag : メンバーアイテムをオーバーレイ変換する／しない のスイッチ

- = 0 : オーバーレイ変換しない（既定値）
- = 1 : オーバーレイ変換する

● 非表示アイテム出力の指定

NOSHOW	flag
--------	------

- flag : 非表示アイテムを出力する／しない のスイッチ
- = 0 : 出力する（既定値）
 - = 1 : 出力しない

● BRK ラインのピッチの指定

BRKLINE	p, h, w
---------	---------

- p : ピッチ
h : 高さ
w : 幅

既定値は p = 16.0, h = 1.0, w = 0.5

この条件に当てはまるストリングアイテムを BRK ラインに変換します。

● 複数行の注記の変換

NT01	flag
------	------

- flag : 複数行注記の変換スイッチ
- = 0 : 複数行のまま変換
 - = 1 : 1 行ごとに分解して変換（規定値）

● 寸法交差の文字高さ変換指定

TOLERANCE	flag
-----------	------

- flag : 文字高さの変換方法を指定
- = 1/2 : 寸法文字高さの 1/2 にする
 - = 3/4 : 寸法文字高さの 3/4 にする
 - = その他 : 文字高さに応じて変換する（規定値）

● ピクチャの変換指定

OUTVIEW	flag
---------	------

- flag : ピクチャの変換方法を指定
- = 0 : 各々のビューにピクチャを変換
 - = 1 : ピクチャを 1 つのビューにまとめて変換

ファイルのディレクトリは、ファイル ACAD.SET のキーワード #CADAM:TABLE# で設定してください。ファイル名は

Micro CADAM/MC-W の場合は ACADMCADAM_DBWRITE

Regular CADAM の場合は ACADRCADAM_DBWRITE
で固定です。ファイルが存在しない場合は、既定値 (表 17 参照) を用います。

変換パラメータの既定値

	Micro CADAM	/MC-W	Regular CADAM
バージョン	2. xx	2. xx	
精度	単精度	単精度	単精度のみ
区分名		MCX	
グループ名	CAD	CA	CAD
ユーザ名	TRAIN	TRAIN	TRAIN
図面容量	4 8 K	4 8 K	3 2 K
シンボルの変換	図形要素に展開	図形要素に展開	図形要素に展開
図面枠の出力	する	する	する
文字高倍率	1.0	1.0	1.0
文字幅倍率	1.0	1.0	1.0
ディテール変換	しない	しない	しない
オーバーレイ変換	しない	しない	しない
非表示アイテム	出力しない	出力しない	出力しない
色コード変換	しない	しない	しない

索引

Numerics

1TO2 78
2TO1 78

A

ARROW-TYPE 112
ATTR 120

B

BALLOON 74, 114
BRKLINE 79, 123

C

CADAM/ORIGIN 29
CADAMDB/READF 26
CADAMDB/READI 23
CADAMDB/READX 20
CADAMDB/WRITEF 39
CADAMDB/WRITEI 36
CADAMDB/WRITEM 30
CADAMDB/WRITEX 33
CLASS 111
COLOR 77, 122
COLOR_CLASS 77, 122
COLOR_COLOR 122
COLOR_REVISION 77, 122

D

DATAMAX 121
DBCOPY 7, 10, 44
DITTO_DIMENSION 78
DITTO_SAVE 78
DITTO_TEXT 78
DMNDOS 2, 4
DMNDWG 3, 5
DRAWING-MODEL 75

E

element 77

G

GROUP 121

H

HATC_ITEM 79
HATC_PITCH 79

L

LABEL 121
LINE-NAME 111
LINE-WIDTH 111

M

MARK 113
MCADAMX.SYS 4, 5

MCVER 120
MEMBER 122
MODEL-DRAWING 114

N

NOSHOW 123
NTO1 78, 123
NURESTOR 6, 7

O

OUTVIEW 123
OVERLAY 80

P

PARTITION 120
PICTURE_NAME 77
PRECISION 120

R

rcadammt 7

S

SUBMODEL 122
SWITCH 75
SYMBOL 74, 121

T

TEXT_HEIGHT 79
TEXT_SCALE 77, 122
TEXT_WIDTH 78
TOLERANCE 123

U

USER 121

W

WIDTH_SCALE 122

Z

ZUMEN_WAKU 121

